

平成 26 年度

F D 活 動 報 告 書

南九州大学 FD 推進委員会

1. はじめに

南九州大学FD推進委員会は平成21年度に活動がスタートし、平成26年度で6年目を終了いたしました。この間、大学教員をはじめとした教職員の皆様方のご協力のもと、数々の事業を実施することができました。特に、授業評価アンケート、参観授業及びFD講演会についてはほぼ定着した感があり、FD活動の大きな柱になっております。また、平成24年度からは学生の魅力度・満足度の観点から点検・評価するためのシステム作りとして「新入生魅力度調査・卒業生満足度調査」を、また、平成25年度からはFDの情報公開活動をそれぞれ開始しており、年度を重ねる毎に充実してきております。

しかしながら、それぞれの活動についてはまだまだ改善すべき点があり、さらに充実させるための検討が必要です。本報告書は、平成26年度内に行ったFD活動事業をふりかえり、平成27年度以降、また、その後のFD活動の充実・発展のために役立てていただければ幸いです。

最後に、平成26年度の本学のFD活動にご理解をいただき、また、さまざまな実施事業にご参加いただいた教職員の皆様方に心より感謝申し上げます。また本報告書の作成をご担当いただいた各学科・センター・事務局の教職員の方々には多大なご協力をいただきましたことに対し、厚くお礼を申し上げます。

平成 27年 3 月

平成26年度南九州大学FD推進委員会
委員長 スモール・ブライアン

平成26年度 南九州大学FD推進委員会メンバー

環境園芸学科	管理栄養学科	食品健康学科	子ども教育学科	教養・教職センター
関西 教授	竹之山 准教授	山田 教授	進 教授	スモール 講師
新谷 教授	川北 助教	外山 教授	谷村 講師	

事務局(宮崎)	事務局(都城)
上野 部長	村社 部長
西田 次長	金森 課長
赤木 課長	猪股 係長
黒木 課長	
奥野 係長	

2. 平成26年度 FD 推進委員会の開催報告

平成26年度は、下記のとおりFD推進委員会を開催しました。

第1回目

平成26年5月28日(水) 16:30～17:45

議案(1) 平成26年度 FD 推進委員会委員長の選任について

第2回目

平成26年6月16日(月)

議案(1) 平成26年度南九州大学 FD 推進委員会事業計画について

事業① 授業評価アンケートの実施(前期・後期とも)

事業② FD講演会の実施(年1回実施)

事業③ FD 活動の情報公開(大学ホームページへのFD活動の情報公開)

事業④ 新入生魅力度調査および卒業生満足度調査の実施

事業⑤ 参観授業の実施(後期)

事業⑥ 各学科独自のFD活動の実施

事業⑦ FD活動事業のFDCAサイクルのシステムの構築検討

第3回目

平成26年10月20日(月)

議案(1) 平成26年度FD講演会の開催(案)について

議案(2) 平成26年度後期授業評価アンケートの実施(案)について

議案(3) 平成26年度後期参観授業の実施(案)について

第4回目

平成26年12月17日(水) 16:30～

議案(1) 平成26年度FD講演会の開催結果について

議案(2) 平成26年度後期授業評価アンケートの実施結果について

議案(3) 平成26年度後期参観授業の実施結果について

議案(4) 平成26年度事業計画の中間報告(案)について

議案(5) 平成27年度事業計画(案)及び予算(案)について

第5回目

平成27年3月10日(火)

議案(1) 平成26年度後期授業評価アンケートの実施結果について

議案(2) 平成26年度卒業生満足度調査の実施結果について

議案(3) 平成26年度 FD 情報公開について

議案(4) 平成26年度FD活動報告書のまとめ方(案)について

3. 平成26年度に実施したFD活動について

平成26年度に実施した南九州大学FD活動の概要を下記に記します。

事業① 授業評価アンケートの実施(前期・後期)

教員の授業の教授法改善や学生の授業に対する満足度の把握等を目的として、例年同様、継続して実施した。アンケートにおいては学生自身の受講姿勢及び授業に対する5段階評価の確認とともに自由意見欄を設け、授業の良い点・改善を求める点等を求めた。アンケートは集計後、結果は各教員に開示し、「授業改善報告書」を作成いただいた。

また、学科別にアンケート集計値を算出して学科別の分析を行った。アンケートで得られた各教員個人および学科の問題点・改善点は今後の教育活動に活用していく。

事業② FD講演会の実施

教員の教育力向上、FD活動に対する理解と推進を目的として平成22年度から毎年実施している。

平成26年度は山口大学教育センター副センター長の小川勤先生をお招きし、「発達障害のある学生への合理的配慮について」と題した講演会を実施した。また、小川先生のご講演の前に、本学の現状を把握していただくため、臨床心理士である木下馨子職員から「南九州大学における発達障害を持つ学生支援の現状について」と題した講演を実施した。当日は、両キャンパス合わせて52名の教職員にご参加いただき、充実した講演会となった。

事業③ FD活動の情報公開

平成24年度よりFD活動の情報公開を検討し、平成25年度から活動内容をホームページ上に掲載している。平成26年度においても活動内容を公開し本学のブランドイメージを向上させて行きたい。

事業④ 新入生魅力度調査および卒業生満足度調査の実施

本調査は、魅力ある大学づくりのための情報を収集するため、平成24年度から実施している。新入生対象の調査では、本学のどのような点に魅力を感じて入学して来るのか、また、卒業生対象(実際は4年生の在学学生を対象)の調査では、本学のどのような点で満足を感じるのか(あるいは不満を感じ)卒業して行くのかをアンケートにより調査している。本事業で出た結果は、各学科における教育活動及び研究活動のみならず、広報活動にも利用でき、また学園の運営の方向性を示すための参考になるものと思われる。

事業⑤ 参観授業の実施(後期)

授業評価アンケートと同様に教員の教授法改善等を目的として毎年行っているが、今年度は平成26年12月9日(火)～12月15日(月)間に実施した。参観する教員がまだまだ少ないため、より多くの教職員に参観頂くことがこの事業にとってとても重要であるので今後さらなる改善が望まれる。

事業⑥ 各学科独自のFD活動の実施

各学科においても全学的な事業と共に学科独自の特色あるFD活動を実施しているが、これについては、今後、各学科でまとめ、提出していただく予定である。

事業⑦ FD活動事業のPDCAサイクルのシステムの構築検討

FD活動を実施し、本当にその活動の成果が上がっているのかを評価して、それをフィードバックさせるシステムが必要である。今後もFD活動を安易に継続するだけでなく、PDCAサイクルとして次の計画へと更に充実したFD活動へと発展させていく必要がある。

[テキストを入力してください]

4. 授業評価アンケート報告(前期・後期)

平成26年度においても、教員の教授法改善や授業に対する満足度の把握等を目的とした「授業評価アンケート」を実施した。各学科のアンケートの実施結果は以下のとおりである。

【授業評価アンケート実施要領】

<目的>

教員の授業の教授法改善や学生の授業に対する満足度の把握等を目的として実施する。

<対象>

専任教員が担当する授業で、原則として1教員1授業とする。2授業以上でも可とするが、2授業目以降のアンケート集計は教員が行う。なお、非常勤講師については希望者のみ行うこととする。

<実施時期>

前期は7月14日(月)～7月18日(金)間に、また後期は11月28日(金)～12月4日(木)の間に実施することを原則とする。但し、この期間に実施できない場合は多少前後しても構わない。

<使用するアンケート用紙及び授業改善報告書様式>

別に示す。

<実施要領>

- ① 学生支援課より、各教員に「実施する授業名」及び「アンケート実施時間(授業前か後か)」を案内する。各教員は学生支援課が指定する期日までに授業名及び実施時間を回答する。
- ② 学生支援課員は、事前に受講学生分のアンケート用紙を準備する。
- ③ アンケート実施当日、学生支援課員はアンケート用紙を授業時間(授業開始後又は終了前)に配付し、教員はアンケートの目的等について学生に説明を行う。説明した後、教員は教室から退出する。
- ④ 学生支援課員は対象科目の授業時間(授業開始後又は終了前)に待機し、アンケート終了後に回答用紙を回収する。なお、都城キャンパスは学生支援課員少ないため、他部署職員も担当する。
- ⑤ アンケートは7月～8月中に集計が行われる。学生支援課を通じて各教員へ報告が行われる。各教員は集計結果・自由記述欄の結果をもとに授業改善報告書を作成し、FD 推進委員長へ報告書を提出する。作成された授業改善報告書は今年度後期及び次年度前期の授業開始時に各教員へ返送され、各教員は授業の問題点を認識して問題点を意識した授業を行ってもらうこととする。

<その他>

- ・自由記述欄をフォーマットのままで実施する場合は、アンケート用紙は学生支援課で準備し、回収担当者が実施時期に持参する。
- ・自由記述欄は学科や教員単位で設定可能とする。独自にオリジナルなものを作成する場合は、その旨を学生支援課に連絡しておく。アンケート用紙は各自で印刷してもらう。(各学科あるいは各教員で特徴あるアンケートが実施できるよう積極的に自由記述欄を活用していただきたい)
- ・教員が担当する科目をすべて行う場合は実施しても問題ないが、その科目の集計作業は実施する教員が行う。

<アンケート結果の学生への公開について>

アンケート結果の学生への公開については、集計後に掲示板にて公開することとする。

<アンケートの集計>

アンケートの集計は外部に委託する。

(1) 環境園芸学科

アンケートの設問

- 設問① 私はこの授業によく出席した
- 設問② 私は授業内容について質問や発言をした
- 設問③ 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)
- 設問④ 教員の声は聞き取りやすかった
- 設問⑤ 教員の板書(または PPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)
- 設問⑥ 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた
- 設問⑦ 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた
- 設問⑧ 教員は熱意を持って授業をしていた
- 設問⑨ 私はこの授業内容を理解できた
- 設問⑩ 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた
- 設問⑪ 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた

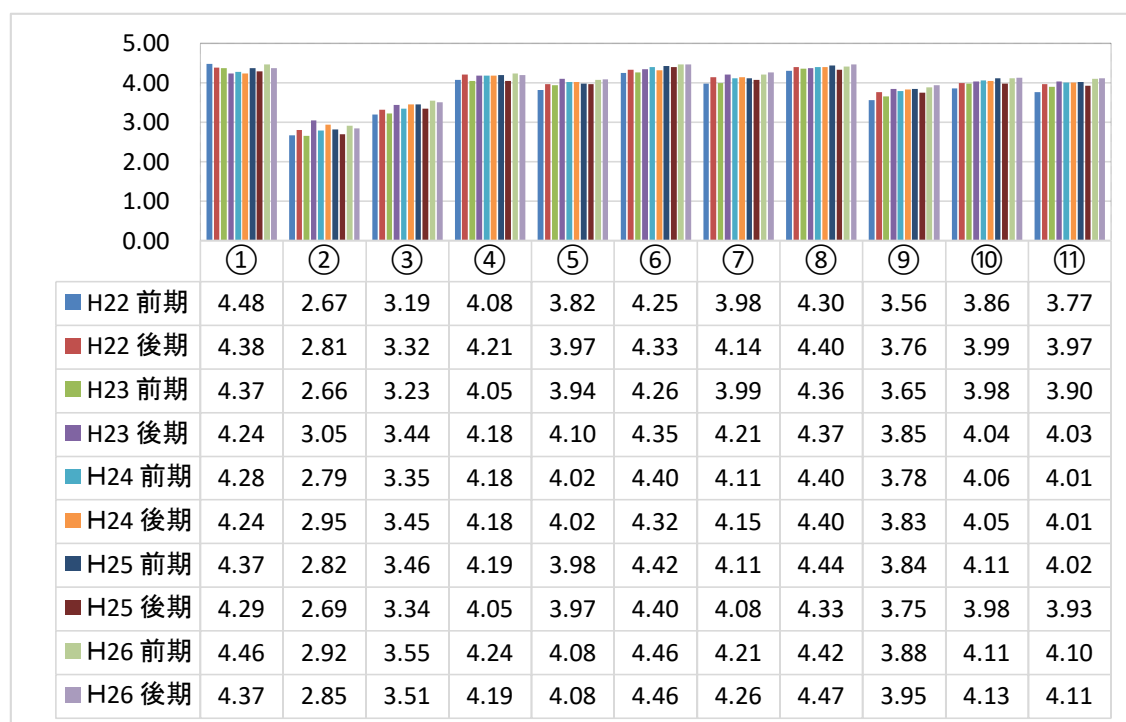
表 1. 回答の集計(環境園芸学科全体)

設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	404	186	96	16	4	0	706	4.37
設問2)	79	92	313	91	129	2	706	2.85
設問3)	141	223	241	61	38	2	706	3.51
設問4)	347	203	112	35	8	1	706	4.19
設問5)	314	203	140	32	17	0	706	4.08
設問6)	433	184	74	13	1	1	706	4.46
設問7)	348	221	117	14	6	0	706	4.26
設問8)	419	199	86	2	0	0	706	4.47
設問9)	220	284	159	33	7	3	706	3.95
設問10)	300	239	141	14	9	3	706	4.13
設問11)	274	272	137	12	8	3	706	4.11

表 2. アンケート平均値の推移(環境園芸学科全体)

設問番号	H22		H23		H24		H25		H26	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
①	4.48	4.38	4.37	4.24	4.28	4.24	4.37	4.29	4.46	4.37
②	2.67	2.81	2.66	3.05	2.79	2.95	2.82	2.69	2.92	2.85
③	3.19	3.32	3.23	3.44	3.35	3.45	3.46	3.34	3.55	3.51
④	4.08	4.21	4.05	4.18	4.18	4.18	4.19	4.05	4.24	4.19
⑤	3.82	3.97	3.94	4.10	4.02	4.02	3.98	3.97	4.08	4.08
⑥	4.25	4.33	4.26	4.35	4.40	4.32	4.42	4.40	4.46	4.46
⑦	3.98	4.14	3.99	4.21	4.11	4.15	4.11	4.08	4.21	4.26
⑧	4.30	4.40	4.36	4.37	4.40	4.40	4.44	4.33	4.42	4.47
⑨	3.56	3.76	3.65	3.85	3.78	3.83	3.84	3.75	3.88	3.95
⑩	3.86	3.99	3.98	4.04	4.06	4.05	4.11	3.98	4.11	4.13
⑪	3.77	3.97	3.90	4.03	4.01	4.01	4.02	3.93	4.10	4.11

図 1. 表のデータをグラフに表したもの



1) 全体について

・本年前期と昨年度前期を比べると、ほとんどポイントに変化はない。しかし、後期どうしを比べると、若干ではあるが上昇しているように見える。昨年度は、前期と後期の間で全項目でポイント減となったが、本年は前期と後期の間で大きな違いはない。このアンケートを開始した平成 22 年度からのデータを見ると、2 つの設問(①、④)を除いて、徐々に上昇する傾向があるように見え、このアンケートが一定の効果を産み出している可能性がある。今後も、講義をする教員としてはこれまでの各自で記載した授業改善報告書を踏まえ、授業改善に取り組みたい。

2) 各設問について

・設問①. 前後期とも、平均値は4点台であるが、よく出席したとは考えていない、回答「1、2、3」の学生が2割弱存在することに注視し、学生の取り組み姿勢の改善を図り、今後はこの値を下げるような取り組みが望まれる。この設問は例年高いポイントとなっており、学生の「自分に甘い」気質がうかがえる。

・設問②. 他の設問と比べ、依然ポイントが低い。少人数でのゼミとは違い、受講生の多数の講義では、質問や発言しにくい、時間がない、などもその要因として考えられる。講義終了後に質問される場合も多くみられることから、講義終了後の質問についても設問に記載しても良いと考える。

・設問③. 前期はこれまでの各期の結果の中では最も高いポイントだったが、後期はポイント減となっている。各期とも設問2に次いで低評価であり、回答の「3 どちらともいえない」を含

めると半数以上の学生が積極に取り組んでいないと回答している。各科目の位置づけを第一回目の講義や専攻説明会などを通じて明確にし、特色に合わせて自発的な参加意欲を高めるような具体的方策が望まれる。

・設問④. 前後期とも「1、2」つまり教員の声が聞き取り難いとの回答が1割を切った。マイクの使用や教室の変更などの各教員の対応により改善が図られたものと考えられる。各授業において学生に声が聞こえているかを確認することにより、より改善がなされるものと思われる。

・設問⑤. 前後期ともに過去最高のポイントとなっているが、前後期ともおよそ1割弱が「1、2」つまり教員の板書等は見づらいと回答している。プレゼンテーション方法や質の工夫など、各教員の対応で改善可能と思われる。

・設問⑥. 比較的授業時間は守られていると判断されている。継続が望まれる。

・設問⑦. 不満を抱いている学生は少なく、概ね良好であると考えられる。現在の状況を維持しつつも、授業中、学生に意見を聞いたり、問いかけをしたりするなど学生の理解度や意見を吸い上げる工夫が望まれる。

・設問⑧. 各教員が熱意を持って授業に取り組んでいると判断される。継続が望まれる。

・設問⑨. 「5」つまり授業を非常によく理解できた回答しているのは全体のおよそ約3割で、「4」の多少理解できたと回答している学生よりも少ない。多くの学生が自信をもってよく理解できたとは言えない状況にある。設問②および3)の結果を合わせ考えると、学生の取り組み姿勢といった根本的な課題とも考えられる。今後の継続的な分析と取り組みが望まれる。

・設問⑩. 「3」のどちらともいえない、を含めるとおよそ約2割の学生に将来役に立つと認識されていない。設問⑨と同じく学生の取り組み姿勢についての課題もあると思われるが、科目の意義や位置づけ、特色の理解を深めることが改善に結びつくと思われる。

・設問⑪. 「5、4」と満足感を得られている回答した学生が約8割とおおむね良好と思われるが、「5」の割合は約4割であった。また2割強の学生は満足していないと答えている。この評価は他の全設問を通した総合的な評価であり、多くの学生において絶対的な満足感が得られているわけではない。これまでの授業評価結果をもとに各教員は各設問項目を中心に改善を図っているが、学生自信の授業に対する積極的な取り組み(設問③)や理解度を向上させる(設問④)ことも総合評価の改善に結びつくと考えられる。各教員および学科の地道な改善努力の継続が重要であると考えられる。

(2) 管理栄養学科

管理栄養学科については、昨年の授業評価アンケートの結果と比較しながら、反省点を分析した。

平成26年度前期 授業評価アンケート 集計結果分析

(アンケート集計結果(平均値):()内は平成 25 年度前期結果)

設問 1) 私はこの授業によく出席した 4.86(4.88)

設問 2) 私は授業内容について質問や発言をした 3.10(3.11)

設問 3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした) 3.81(3.71)

設問 4) 教員の声は聞き取りやすかった 4.44(4.38)

設問 5) 教員の板書(又は PPT・配布資料等)は読みやすかった(見やすかった)
4.35(4.14)

設問 6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた 4.73(4.70)

設問 7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた 4.42(4.24)

設問 8) 教員は熱意を持って授業をしていた 4.60(4.49)

設問 9) 私はこの授業内容を理解できた 4.19(4.10)

設問 10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役立つと感じた

4.69

(4.59)

設問 11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた 4.41(4.32)

- ・ 今回のアンケートの平均値としては、前回のアンケート集計結果(平成 25 年度前期)と比較して、設問 2)を除いて全ての設問項目において、平均値が上昇した。本学科の各教員一人ひとりが授業評価アンケートの結果をもとに、授業改善がなされた結果が出ていると考えられる。

平成 25 年度のアンケート結果も前年度からすべての設問項目において平均値が上昇していることから、管理栄養学科では年々教員の授業への取り組みが向上し、その結果として学生の授業への取り組みも向上しているといえる。

- ・ 設問3)からは、前年度での 0.3 ポイント以上の上昇に加え、さらに 0.1 ポイントの上昇が認められることから、学生が授業に積極的に取り組んでいることがうかがえる。このことは、授業に対する学生の学習意識への導きが的確に行われていることと考えられる。
- ・ 設問 8)からは、前年度での 0.11 ポイントの上昇に加え、さらに 0.11 ポイントの上昇が認められることから、教員一人一人が管理栄養士を育成するために懸命に授業に取り組んでいることがうかがえる。
- ・ これらの結果を踏まえ、設問9)が前年度での 0.4 ポイント以上の上昇に加え、さらに 0.09 ポイント上昇していることから、年々授業の理解度が上がり、十分な授業が行われていると考えられる。さらには設問 10)、11)では管理栄養士養成である本学科では、「将来役に立つ」と感じ、満足度も高いと状況となっている。
- ・

- ・ 学科全体で反省点をまとめると今回のような良好な結果となっているが、本学科教員一人ひとりが自分自身の科目での結果を振り返り、反省点をしっかり意識した授業を行うことが大変重要である。とくに設問2)の点数が他より低いため、授業中の学生の質問できる環境作りに向けた対策が必要であると考えられる。

平成 26 年度後期 授業評価アンケート 集計結果分析

管理栄養学科については、昨年の授業評価アンケートの結果と比較しながら、反省点を分析した。

(アンケート集計結果(平均値):()内は平成 25 年度後期結果)

設問 1) 私はこの授業によく出席した 4.89(4.83)

設問 2) 私は授業内容について質問や発言をした 3.24(3.01)

設問 3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした) 3.76(3.54)

設問 4) 教員の声は聞き取りやすかった 4.54(4.40)

設問 5) 教員の板書(または PPT・配布資料等)は読みやすかった(見やすかった)

4.43

(4.27)

設問 6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた 4.69(4.64)

設問 7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた 4.53(4.36)

設問 8) 教員は熱意を持って授業をしていた 4.62(4.52)

設問 9) 私はこの授業内容を理解できた 4.19(4.08)

設問 10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役立つと感じた

4.68

(4.62)

設問 11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた 4.45(4.36)

- ・ 今回のアンケートの平均値としては、前回のアンケート集計結果(平成25年度後期)からは全ての設問項目において、平均値が上昇した。本学科の各教員一人一人が授業評価アンケートの結果をもとに、授業改善がなされた結果が出ていると考えられる。
- ・ 設問2)や3)からは、学生の授業前後あるいは授業中の取組みは、とくに改善が認められ、0.2 ポイント以上の上昇が認められた。このことは、授業に対する学生の学習意識への導きが的確に行われていることと考えられる。
- ・ 設問5)については 0.16 ポイントの上昇が認められ、各教員が学生の理解度を上げるために PPT や板書に工夫がなされていることがうかがえ、授業に対する取組みが上がり、

授業の質も向上しているものと思われる。このことは設問4)、6)～8)についても同様のことが言えると思われる。

- これらの結果を踏まえ、設問9)が 0.11 ポイント上昇し、授業の理解度が上がり、十分な授業が行われていると考えられる。さらには設問 10)、11)では管理栄養士養成である本学科では、「将来役に立つ」と感じ、満足度も高いと状況となっている。
- 学科全体で反省点をまとめると今回のような良好な結果となっているが、昨年前期からするとその後期、本年度前期並びに後期と、本学科教員一人ひとりが自分自身の科目での結果を振り返り、反省点をしっかり意識した授業を行うことが大変重要である。とくに設問2)の点数が他より低いため、授業中の学生の質問できる環境作りに向けた対策が必要であると考えられる。

(3) 食品開発科学科

- <<前期>>

- 1. 平成 26 年度前期 授業評価アンケート実施科目

教員名	科目名	学年	回答者数
柏田雅徳	醸造学	2	30
寺原典彦	食品学Ⅰ	2	33
中瀬昌之	食品科学概論	1	19
金松澄雄	食糧生化学	2	10
紺谷靖英	代謝生化学	2	22
外山英男	食品保蔵学	3	18
山田光子	薬理学	3	24
		合計	

-

- (参考)平成 25 年度前期 授業評価アンケート実施科目

教員名	科目名	学年	回答者数
-----	-----	----	------

柏田雅徳	醸造学	2	33
山田光子	薬理学	3	26
寺原典彦	食品学Ⅰ	2	28
外山英男	発酵食品学	1	36
紺谷靖英	代謝生化学	2	32
中瀬昌之	食品加工学	2	28
		合計	195

・ 2. 平成 26 年度前期 アンケート結果

設問番号	回答欄					回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1		
①	90	43	15	7	0	155	4.39
②	6	20	93	22	14	155	2.88
③	14	42	77	20	2	155	3.30
④	68	70	16	1	0	155	4.32
⑤	59	62	31	3	0	155	4.14
⑥	92	50	12	0	0	154	4.52
⑦	71	66	16	2	0	155	4.33

⑥のみ未
回答 2
その他は
未回答 1

⑧	82	60	12	1	0	155	4.44
⑨	29	71	49	4	2	155	3.78
⑩	57	59	35	4	0	155	4.09
⑪	49	66	36	3	1	155	4.03

- ・
- ・ 設問項目：
- ・ 設問 1. 私はこの授業によく出席した。
- ・ 平均値 4.39 で概ね良好である。一方、回答番号 3 以下の割合が約 14%存在する。これは前年度と同様であり、引き続き学科教員間で学生の出欠状況の情報共有を行い、早い段階で怠学者の抽出を行い、指導教員を中心に対応していく。
- ・
- ・ 設問 2. 私は授業内容について質問や発言をした。
- ・ 平均値 2.88 で、これまでの授業評価アンケートの結果と同様に、設問中最も低い。前年同様であるので、改善策が必要である。。各教員が質問可能な時間帯を設けたり、学生が自主的に質問しやすい雰囲気作りをしたりするなど双方向性の授業形態に向けて更なる努力が必要のようである。
- ・ 設問 3. 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)。
- ・ 平均値が 3.30 で前年よりわずかに低下した。しかし、回答番号 3 以下が多数いることに対しては新たな対策を講じるべきである。また、大半の学生にさらに自学自習の習慣を身に付けさせる必要がある。
- ・ 設問 4・5・6・7・8 は教員の授業実施方法に関する質問である。
- ・ 平均値が 4.14－4.58 と概ね良好であり、同一科目が対象ではないが、従来の平均値をほぼ維持している。設問 5「教員の板書は見やすかった」に関しては、前回より向上していた(4.14)。
- ・ 設問 9. 私はこの授業内容を理解できた。
- ・ 平均値が 3.78 とあまり満足できない結果であった。また、回答番号 3 以下の回答がかなり多く、学生の理解度を増すための教員側の更なる努力が必要である。
- ・ 設問 10. 将来役に立つと感じた。
- ・ 平均値 4.09 であり、従来とほぼ同等の、概ね良好な結果であった。学生の立場から見て、学科で設定している科目群及び授業内容は概ね適切であると考えられる。
- ・ 設問 11. 満足度
- ・ 平均値が 4.03 で従来とほぼ同様の良好な結果であった。学生の立場から見て、学科で設定している科目群及び授業内容は概ね適切であると考えられる。
- ・ <<後期>>
- ・ 1. 平成 26 年度後期 授業評価アンケート実施科目

教員名	科目名	学年	回答者数
紺谷靖英	栄養学Ⅱ	3	35
中瀬昌之	食品学Ⅱ	2	33
寺原典彦	食品機能学	2	31
柏田雅徳	食品製造学	2	30
金松澄雄	生物化学Ⅱ	1	20
外山英男	生物学Ⅱ	1	16
山田光子	生理学	1	18
合計			183

・（参考）平成 25 年度後期 授業評価アンケート実施科目

教員名	科目名	学年	回答者数
紺谷靖英	栄養学Ⅱ	3	28
中瀬昌之	食品学Ⅱ	2	67
柏田雅徳	食品製造学	2	26
寺原典彦	食品分析学	1	35
外山英男	生物学Ⅱ	1	33
山田光子	生理学	1	40
金松澄雄	生物化学Ⅱ	1	33
合計			187

・ 2. 平成 26 年度後期 アンケート結果

設問番号	回答欄					回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1		
①	129	34	16	3	0	183	4.56
②	14	39	84	28	17	183	3.01
③	26	62	69	21	4	183	3.45
④	86	62	27	5	2	183	4.21
⑤	70	66	35	8	3	183	4.03
⑥	120	49	13	0	0	183	4.56

①～⑪ま
で未回答 1

⑦	94	59	26	3	0	183	4.32
⑧	102	63	16	1	0	183	4.44
⑨	42	80	54	4	2	1	3.84
⑩	64	79	35	4	0	183	4.09
⑪	61	76	42	0	3	183	4.03

各学期のアンケート結果

- ・
- ・
- ・ 設問 1. 私はこの授業によく出席した。
- ・ 平均値 4.56 で概ね良好である。一方、回答番号 3 以下の割合が約 10%存在する。引き続き学科教員間で学生の出欠状況の情報共有を行い、早い段階で怠学者の抽出を行い、指導教員を中心に対応する必要がある。
- ・
- ・ 設問 2. 私は授業内容について質問や発言をした。
- ・ 平均値 3.01 で、これまでの授業評価アンケートの結果と同様に、設問中最も低い。各教員が質問可能な時間帯を設けたり、学生が自主的に質問しやすい雰囲気作りをしたりするなど双方向性の授業形態に向けてさらに改善・工夫する必要がある。
- ・
- ・ 設問 3. 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)。
- ・ 平均値が 3.45 で前年とほぼ同様であった。また、回答番号 2 以下の割合がかなり多く、学生に自学自習の習慣を身に付けさせるための更なる改善が必要である。
- ・
- ・ 設問 4・5・6・7・8 は教員の授業実施方法に関する質問である。
- ・ 平均値が 4.03－4.56 と概ね良好であり、同一科目が対象ではないが、これまでの傾向とほぼ同様である。設問 5「教員の板書は見やすかった」に関しては、授業科目によっては改善が必要なケースがあるようだ。
- ・
- ・ 設問 9. 私はこの授業内容を理解できた。
- ・ 平均値が 3.84 とこれまでと同様に低い値である。回答番号 3 以下の回答が 3 割を超え、授業科目によっては学生にとって理解が困難であることがうかがえる。よって、学生の理解度を増すための教員側の努力と工夫が必要である。
- ・
- ・ 設問 10. 将来役に立つと感じた。
- ・ 平均値 4.09 であり、これまでの傾向とほぼ同様である。学生の立場から見て、学科で設定している科目群及び授業内容は概ね適切であると考えられる。
- ・

- ・ 設問 11. 満足度
- ・ 平均値が 4.03 で、これまでより若干の改善が見られ、授業内容は概ね適切であると考えられる。しかし、3を回答した学生もかなりいるので、学生の立場から見て授業満足度が上がるように更なる努力と工夫が必要である。
- ・ 1と回答した学生が3人もいるが、この点については、今後詳しく調査する必要がある。
- ・
- ・

(4) 子ども教育学科

- ・ 学生授業評価アンケート実施と授業改善の取り組み
- ・ □アンケート集計結果
- ・ 【前期:実施教員 16 名 回答数 676 名】(授業ごとの複数回答)
- ・ 【後期:実施教員 12 名 回答数 583 名】(授業ごとの複数回答)
- ・

・ 表1 全項目(①~⑪)平均値の年度別・前後期データ

(数字は、回答の平均値)

設問 番号	質 問 内 容	2014 前期	2014 後期	2013 前期	2013 後期
学生の授業取り組みに関する質問					
①	私はこの授業によく出席した	4.66	4.61	4.62	4.61
②	私は授業内容について質問や発言をした	3.27	3.17	3.08	2.88

③	私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)	3.80	3.72	3.69	3.51
教員の授業実施方法に関する質問					
④	教員の声は聞き取りやすかった	4.30	4.32	4.20	4.13
⑤	教員の板書(または PPT・配布資料等)は読みやすかった(見やすかった)	4.16	4.21	3.97	3.77
⑥	教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた	4.67	4.54	4.43	4.32
⑦	教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた	4.31	4.30	4.18	4.02
⑧	教員は熱意を持って授業をしていた	4.63	4.54	4.52	4.44
総合的評価					
⑨	私はこの授業内容を理解できた	4.12	4.08	4.00	3.84
⑩	私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた	4.42	4.37	4.41	4.16
⑪	私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた	4.31	4.22	4.23	3.98

・
・
・
・

・ 表2 各項目の「特にそう思う」「多少そう思う」の占める割合(%)

・ (小数点以下は四捨五入により算出)

設問 番号	質 問 内 容	2014 前期	2014 後期	2013 前期	2013 後期
学生の授業取り組みに関する質問					
①	私はこの授業によく出席した	93	91	94	90
②	私は授業内容について質問や発言をした	39	34	35	27
③	私はこの科目に積極的に取り組んだ (予習や復習をした)	61	58	59	48
教員の授業実施方法に関する質問					
④	教員の声は聞き取りやすかった	80	84	78	76
⑤	教員の板書(または PPT・配布資料等) は読みやすかった(見やすかった)	75	78	69	61

⑥	教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた	94	89	85	82
⑦	教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた	81	82	76	70
⑧	教員は熱意を持って授業をしていた	93	90	89	86
総合的評価					
⑨	私はこの授業内容を理解できた	76	78	74	66
⑩	私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた	86	85	87	78
⑪	私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた	83	81	81	70

- ・
- ・ □アンケート結果の分析
- ・ 【全体的分析】
- ・ 表1に示すように、今年度における学科教員の平均値が4ポイント以上の項目は、前期で9項目、後期も同じく9項目あり、全体としての授業評価は、良好ととらえていいように思われる。また、前年度に比べて前期で1項目、後期で3項目も増えている。
- ・ 次に、表2に示す「特にそう思う」、「多少そう思う」の占める割合についてみると、80%台以上の項目は、前期及び後期ともに7項目であった。これを前年度と比べると、前期で2項目、後期では4項目も増えたことになる。
- ・ 以上のように、表1及び表2の結果を前年度と比較すると、教員に対する授業評価は高まり、前年度の反省事項を受けて、教員各自が授業改善に当たってきた成果が示された結果ともいえる。
- ・ しかし、各項目の中でも「学生の授業取り組みに関する質問」である、項目②「質問や発言」及び項目③「予習や復習」は、前年度に比べ表1、表2ともに平均値や割合が高まったとはいえるが、他項目に比べると極端に低く満足のいくものではない。我が国が進める大学教育の改革の一つとして、教育方法の質的転換でもある「アクティブ・ラーニング」(学生の能動的な活動を取り入れた授業や学習方法)の実施が提起されているように、今後は学生と教員が双方向に向き合い、かつ学生が能動的に参加し、参加したくなる授業展開の在り方を工夫していく必要があるように思われる。
- ・ 以下は、昨年度と本年度における、前期、後期それぞれについての概括的な分析である。
- ・ 【前期について】
- ・ ○表1から見えてくること
- ・ 前年度前期と比べて、全 11 項目の平均値が高くなっている。これは、授業改善の成果といえる。
- ・ ○表2から見えてくること
- ・ 前年度前期に比べて、9項目で割合が高くなっており、5ポイント以上高くなった項目も3項目あった。これも、表1と同様に授業改善の成果という。
- ・ 【後期について】

- ・ ○表1から見えてくること
- ・ 前年度後期と比べて、10 項目の平均値が高くなっており、他の1項目も同じ値と授業改善の成果が示された。一番高まった項目は⑥「教員の授業時間遵守」であり、0.24 ポイントも増加している。
- ・ ○表2から見えてくること

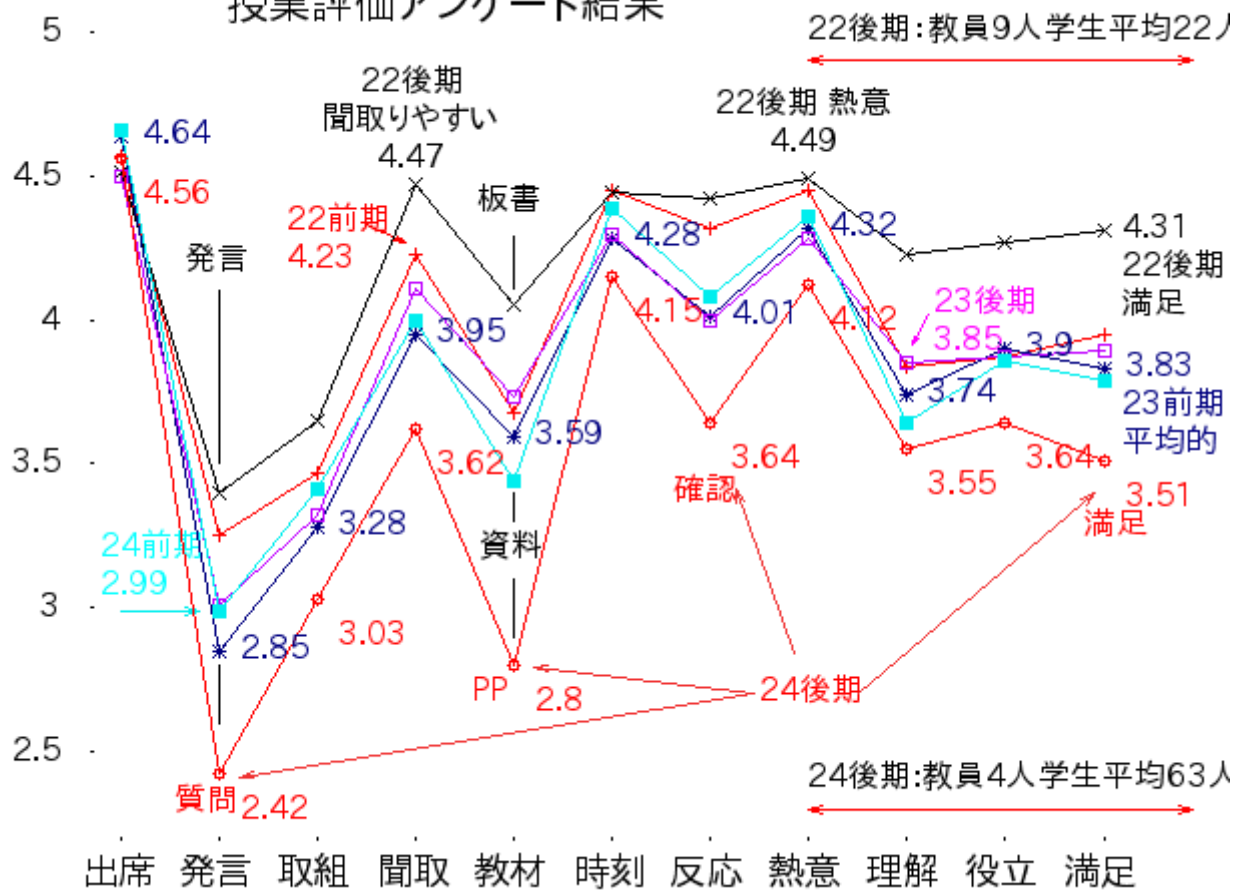
前年度後期に比べて、全 11 項目の割合が高くなっており、授業改善の成果が示された。一番高まった項目は⑤「教員の板書」であり、0.44 ポイントも増加している。これは、教員各自がパワーポイントを使用した授業の工夫など、学生にとって視覚的に有効な授業方法の工夫や改善を図ってきた成果が示された結果といえる。

（５）教養・教職センター

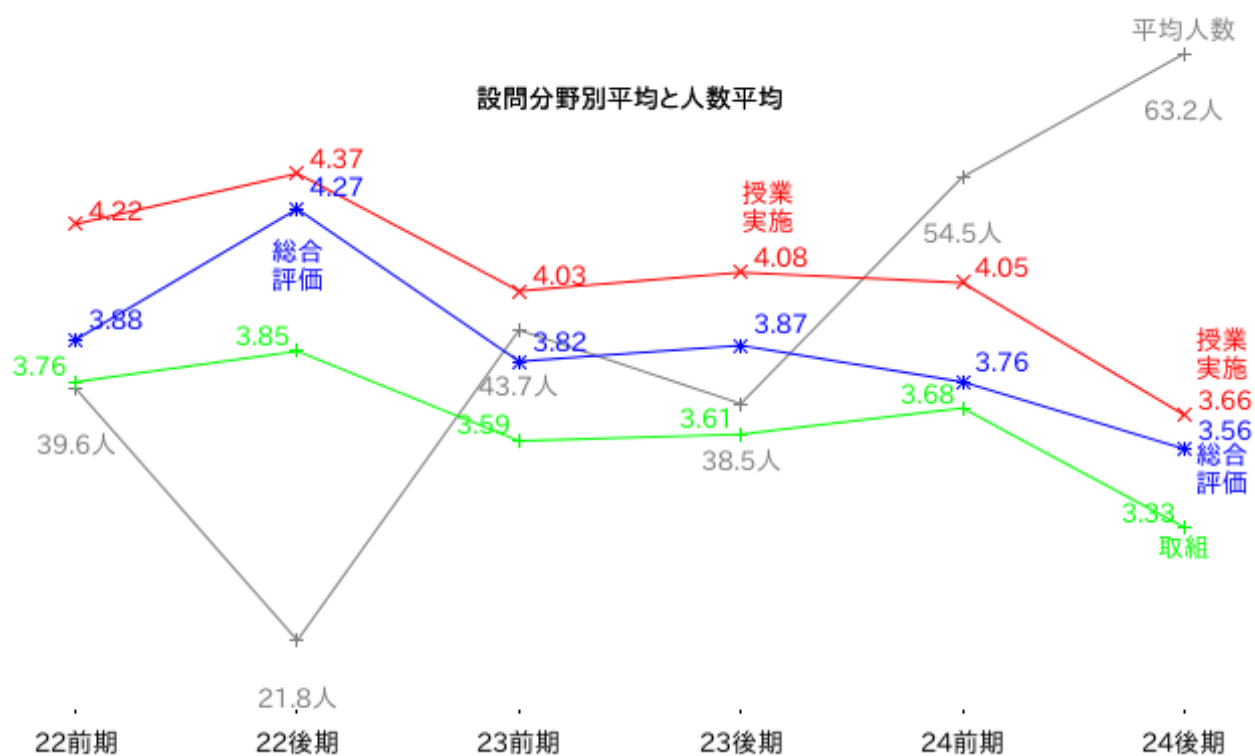
アンケート結果は教養・教職センターの FD 話し合いの土台作りに役立っている。毎回は教職員人と講義と学生の数が違うので年ごとと学期ごとの比較評価としてあまり参考にならないけど大きい流れが見えてくる。全大学でも同じように「質問や発言をした」について設問 2 の結果は低い方です。その結果を引き上げるとすればどんな工夫が効果的でありそうか話になる。今までの学校と大学などの在り方についての話にも繋がる。従来の学校と大学では参加型学習体験は多くないようだ。

以前は講義の学生平均人数の評価の相関性を注目した。やっぱり人数が少ければ少ないほど質問・発言したかや、資料・ホワイトボードが分かりやすかったかや、理解の確認してくれたかや、満足したかについての質問の結果が高い。

5



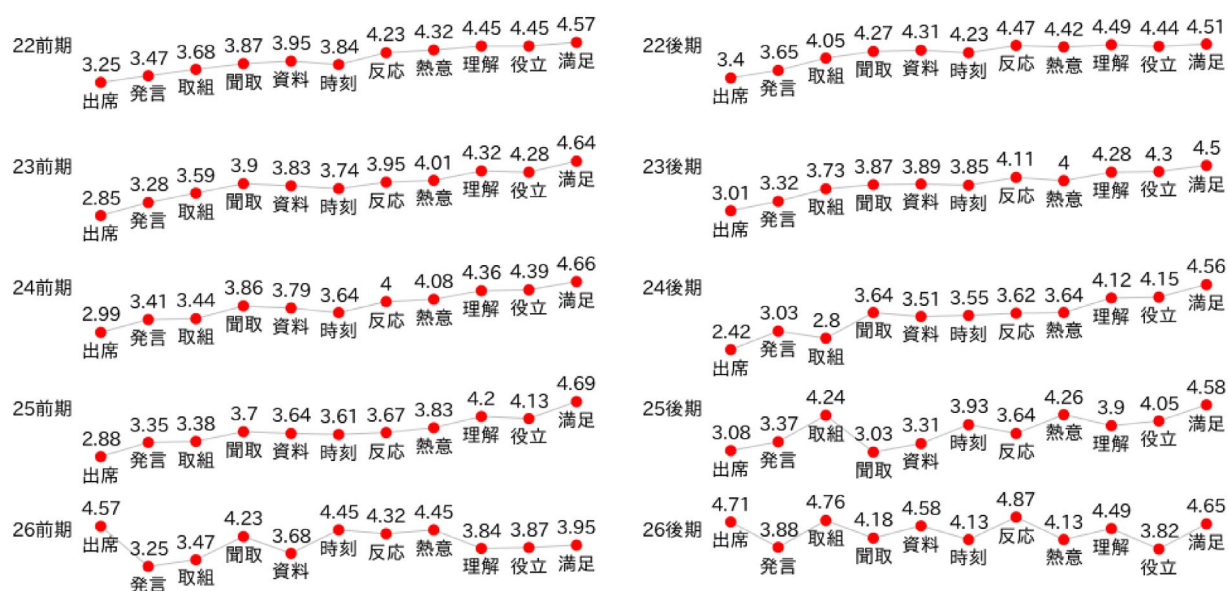
人数の少ないと教員の授業実施についての質問の平均結果が高いです。学生人数が増えると総合評価と学生自身に取り組だけじゃなくて授業実施についての結果が下るように見えます。



今年まで学期別平均結果を一覧で比較できる。

センター平均結果

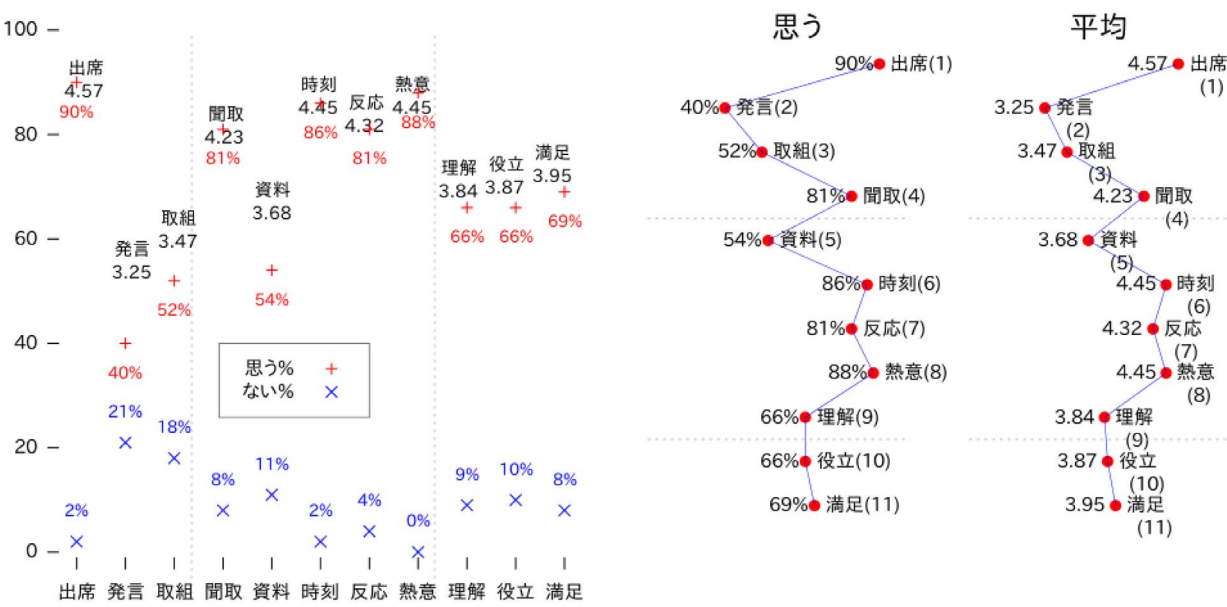
H22～H26 表



センター平均結果 H22～H26 表

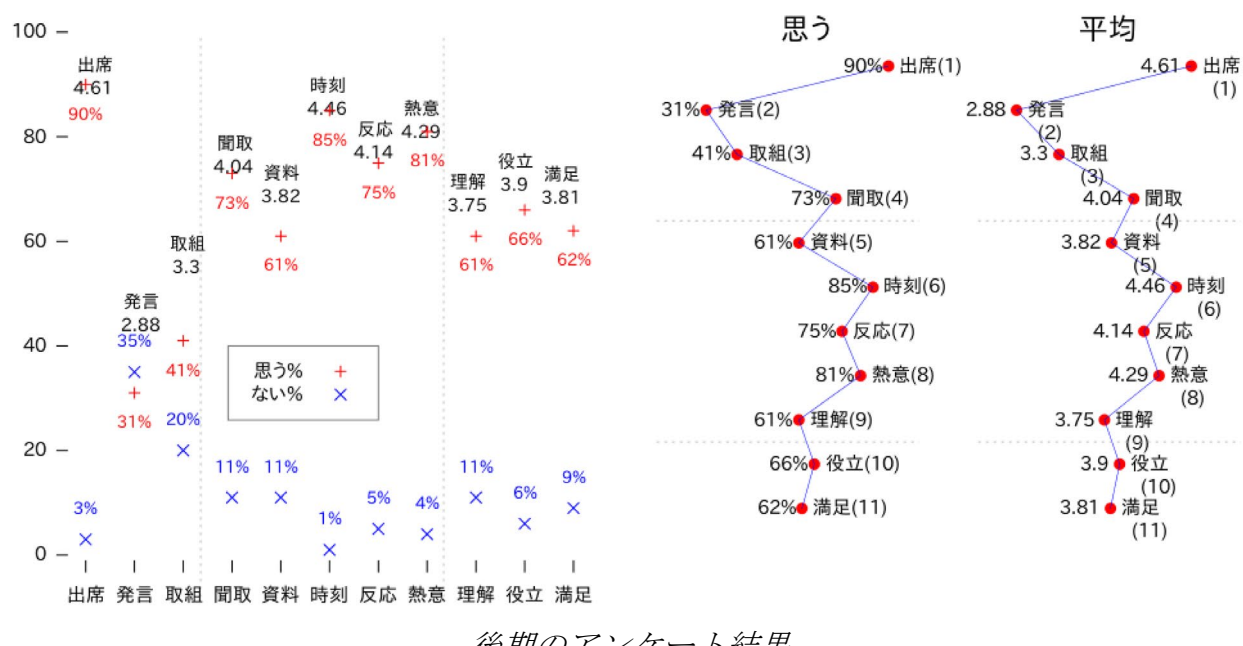
そのデータと視覚的表示を続いて大事にしているけど統計学の詳しい先生と相談したら世論調査のようなアンケートでは平均値の頼りにしていいか課題があるようです。「特にそう思う」を **5** と「全くそう思わない」を **1** とするとその間の段階である「多少」(**4**)と「どちらとも」(**3**)と「あまり」(**2**)が全部同じ段差か問題になるようだ。新聞などの世論調査では「支持する」割合(%)と「支持しない」割合%のように、今年は「思う」割合(**5** と **4** の答の%)と「思わない」割合(**1** と **2** の答の%)を参考にできるようにした。

H26 前期の結果表



H26 前期のアンケート結果図

H26 後期の結果表



「学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた」について設問 10 の平均結果は低く見える学期も目立つ。大学教育の目的は資格と就職を得ることだけではなく、自立した自由社会の市民になるための意識を高めて、実感することを検討すべきである。

「短期間で就職先を辞める卒業生が多い」ことも意識して広い意味で学生と社会のニーズに答えられるような講義の内容と在り方を考えたい。または教養・教職センターは大学の課題である「各学部の有機的つながりの欠如」にどんなふうに取り組めるか検討したいである。

以前と続いて、アンケート結果を視覚的に示すことを、情報デザインの理念から教材作りの訓練として考えた。フリーソフトを使って簡単なプログラム(スクリプト)を組む必要である。毎年の累積でより簡潔な図(グラフ)ができあがっていると思いたい。これから学問で課題になる **Literate Programming**(文芸的プログラミング)[1]と **Reproducible Research**(再現可能な研究) [2] の観点を取り入れて他の FD 参加者もグラフの生成できるようにするのが課題である。

.

様式③—前期授業評価アンケート様式

授業評価アンケート票

平成26年度前期（南九州大学FD推進委員会）

このアンケートは、個々の教員の授業改善を目的として実施するもので、皆さんの成績評価とは無関係です。個々の意見は、教員が参考にさせていただき、今後の授業改善に活用させていただきますので、率直な回答をお願いします。

以下の設問に回答して下さい。回答は次の5段階評価により、回答欄の該当する番号に○をつけて下さい。

回答番号	5	4	3	2	1
	特にそう思う	多少そう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	全くそう思わない

○回答者所属学科・学年（ 学科 学年）

設問番号	学生の授業取り組みに関する質問	回答欄				
①	私はこの授業によく出席した	5	4	3	2	1
②	私は授業内容について質問や発言をした	5	4	3	2	1
③	私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)	5	4	3	2	1
	教員の授業実施方法に関する質問					
④	教員の声は聞き取りやすかった	5	4	3	2	1
⑤	教員の板書(またはPPT・配布資料等)は読みやすかった(見やすかった)	5	4	3	2	1
⑥	教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた	5	4	3	2	1
⑦	教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた	5	4	3	2	1
⑧	教員は熱意を持って授業をしていた	5	4	3	2	1
	総合的評価					
⑨	私はこの授業内容を理解できた	5	4	3	2	1
⑩	私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた	5	4	3	2	1
⑪	私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた	5	4	3	2	1

-----切り取り線-----

自由意見欄

（上記設問の回答で「1」及び「2」を選択した場合は、できれば以下に選択した理由を記入して下さい。）

（授業に関する意見がある人は自由に記入してください）

※教員あるいは学科単位で設問を自由に設定していただき、その回答を記述する形態としても構いません。

○回答授業科目名（ ）

平成26年度前期授業改善報告書

教員名 _____ アンケート実施科目 _____

アンケート集計結果に対する自己分析および改善すべき点を記述して下さい(ご自身が平成25年度後期の「授業改善報告書」に記述した，“授業改善に向けた施策”を実行できたかどうかも含めて記述して下さい)。

今後平成26年度後期および平成27年度前期の授業に向けて，上記改善点を意識した次年度授業の，授業改善に向けた施策をできるだけ具体的に記述して下さい。

注意：本報告書は，平成26年度後期および平成27年度前期の授業開始時に各教員へお返しします。次年度の授業は上記内容を意識した授業運営をお願いいたします。

平成26年度後期授業改善報告書

教員名 _____ アンケート実施科目 _____

アンケート集計結果に対する自己分析および改善すべき点を記述して下さい(ご自身が平成25年度後期および平成26年度前期の「授業改善報告書」に記述した，“授業改善に向けた施策”を実行できたかどうかも含めて記述して下さい)。

今後平成27年度前期および後期の授業に向けて，上記改善点を意識した次年度授業の，授業改善に向けた施策をできるだけ具体的に記述して下さい。

注意：本報告書は，平成27年度前期および後期の授業開始時に各教員へお返しします。次年度の授業は上記内容を意識した授業運営をお願いいたします。

平成26年度前期授業評価アンケート集計結果(大学)

全体集計

南九州大学

全アンケート回収数(枚) 2954 (人)

実施教員数 58 (人)

設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値	思う	ない
	5	4	3	2	1					
設問1)	2158	517	224	44	10	1	2953	4.61	90.59%	1.83%
設問2)	406	561	1176	352	457	2	2952	3.04	32.76%	27.41%
設問3)	702	920	943	255	115	19	2935	3.63	55.26%	12.61%
設問4)	1607	779	401	125	38	4	2950	4.29	80.88%	5.53%
設問5)	1394	809	549	159	42	1	2953	4.14	74.60%	6.81%
設問6)	2041	613	251	31	11	7	2947	4.58	90.06%	1.43%
設問7)	1555	820	453	89	33	4	2950	4.28	80.51%	4.14%
設問8)	1883	711	301	40	14	5	2949	4.50	87.96%	1.83%
設問9)	1017	1127	628	125	53	4	2950	3.99	72.68%	6.03%
設問10)	1555	846	451	62	36	4	2950	4.30	81.39%	3.32%
設問11)	1357	954	510	87	42	4	2950	4.19	78.34%	4.37%

平成26年度後期授業評価アンケート集計結果(大学)

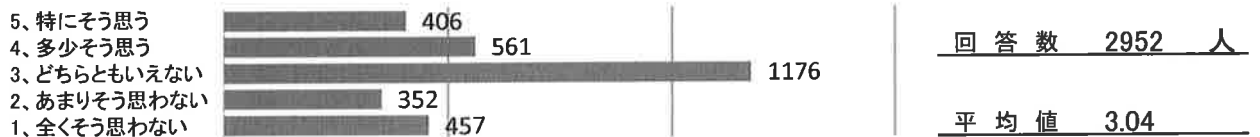
全体集計	南九州大学	
全アンケート回収数	2954	人(枚)
実施教員数	58	人

学生の授業取り組みに関する質問

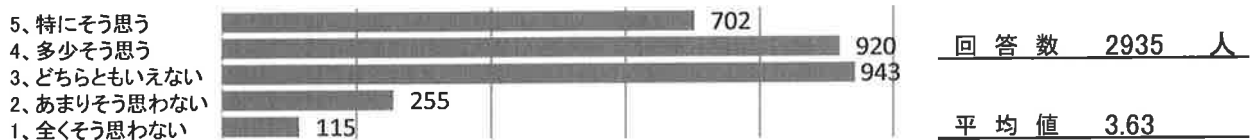
設問1) 私はこの授業によく出席した



設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)

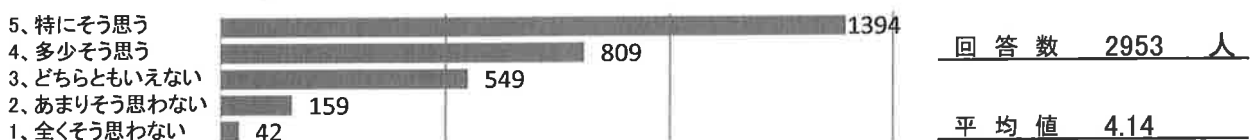


教員の授業実施方法に関する質問

設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



平成26年度後期授業評価アンケート集計結果(大学)

全体集計	南九州大学	
全アンケート回収数	2954	人(枚)
実施教員数	58	人

設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた

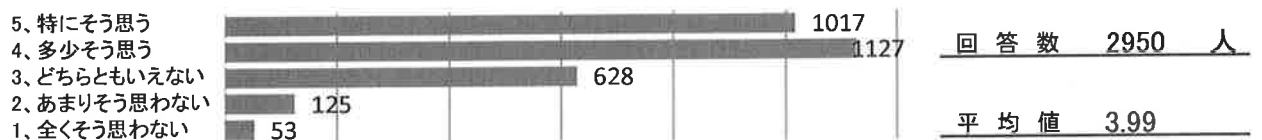


設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた



総合的評価

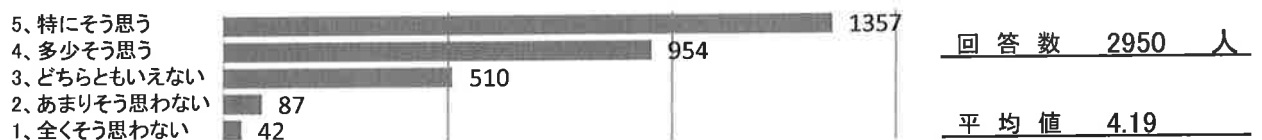
設問9) 私はこの授業内容を理解できた



設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



南九州大学			
シートNo.	学 科 名	アンケート実施教員数	アンケート回収数 (枚)
<u>1</u>	環境園芸	18	1074
<u>2</u>	管理栄養	11	713
<u>3</u>	教養・教職	6	335
<u>4</u>	子ども教育	16	676
<u>5</u>	食品健康・食品開発	7	156
	合 計	58	2954

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

科目名

環境園芸

アンケート回収数(枚) 1074 (人)

担当教員数 18 (人)

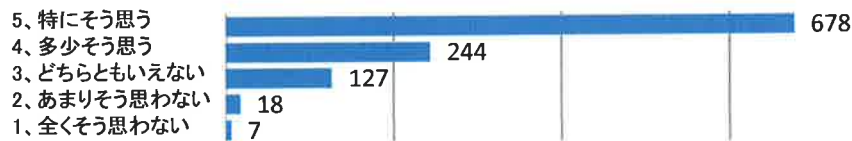
設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	678	244	127	18	7	0	1074	4.46
設問2)	146	179	396	144	208	1	1073	2.92
設問3)	229	338	348	90	61	8	1066	3.55
設問4)	554	293	166	45	14	2	1072	4.24
設問5)	485	290	215	63	21	0	1074	4.08
設問6)	675	251	121	18	8	1	1073	4.46
設問7)	526	306	191	37	13	1	1073	4.21
設問8)	640	265	148	11	8	2	1072	4.42
設問9)	315	428	248	58	25	0	1074	3.88
設問10)	451	352	223	30	17	1	1073	4.11
設問11)	446	364	210	33	21	0	1074	4.10

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	環境園芸
アンケート回収数	1074
	人(枚)

学生の授業取り組みに関する質問

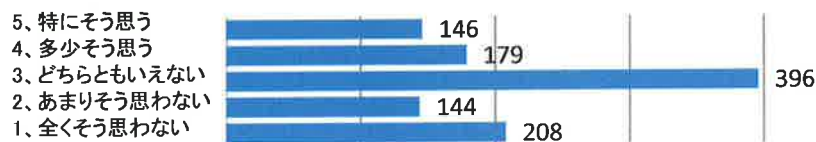
設問1) 私はこの授業によく出席した



回答数 1074 人

平均値 4.46

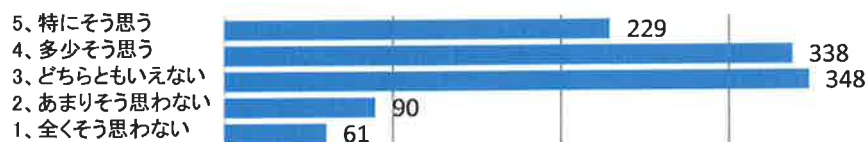
設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



回答数 1073 人

平均値 2.92

設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)

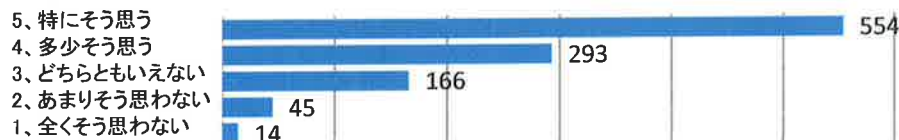


回答数 1066 人

平均値 3.55

教員の授業実施方法に関する質問

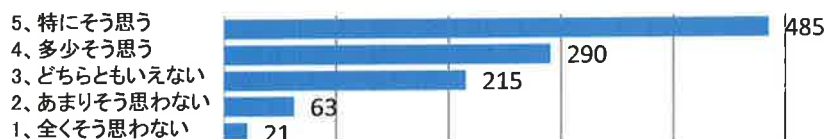
設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



回答数 1072 人

平均値 4.24

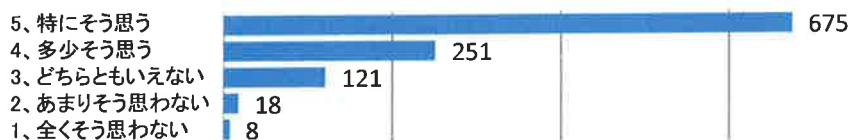
設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



回答数 1074 人

平均値 4.08

設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



回答数 1073 人

平均値 4.46

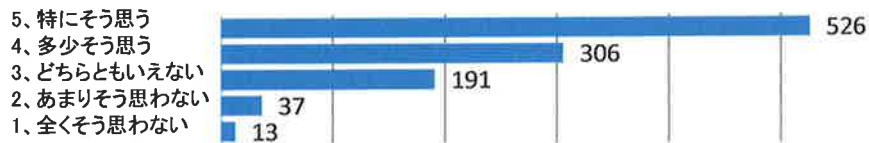
平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目 環境園芸

アンケート回収数 1074

人(枚)

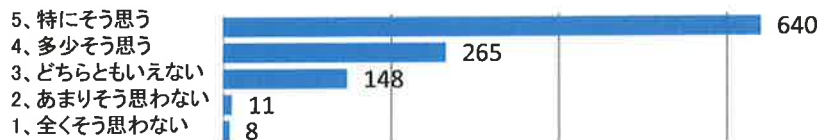
設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回答数 1073 人

平均値 4.21

設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた



回答数 1072 人

平均値 4.42

総合的評価

設問9) 私はこの授業内容を理解できた



回答数 1074 人

平均値 3.88

設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回答数 1073 人

平均値 4.11

設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回答数 1074 人

平均値 4.10

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

科目名

管理栄養

アンケート回収数(枚) 713 (人)

担当教員数 11 (人)

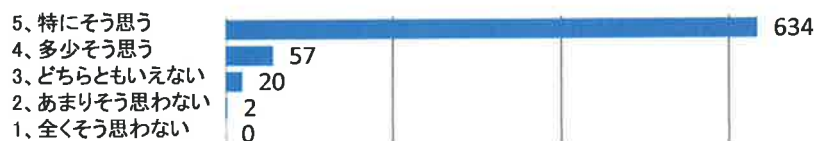
設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	634	57	20	2	0	0	713	4.86
設問2)	77	171	302	74	89	0	713	3.10
設問3)	196	257	194	50	13	3	710	3.81
設問4)	453	161	66	29	4	0	713	4.44
設問5)	405	186	93	26	3	0	713	4.35
設問6)	576	89	39	7	2	0	713	4.73
設問7)	429	177	86	17	4	0	713	4.42
設問8)	503	146	49	13	1	1	712	4.60
設問9)	291	293	107	19	3	0	713	4.19
設問10)	533	145	29	6	0	0	713	4.69
設問11)	401	219	76	14	2	1	712	4.41

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	管理栄養
アンケート回収数	713
	人(枚)

学生の授業取り組みに関する質問

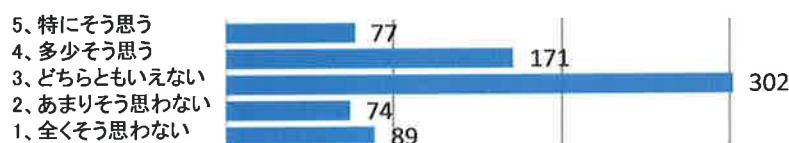
設問1) 私はこの授業によく出席した



回答数 713 人

平均値 4.86

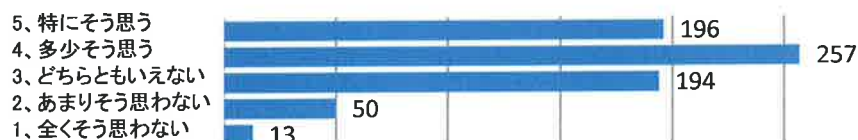
設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



回答数 713 人

平均値 3.10

設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)

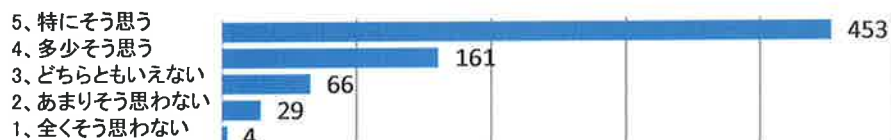


回答数 710 人

平均値 3.81

教員の授業実施方法に関する質問

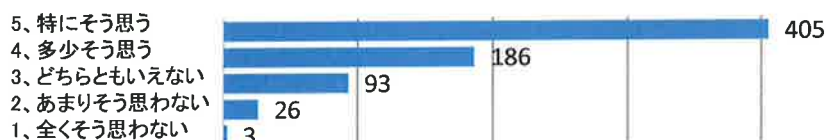
設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



回答数 713 人

平均値 4.44

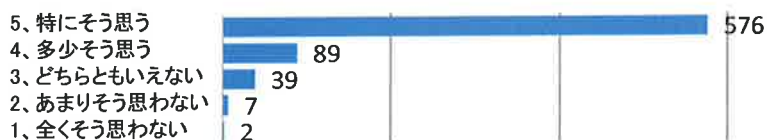
設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



回答数 713 人

平均値 4.35

設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



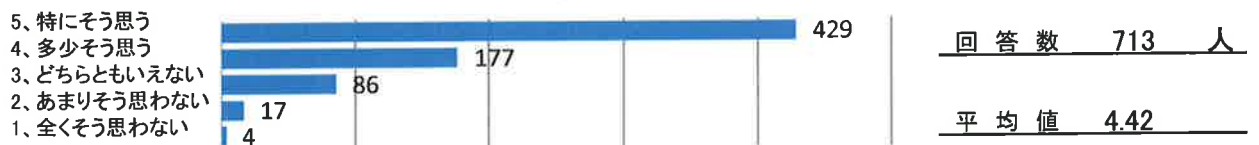
回答数 713 人

平均値 4.73

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	管理栄養
アンケート回収数	713 人(枚)

設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた

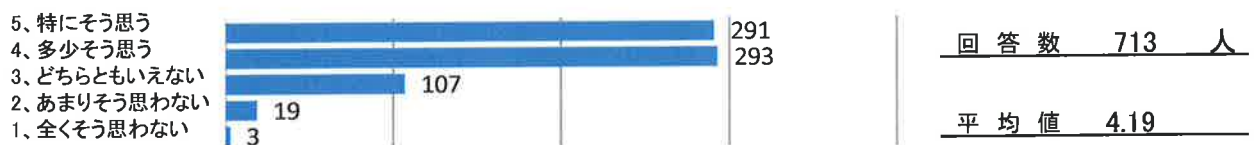


設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた

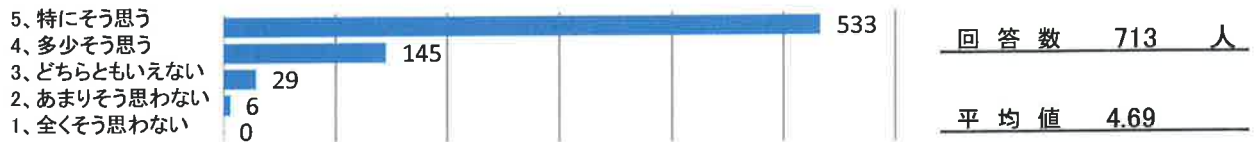


総合的評価

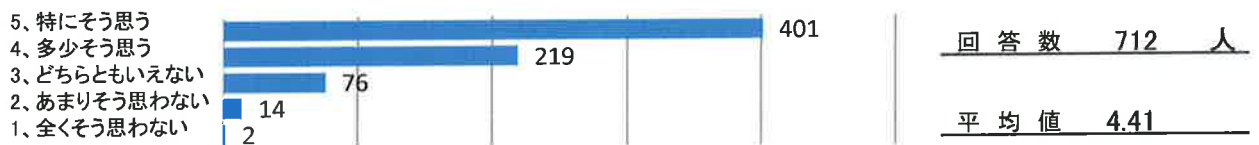
設問9) 私はこの授業内容を理解できた



設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



平成26年度 授業評価アンケート集計結果

科目名 子ども教育

アンケート回収数(枚) 676 (人)

担当教員数 16 (人)

設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	504	123	40	9	0	0	676	4.66
設問2)	126	139	270	73	68	0	676	3.27
設問3)	207	203	194	50	16	6	670	3.80
設問4)	378	166	97	26	8	1	675	4.30
設問5)	334	176	117	38	11	0	676	4.16
設問6)	490	146	36	2	0	2	674	4.67
設問7)	372	179	94	19	11	1	675	4.31
設問8)	478	151	40	6	1	0	676	4.63
設問9)	286	230	126	22	11	1	675	4.12
設問10)	401	183	72	11	8	1	675	4.42
設問11)	357	201	93	17	7	1	675	4.31

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

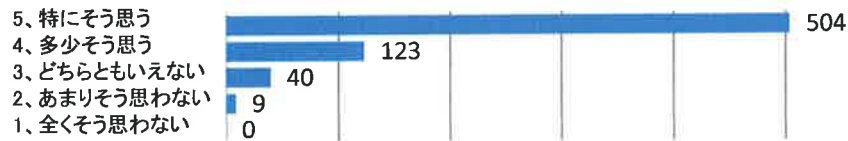
担当科目 子ども教育

アンケート回収数 676

人(枚)

学生の授業取り組みに関する質問

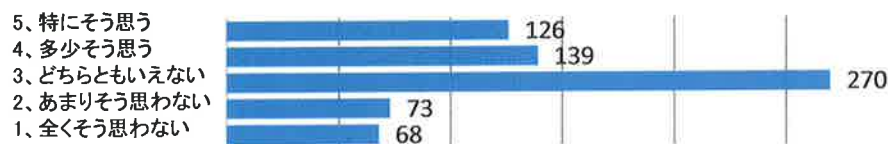
設問1) 私はこの授業によく出席した



回答数 676 人

平均値 4.66

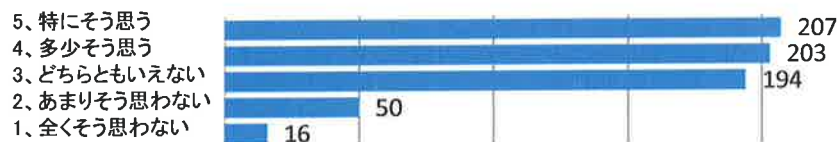
設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



回答数 676 人

平均値 3.27

設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)

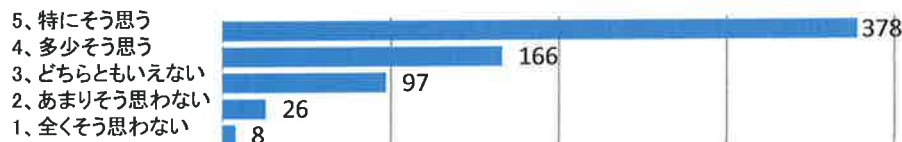


回答数 670 人

平均値 3.80

教員の授業実施方法に関する質問

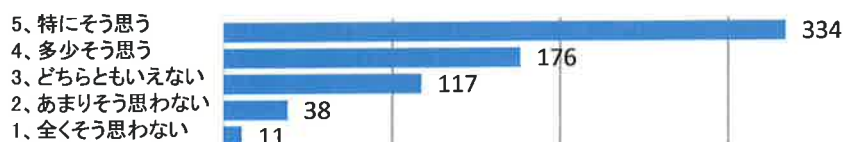
設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



回答数 675 人

平均値 4.30

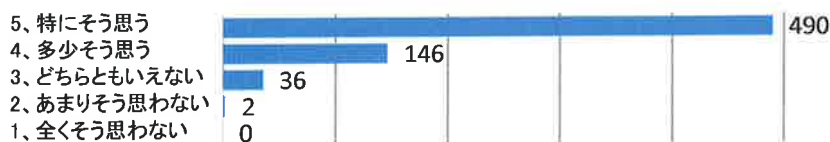
設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



回答数 676 人

平均値 4.16

設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



回答数 674 人

平均値 4.67

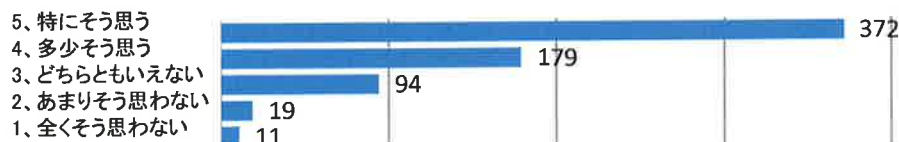
平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目 子ども教育

アンケート回収数 676

人(枚)

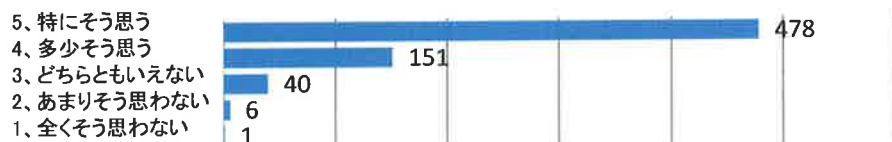
設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回答数 675 人

平均値 4.31

設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた



回答数 676 人

平均値 4.63

総合的評価

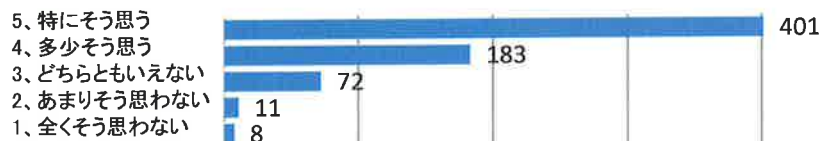
設問9) 私はこの授業内容を理解できた



回答数 675 人

平均値 4.12

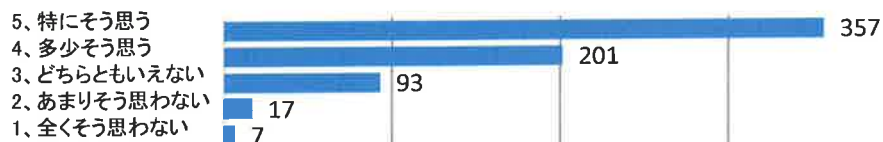
設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回答数 675 人

平均値 4.42

設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回答数 675 人

平均値 4.31

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

科目名 食品健康・食品開発

アンケート回収数(枚) 156 (人)

担当教員数 7 (人)

設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	90	43	15	7	0	1	155	4.39
設問2)	6	20	93	22	14	1	155	2.88
設問3)	14	42	77	20	2	1	155	3.30
設問4)	68	70	16	1	0	1	155	4.32
設問5)	59	62	31	3	0	1	155	4.14
設問6)	92	50	12	0	0	2	154	4.52
設問7)	71	66	16	2	0	1	155	4.33
設問8)	82	60	12	1	0	1	155	4.44
設問9)	29	71	49	4	2	1	155	3.78
設問10)	57	59	35	4	0	1	155	4.09
設問11)	49	66	36	3	1	1	155	4.03

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

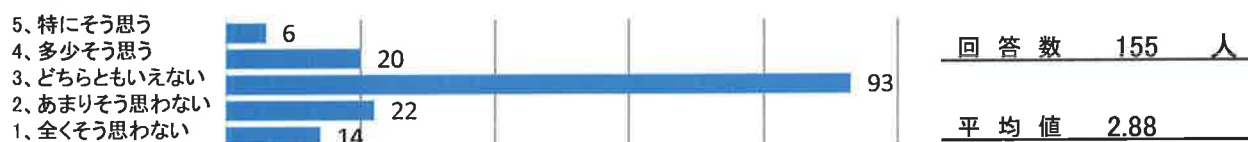
担当科目	食品健康・食品開発
アンケート回収数	156 人(枚)

学生の授業取り組みに関する質問

設問1) 私はこの授業によく出席した



設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)



教員の授業実施方法に関する質問

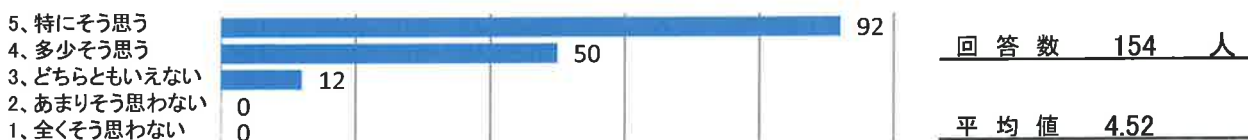
設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



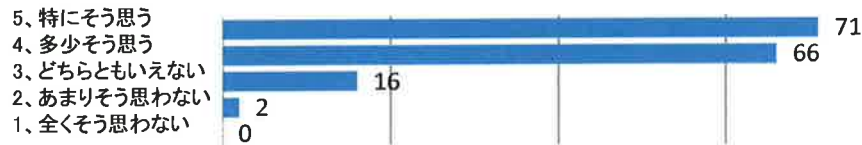
平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目 食品健康・食品開発

アンケート回収数 156

人(枚)

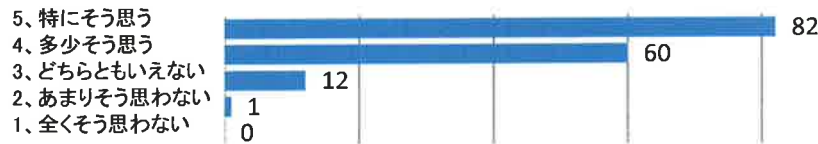
設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回答数 155 人

平均値 4.33

設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた



回答数 155 人

平均値 4.44

総合的評価

設問9) 私はこの授業内容を理解できた



回答数 155 人

平均値 3.78

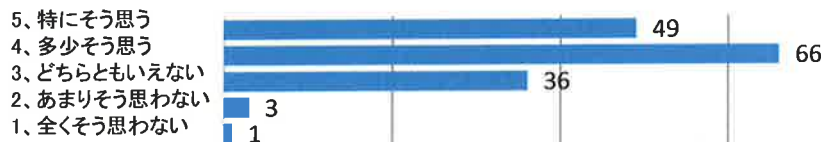
設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回答数 155 人

平均値 4.09

設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回答数 155 人

平均値 4.03

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

科目名

教養・教職

アンケート回収数(枚) 335 (人)

担当教員数 6 (人)

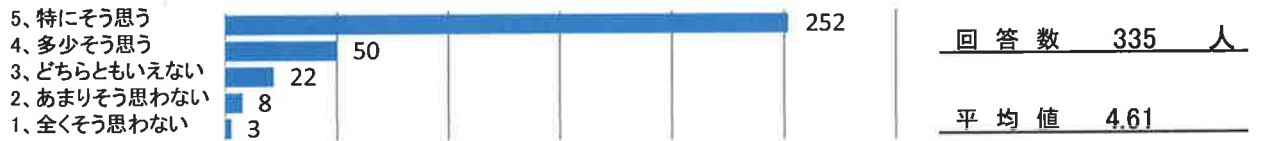
設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	252	50	22	8	3	0	335	4.61
設問2)	51	52	115	39	78	0	335	2.88
設問3)	56	80	130	45	23	1	334	3.30
設問4)	154	89	56	24	12	0	335	4.04
設問5)	111	95	93	29	7	0	335	3.82
設問6)	208	77	43	4	1	2	333	4.46
設問7)	157	92	66	14	5	1	334	4.14
設問8)	180	89	52	9	4	1	334	4.29
設問9)	96	105	98	22	12	2	333	3.75
設問10)	113	107	92	11	11	1	334	3.90
設問11)	104	104	95	20	11	1	334	3.81
英語 設問12)	14	25	33	4	2	18	78	3.58
英語 設問13)	20	23	29	5		19	77	3.75

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

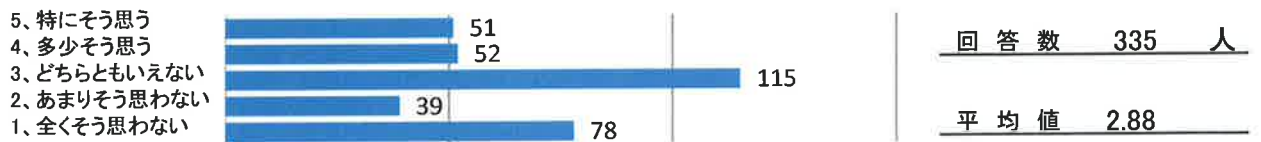
担当科目	教養・教職
アンケート回収数	335
	人(枚)

学生の授業取り組みに関する質問

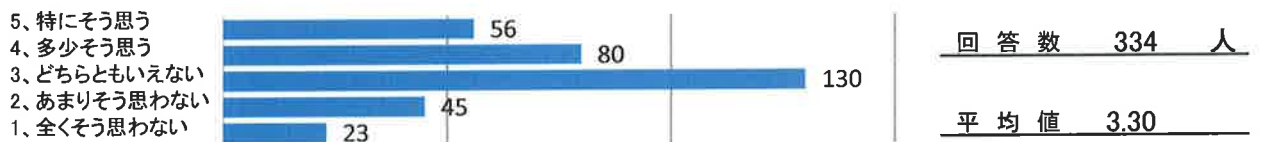
設問1) 私はこの授業によく出席した



設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)



教員の授業実施方法に関する質問

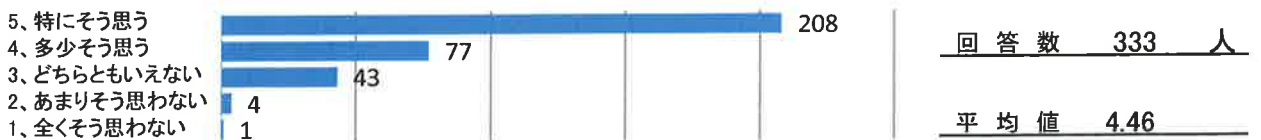
設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



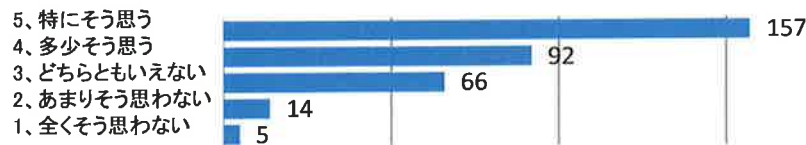
設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	教養・教職
アンケート回収数	335
	人(枚)

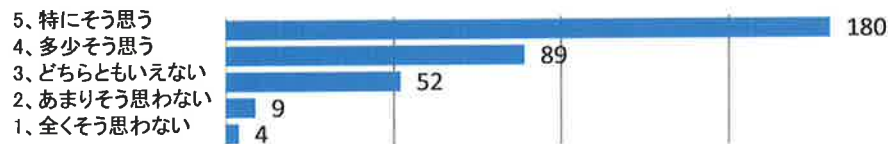
設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回答数 334 人

平均値 4.14

設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた



回答数 334 人

平均値 4.29

総合的評価

設問9) 私はこの授業内容を理解できた



回答数 333 人

平均値 3.75

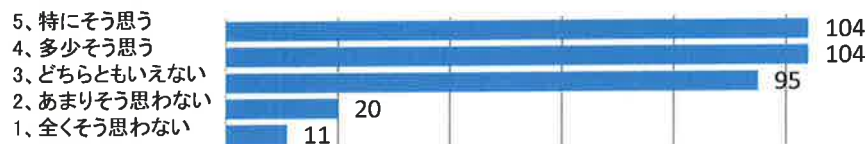
設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回答数 334 人

平均値 3.90

設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた

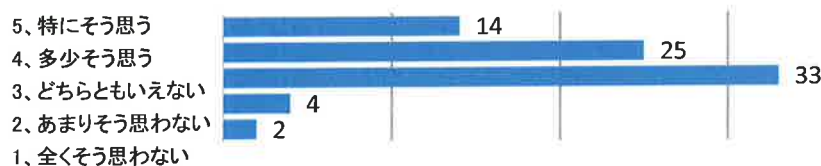


回答数 334 人

平均値 3.81

【英語コミュニケーションⅠのみ】

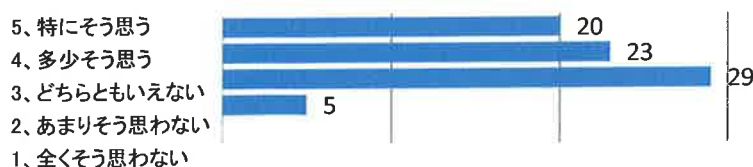
設問12) 授業から知的刺激を受けた



回答数 78 人

平均値 3.58

設問13) この授業を受けて、新しい物の見方や知識を獲得した実感がありますか？



回答数 77 人

平均値 3.75

平成26年度後期授業評価アンケート集計結果(大学)

全体集計

南九州大学

全アンケート回収数(枚) 2595 (人)

実施教員数 56 (人)

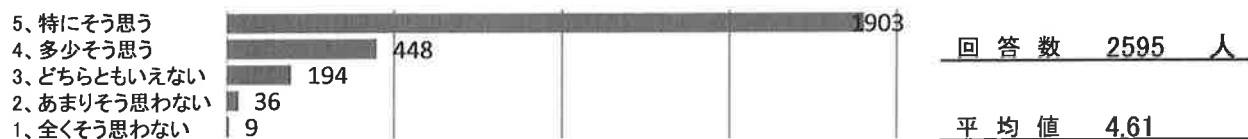
設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	1903	448	194	36	9	5	2595	4.61
設問2)	378	461	1083	333	333	7	2595	3.08
設問3)	603	819	875	198	89	11	2595	3.62
設問4)	1388	724	353	99	25	6	2595	4.28
設問5)	1254	728	447	117	43	6	2595	4.16
設問6)	1734	573	235	40	7	6	2595	4.53
設問7)	1398	744	365	62	19	7	2595	4.32
設問8)	1614	672	267	31	4	7	2595	4.48
設問9)	908	1028	532	89	26	12	2595	4.03
設問10)	1381	753	372	55	21	13	2595	4.30
設問11)	1166	899	450	45	22	13	2595	4.20

平成26年度後期授業評価アンケート集計結果(大学)

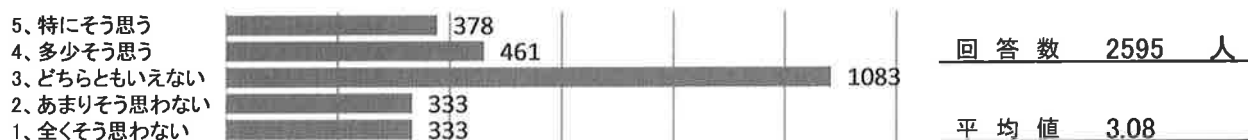
全体集計	南九州大学
全アンケート回収数	2595 人(枚)
実施教員数	56 人

学生の授業取り組みに関する質問

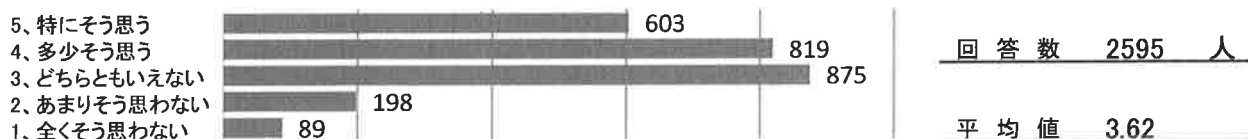
設問1) 私はこの授業によく出席した



設問2) 私は授業内容について質問や発言をした

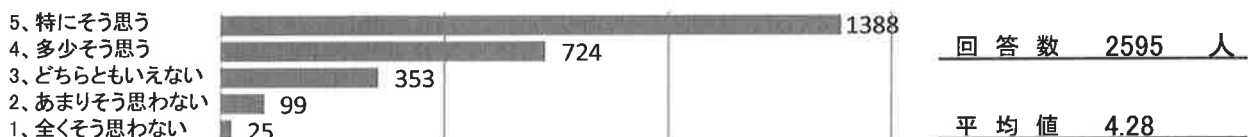


設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)

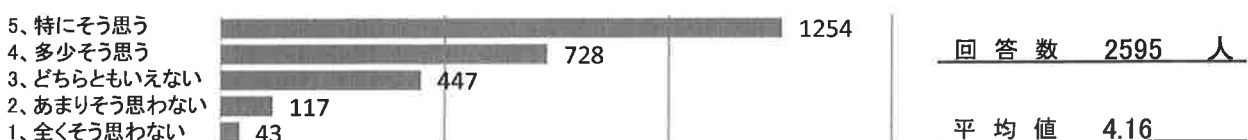


教員の授業実施方法に関する質問

設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



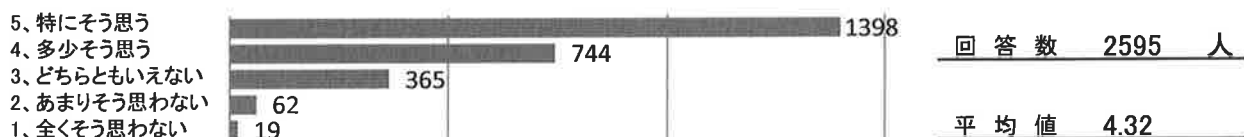
平成26年度後期授業評価アンケート集計結果(大学)

全体集計	南九州大学
全アンケート回収数	2595
実施教員数	56

人(枚)

人

設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた

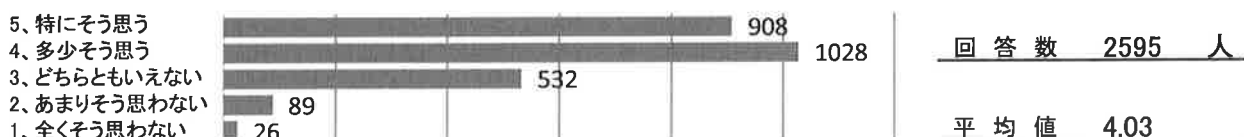


設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた

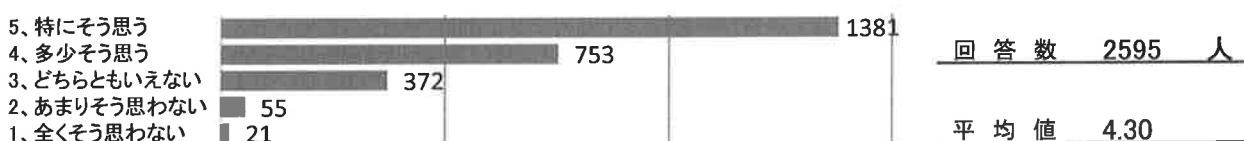


総合的評価

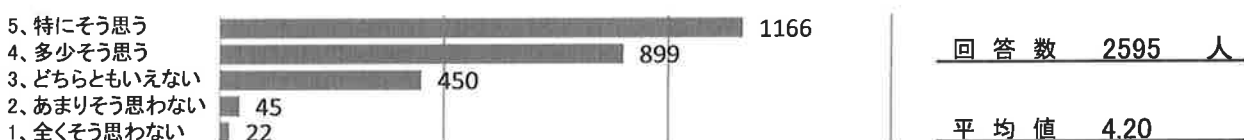
設問9) 私はこの授業内容を理解できた



設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



南九州大学			
シートNo.	学 科 名	アンケート実施教員数	アンケート回収数 (枚)
<u>1</u>	環境園芸	17	706
<u>2</u>	管理栄養	11	673
<u>3</u>	教養・教職	9	450
<u>4</u>	子ども教育	12	583
<u>5</u>	食品健康・食品開発	7	183
	合 計	56	2595

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

科目名

環境園芸

アンケート回収数(枚) 706 (人)

担当教員数 17 (人)

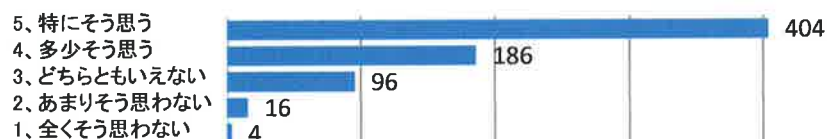
設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	404	186	96	16	4	0	706	4.37
設問2)	79	92	313	91	129	2	706	2.85
設問3)	141	223	241	61	38	2	706	3.51
設問4)	347	203	112	35	8	1	706	4.19
設問5)	314	203	140	32	17	0	706	4.08
設問6)	433	184	74	13	1	1	706	4.46
設問7)	348	221	117	14	6	0	706	4.26
設問8)	419	199	86	2	0	0	706	4.47
設問9)	220	284	159	33	7	3	706	3.95
設問10)	300	239	141	14	9	3	706	4.13
設問11)	274	272	137	12	8	3	706	4.11

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	環境園芸
アンケート回収数	706 人(枚)

学生の授業取り組みに関する質問

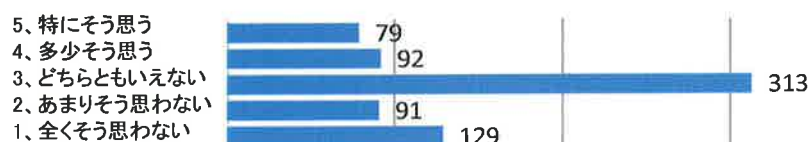
設問1) 私はこの授業によく出席した



回答数 706 人

平均値 4.37

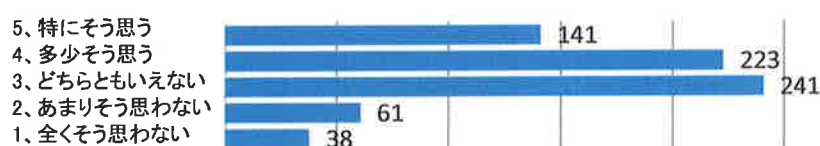
設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



回答数 706 人

平均値 2.85

設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)

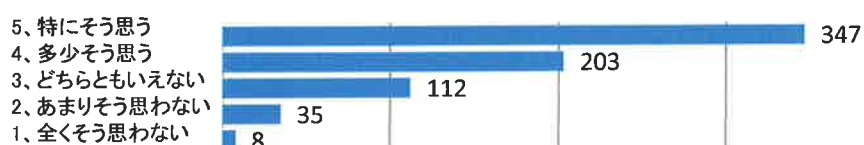


回答数 706 人

平均値 3.51

教員の授業実施方法に関する質問

設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



回答数 706 人

平均値 4.19

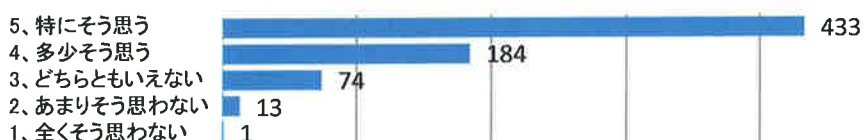
設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



回答数 706 人

平均値 4.08

設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



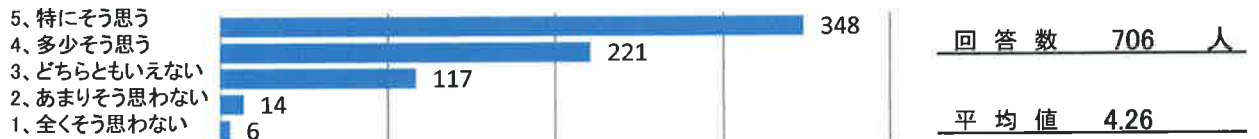
回答数 706 人

平均値 4.46

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	環境園芸
アンケート回収数	706
	人(枚)

設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた

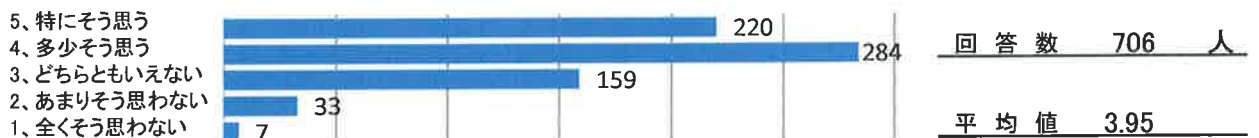


設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた

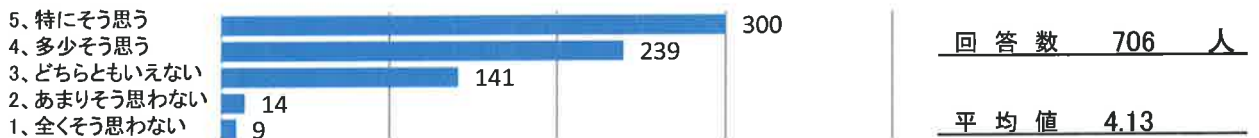


総合的評価

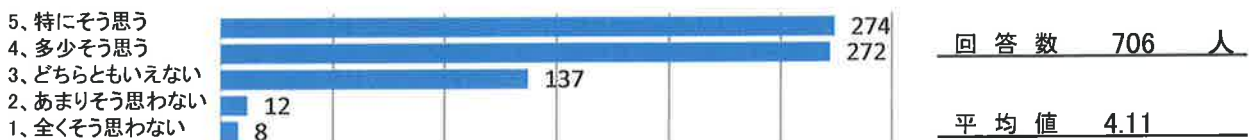
設問9) 私はこの授業内容を理解できた



設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



平成26年度 授業評価アンケート集計結果

科目名

管理栄養

アンケート回収数(枚) 673 (人)

担当教員数 11 (人)

設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	610	54	8	1	0	0	673	4.89
設問2)	106	158	268	76	65	0	673	3.24
設問3)	168	234	219	43	9	0	673	3.76
設問4)	439	167	58	8	1	0	673	4.54
設問5)	400	182	74	15	2	0	673	4.43
設問6)	522	105	39	3	3	1	673	4.69
設問7)	437	174	49	10	1	2	673	4.53
設問8)	475	157	31	8	0	2	673	4.62
設問9)	268	285	107	10	1	2	673	4.19
設問10)	508	121	39	3	0	2	673	4.68
設問11)	389	207	71	3	1	2	673	4.45

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

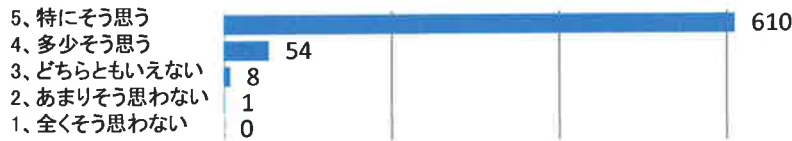
担当科目 管理栄養

アンケート回収数 673

人(枚)

学生の授業取り組みに関する質問

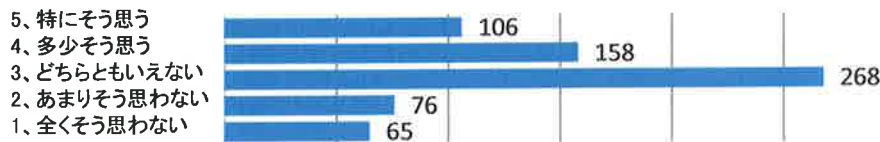
設問1) 私はこの授業によく出席した



回答数 673 人

平均値 4.89

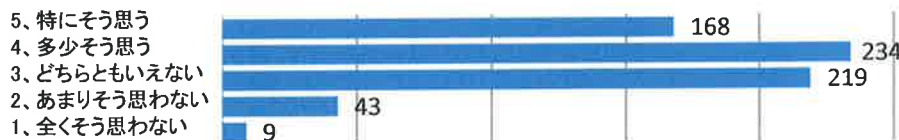
設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



回答数 673 人

平均値 3.24

設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)

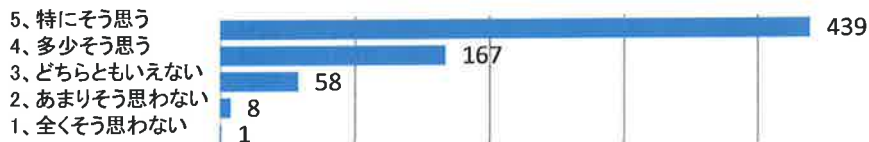


回答数 673 人

平均値 3.76

教員の授業実施方法に関する質問

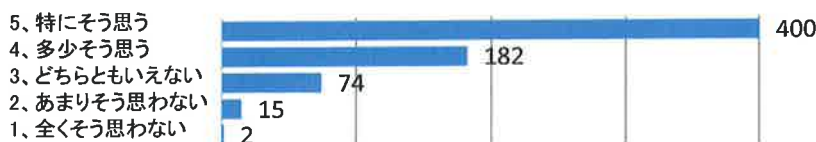
設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



回答数 673 人

平均値 4.54

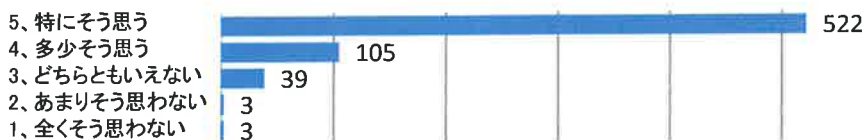
設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



回答数 673 人

平均値 4.43

設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



回答数 673 人

平均値 4.69

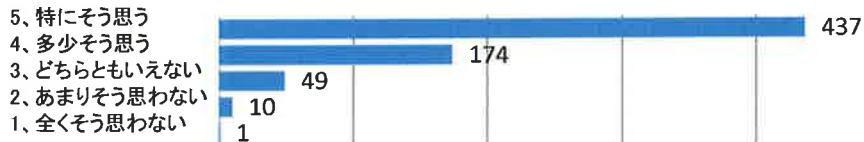
平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目 管理栄養

アンケート回収数 673

人(枚)

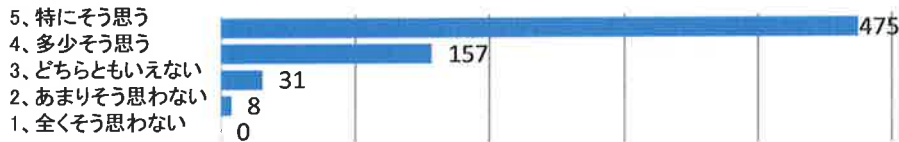
設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回答数 673 人

平均値 4.53

設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた

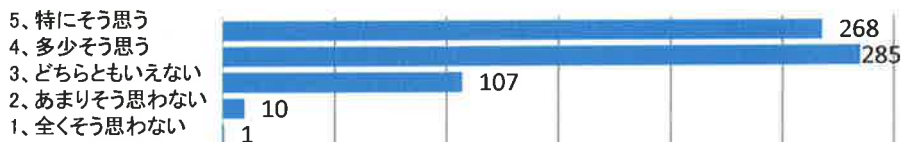


回答数 673 人

平均値 4.62

総合的評価

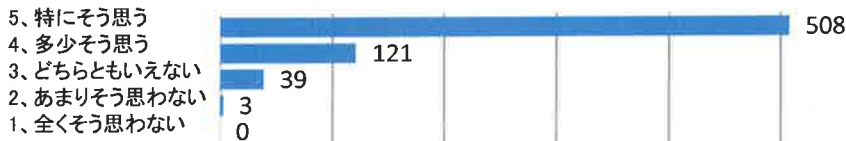
設問9) 私はこの授業内容を理解できた



回答数 673 人

平均値 4.19

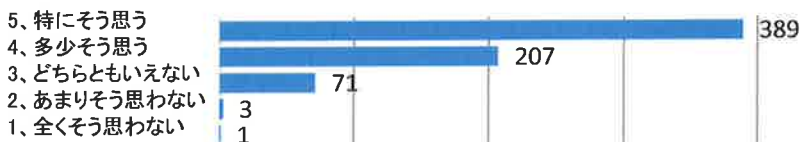
設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回答数 673 人

平均値 4.68

設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



回答数 673 人

平均値 4.45

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

科目名 子ども教育

アンケート回収数(枚) 583 (人)

担当教員数 12 (人)

設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	430	100	38	11	1	3	583	4.61
設問2)	93	108	242	89	49	2	583	3.17
設問3)	156	183	190	34	17	3	583	3.72
設問4)	317	172	68	21	2	3	583	4.32
設問5)	297	160	89	26	9	2	583	4.21
設問6)	402	119	44	14	2	2	583	4.54
設問7)	319	158	81	17	5	3	583	4.30
設問8)	392	132	49	6	1	3	583	4.54
設問9)	232	223	91	24	8	5	583	4.08
設問10)	335	161	67	12	3	5	583	4.37
設問11)	280	193	86	13	5	6	583	4.22

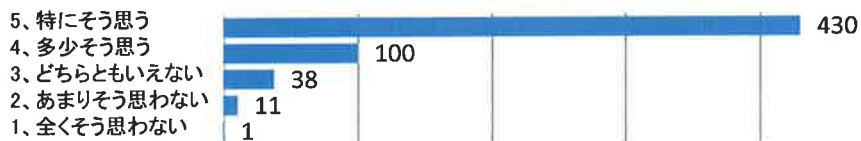
平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	子ども教育
アンケート回収数	583

人(枚)

学生の授業取り組みに関する質問

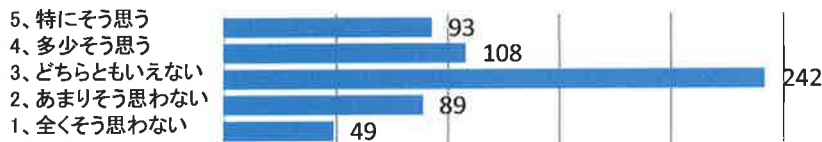
設問1) 私はこの授業によく出席した



回答数 583 人

平均値 4.61

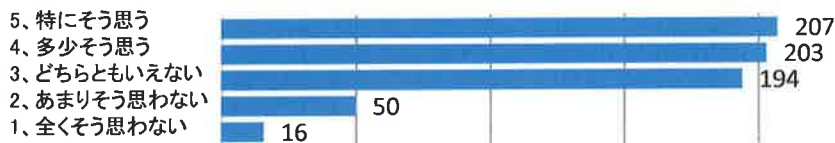
設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



回答数 583 人

平均値 3.17

設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)

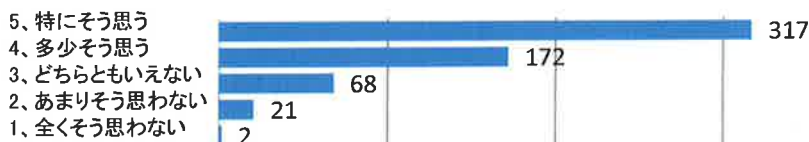


回答数 583 人

平均値 3.72

教員の授業実施方法に関する質問

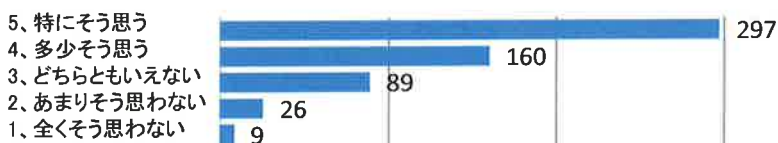
設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



回答数 583 人

平均値 4.32

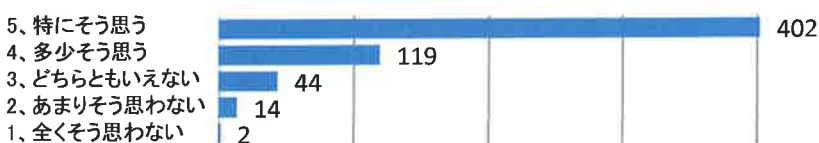
設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



回答数 583 人

平均値 4.21

設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



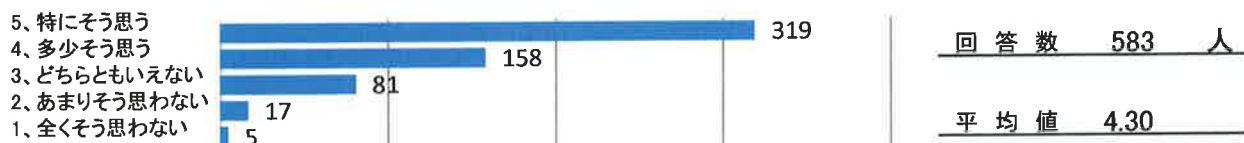
回答数 583 人

平均値 4.54

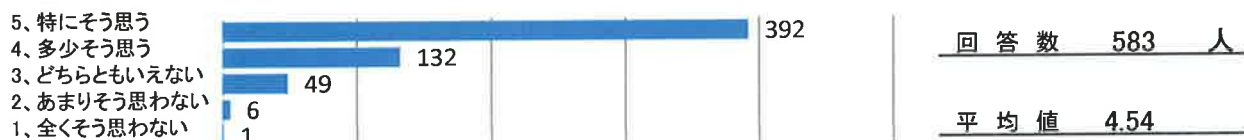
平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	子ども教育
アンケート回収数	583
	人(枚)

設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた



総合的評価

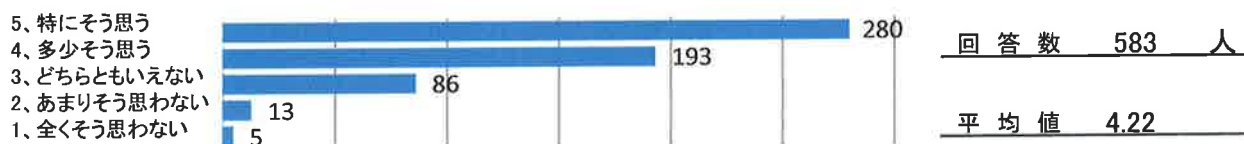
設問9) 私はこの授業内容を理解できた



設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



平成26年度 授業評価アンケート集計結果

科目名 食品健康・食品開発

アンケート回収数(枚) 183 (人)

担当教員数 7 (人)

設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	129	34	16	3	0	1	183	4.56
設問2)	14	39	84	28	17	1	183	3.01
設問3)	26	62	69	21	4	1	183	3.45
設問4)	86	62	27	5	2	1	183	4.21
設問5)	70	66	35	8	3	1	183	4.03
設問6)	120	49	13	0	0	1	183	4.56
設問7)	94	59	26	3	0	1	183	4.32
設問8)	102	63	16	1	0	1	183	4.44
設問9)	42	80	54	4	2	1	183	3.84
設問10)	64	79	35	4	0	1	183	4.09
設問11)	61	76	42	0	3	1	183	4.03

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

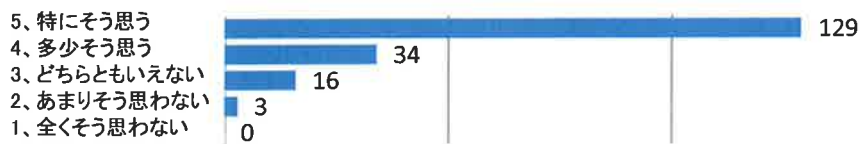
担当科目 食品健康・食品開発

アンケート回収数 183

人(枚)

学生の授業取り組みに関する質問

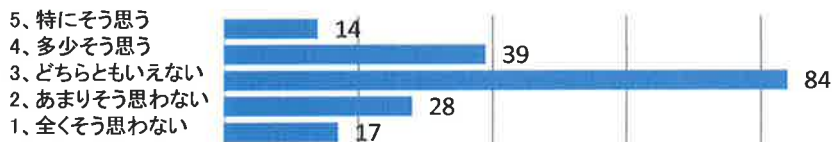
設問1) 私はこの授業によく出席した



回答数 183 人

平均値 4.56

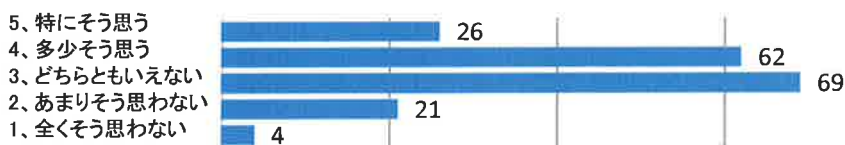
設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



回答数 183 人

平均値 3.01

設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)

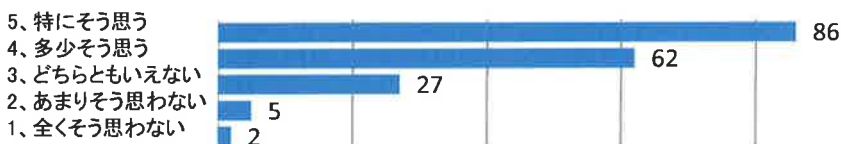


回答数 183 人

平均値 3.45

教員の授業実施方法に関する質問

設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



回答数 183 人

平均値 4.21

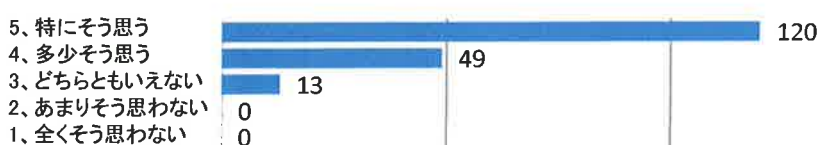
設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



回答数 183 人

平均値 4.03

設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



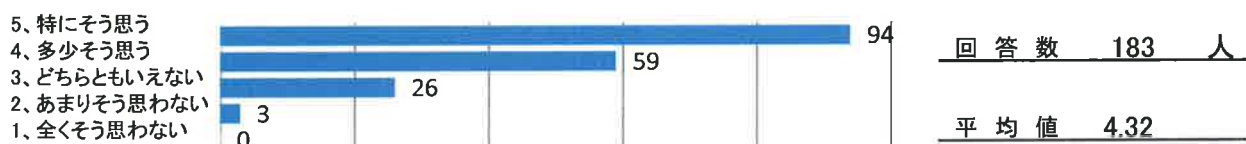
回答数 183 人

平均値 4.56

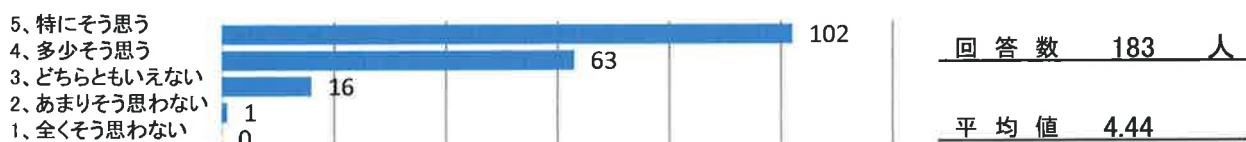
平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	食品健康・食品開発
アンケート回収数	183
	人(枚)

設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた

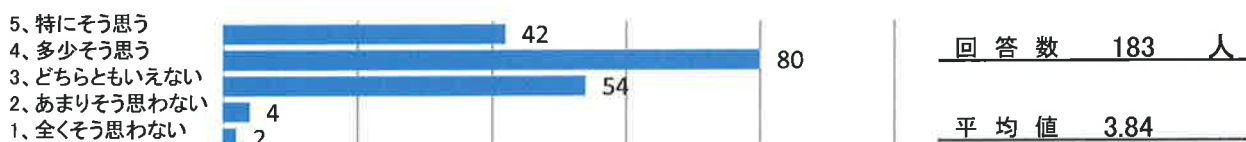


設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた

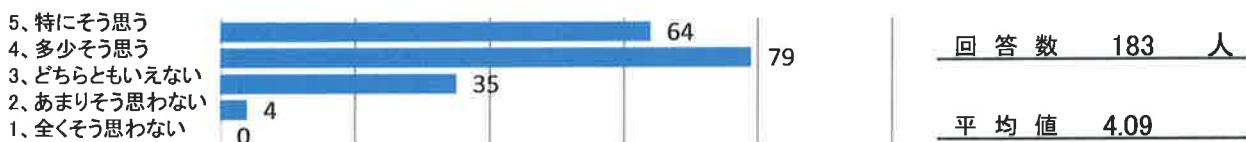


総合的評価

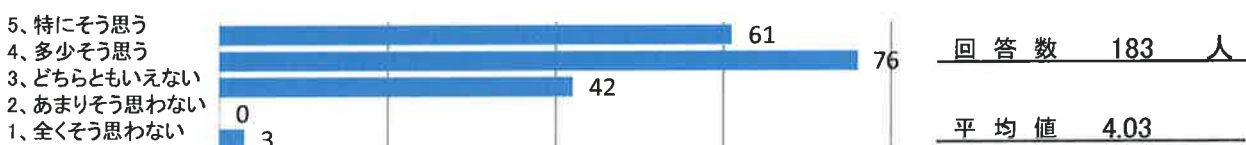
設問9) 私はこの授業内容を理解できた



設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた



平成26年度 授業評価アンケート集計結果

科目名

教養・教職

アンケート回収数(枚) 450 (人)

担当教員数 9 (人)

設問番号	回答欄					未回答	回答数 (人)	平均値
	5	4	3	2	1			
設問1)	330	74	36	5	4	1	450	4.60
設問2)	86	64	176	49	73	2	450	3.08
設問3)	112	117	156	39	21	5	450	3.54
設問4)	199	120	88	30	12	1	450	4.02
設問5)	173	117	109	36	12	3	450	3.88
設問6)	257	116	65	10	1	1	450	4.37
設問7)	200	132	92	18	7	1	450	4.10
設問8)	226	121	85	14	3	1	450	4.22
設問9)	146	156	121	18	8	1	450	3.91
設問10)	174	153	90	22	9	2	450	4.01
設問11)	162	151	114	17	5	1	450	3.99
英語 設問12)	10	3	1	0	1	10	25	2.64
英語 設問13)	9	5	1	0	0	10	25	2.72

平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	教養・教職
アンケート回収数	450
	人(枚)

学生の授業取り組みに関する質問

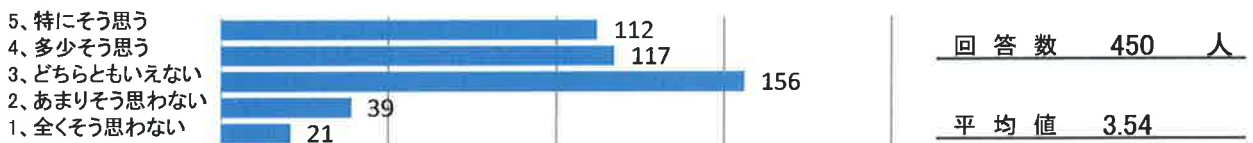
設問1) 私はこの授業によく出席した



設問2) 私は授業内容について質問や発言をした



設問3) 私はこの科目に積極的に取り組んだ(予習や復習をした)

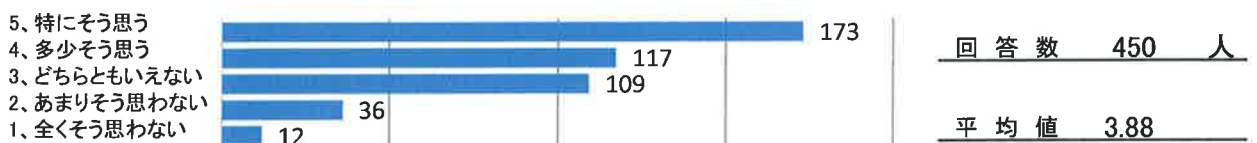


教員の授業実施方法に関する質問

設問4) 教員の声は聞き取りやすかった



設問5) 教員の板書(またはPPT・配付資料等)は読みやすかった(見やすかった)



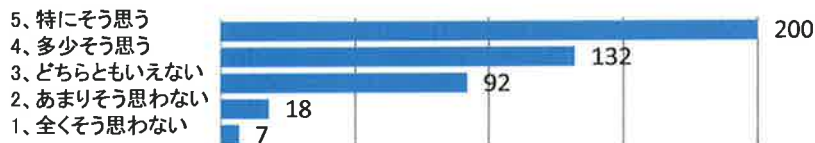
設問6) 教員は授業の開始・終了の時刻を守ろうとしていた



平成26年度 授業評価アンケート集計結果

担当科目	教養・教職
アンケート回収数	450
	人(枚)

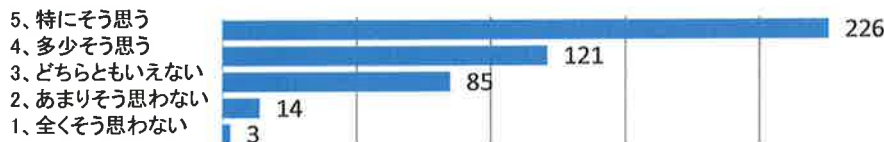
設問7) 教員は学生の反応を確かめながら授業を進めていた



回答数 450 人

平均値 4.10

設問8) 教員は熱意を持って授業をしていた



回答数 450 人

平均値 4.22

総合的評価

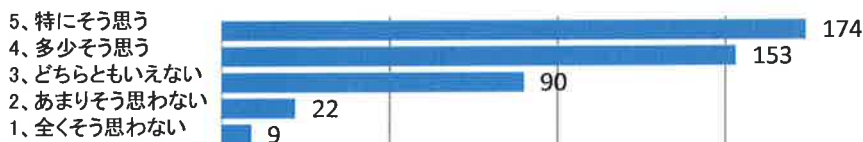
設問9) 私はこの授業内容を理解できた



回答数 450 人

平均値 3.91

設問10) 私はこの授業で学んだ内容はなんらかのかたちで将来役に立つと感じた



回答数 450 人

平均値 4.01

設問11) 私は総合的に判断してこの授業で満足が得られた

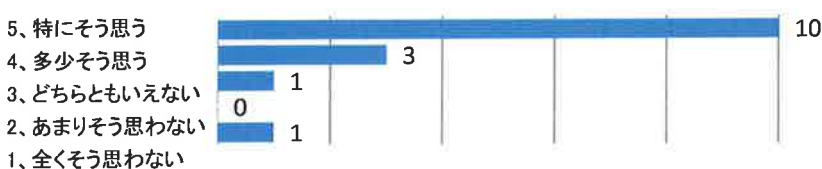


回答数 450 人

平均値 3.99

【英語コミュニケーション I のみ】

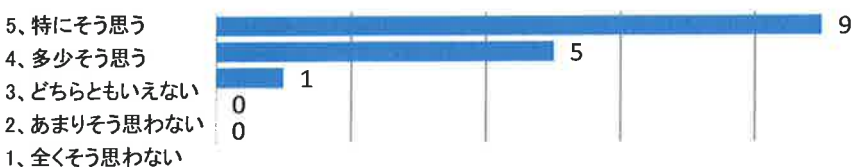
設問12) 授業から知的刺激を受けた



回答数 25 人

平均値 2.64

設問13) この授業を受けて、新しい物の見方や知識を獲得した実感がありますか？



回答数 25 人

平均値 2.72

5. 後期参観授業報告

平成26年度においても、教員の授業の教授法改善等を目的として、後期に参観授業を実施した。実施要領を以下に示す。

【後期参観授業実施要領】

<目的>

教員の授業の教授法改善等を目的として実施する。

<対象の授業>

別に「参観授業対象一覧」を示す。

<実施手順>

- ・実施期間内に対象授業の参観を実施する。
- ・参観者は教室内で対象授業の参観を行い、参観レポート(添付資料)を記入する。(当該レポートの様式は、後日メールにて配付する。参観を希望する教員は自身で印刷して参加する。(印刷されたものも後日配付予定の当該授業のチラシに添付する予定にしている))
- ・参観は業務等の関係もあるので教員への参加強制はしないが、できるだけ多くの教員に参加してもらう。
- ・参観レポートは参観授業対象の教員へ提出する。

(1) 環境園芸学科

参観授業として3授業開催した。参加者数は各授業 10 名と極めて少なかった。これまでの参観授業への参加者からは有意義な刺激を受けたとの印象が伝えられていたが、参加者が少なく貴重なFDの機会が活かされていない。参観の機会を促すため開催数を増やすことも考えられる。

表 平成 24 年度 環境園芸学科参観授業と参加者数

担当教員名	参観授業名	実施日時	参加人数
山口 健一	総 合 防 除 論	12 月 9 日 (火) 1 時間目	2 名
新谷 喜紀	自 然 環 境 実 習	12 月 11 日 (木) 1、2 時間目	3 名
永松 義博	造 形 デ ザ イン 演 習	12 月 12 日 (金) 1 時間目	5 名

(2) 管理栄養学科

(対象授業)

授業①:杉尾直子准教授 12月10日(水)午前・午後

宮崎-調理学実習室 食事計画論実習Ⅰ

授業②:朝見祐也准教授 1月27日(火)午前・午後

宮崎-給食経営管理論実習室 給食経営管理論実習Ⅰ

(参観者)

授業①:3名

授業②:3名

(課題)

- ・教授会・学科会議等での周知は出来ているが、さらに学科内での参加促進を図る必要があると考える。
- ・参観をする授業の時間について、多くの参加者が見込める時間設定、つまり5限等への時間の変更も必要になるかもしれない。

(3) 食品開発科学科

平成26年度においても、教員の授業の教授法改善等を目的として、後期に参観授業を実施した。

【対象の授業一覧】

対象教員所属	対象教員	対象授業	対象授業日時	対象授業教室
食品開発科学科	中瀬昌之先生	食品学Ⅱ	12月10日(木)3限	宮崎 C1311教室
	寺原典彦先生	食品機能学	12月11日(木)3限	宮崎 C3202教室
	なし			

- * 対象となった授業への参加は所属の学科・キャンパスを問わず参加できるものとした。
また事務職員、短大教員も参加可能として、広く公開した。
- * 授業評価アンケートで上位となった教員2名を参観対象とした。

(実施手順)

- ・実施期間内にて対象授業の参観を実施する。
- ・参観者は教室内で対象授業の参観を行い、参観レポート(添付資料)を記入する。(当該レポートの様式は、後日メールにて配布する。参観を希望する教員は自身で印刷して参観に参加する。(印刷されたものも、後日配布予定の当該事業のチラシに添付する予定にしている))
- ・参観は業務等の関係もあるので教員への参加強制はしないが、できるだけ多くの教員に参加

してもらおう。

- ・参観レポートは参観授業対象の先生へ提出する。

後期参観授業の結果の詳細については、本学のユニークな学科構成を考慮して、学科・センター別に以下に結果を示す。

【食品健康学科】

(1) 対象授業

3名の教員が担当する下記科目を授業参観対象科目として実施した。

日時	授業科目	担当教員	参観者	
12月10日(水) 3 講時	食品学Ⅱ	中瀬	0 名	
12月11日(木) 3 講時	食品機能学	寺原	0 名	

(2) 参観結果

上表の通り、参観者は対象 2 科目共に 0 名であった。学科内で参観授業の実施について何度か通知したにもかかわらず、参観者が得られない結果となった。他教員の授業を参観することへの教員の関心は依然として高まっていない。授業参観は、授業実施教員の改善につながる可能性のみではなく、参観者にとっても、自身の授業改善に対する意識を必要に応じて高めることにもつながると考えられているが、この結果に対しては、さらに熟慮する必要がある。今後は、参観義務化の必要性の有無を検討することも選択肢の一つと考えられるが、授業参観の必要性についても検討する必要があるだろう。さらに、校務の多忙化により、参加したくとも参加できなかったケースがあると思われるので、その点についても検討が必要であろう。

(4) 子ども教育学科

本学科では、2014 年 12 月 9 日(火)、下記のように2名の教員による参観授業が実施された。

- ① 1限目 黒川久美 教授「教職実践演習」 参観者2名
- ② 2限目 渋谷 透 教授「教育学概論・教育原理」 参観者2名

学生の興味・関心を引く内容構成の工夫がなされており、参考になるものであった。

(5) 教養・教職センター

課題

参加者が少ないことが前大学の課題でもある。管理栄養学科報告に書いてあるように「参加促進を図る必要があると考える」。アンケート評価結果を元にして参観授業を提供する教員を来めるか議論があったが、高い評価の先生にするか低い評価の先生にするかさまざまな意見があった。授業評価アンケート結果と改善書内容を踏まえてテーマと目的を設定することを検討したい。大学か学科レベルで一番低い結果の「質問や発言をした」に組むなら、その結果が高い先生に参観授業をお願いすることも考えられる。時間の設置に課題があれば、参加しやすい時間に模擬授業を提供することも検討したい。

大学は本来、教育を行う「学者の共同対」(Community of Scholars)[3]なので、特別な参観授業のイベントがなくても、普段お互いの講義の参加できるコミュニティーを目指すのが理想的である。普段の授業参加は支え合いと情報共有の促進になれば自然と教育と研究の両方の向上に繋る。

参観授業対象一覧

月日・曜日	時 限	参観授業対象の授業	教室・会場	学科	教員
12/9(火)	1講時	総合防除論	都城・1号館 1205講義室	環境園芸学科	山口健一先生
	3講時	教職実践演習	都城・本館4F・小児保健実習室	子ども教育学科	黒川久美先生
	4講時	教育学概論・教育原理	都城・2号館 2102講義室	〃	澁澤 透先生
12/10(水)	午前・午後	食事計画論実習Ⅰ	宮崎・本館1階 調理実習室	管理栄養学科	杉尾直子先生
	3講時	英語コミュニケーションⅡ	都城・1号館 1101講義室	教養・教職センター	スモール、ブライアン先生
	3講時	食品学Ⅱ	宮崎・本館4階 1411講義室	食品開発科学科	中瀬昌之先生
12/11(木)	1・2講時	自然環境実習	都城・2号館 2102講義室	環境園芸学科	新谷喜紀先生
	3講時	英会話Ⅰ	宮崎・アリーナ2階 3204講義室	教養・教職センター	スモール、ブライアン先生
	3講時	食品機能学	宮崎・アリーナ2階 3202講義室	食品開発科学科	寺原典彦先生
12/12(金)	1講時	造形デザイン演習	都城・1号館 1101講義室	環境園芸学科	永松義博先生
1/27(火)	午前・午後	給食経営管理論実習Ⅰ	宮崎・本館1階 給食経営管理論実習室	管理栄養学科	朝見祐也先生
					合計

(参加に関して)

1. 参観をされる際は「参観レポート」(メール添付)をご持参の上でご参加ください。
2. 記入された参観レポートは、授業をされた先生へ提出してください。
3. 大学の先生のほか、短大の先生、職員の皆様もぜひご参加ください。

平成 2 6 年度後期参観授業
参観レポート

授業を参観して参考になった点等をお書きください

対象教員に対して何かご意見がありましたらお書きください

6. FD講演会報告

FD推進委員会では、平成22年度から教員のFD活動に対する理解及びFD活動の推進のため、FD講演会を実施している。平成26年度においても開催し、多数の教職員が参加した。

以下に講演会の概要と開催結果を記した。

記

1. 開催概要

日時:平成26年11月25日(火)15:00～17:30)

講演会のスケジュール

15:00～15:01(1分)	開会宣言
15:02～15:05(3分)	配付物の確認
15:05～15:08(3分)	開会あいさつ
15:08～15:10(2分)	講演者紹介
15:10～15:40(30分)	講演①
15:40～15:50(10分)	質疑応答
15:50～16:00(10分)	休憩
16:00～16:05(5分)	講演者紹介
16:05～17:05(60分)	講演②
17:05～17:25(20分)	質疑応答
17:25～17:28(3分)	講演者への御礼の挨拶
17:28～17:29(1分)	閉会宣言
17:30	終了

場所:都城キャンパス及び宮崎キャンパスの2会場でTV会議にて

講演者:

講演① 南九州大学学生相談室・臨床心理士の木下 馨子氏
演題「南九州大学における発達障害を持つ学生支援の現状について」

講演② 山口大学 大学教育センター副センター長・教授の小川 勤氏
演題「発達障害のある学生への合理的配慮について」

2. アンケート集計結果について

本日は、お忙しい中本講演会にご出席いただき誠にありがとうございます。今回の講演に関しまして、アンケートにご協力をよろしくお願いいたします。

<質問①>

本講演を聴講し、満足しましたか？（該当する番号に○をお書きください）

（ ①満足している ②どちらでもない ③満足していない ）

35 0 1 ※回答なし→1名

<質問②>

本講演の内容は、理解できましたか？（該当する番号に○をお書きください）

（ ①理解できた ②どちらでもない ③理解できなかった ）

34 2 0 ※回答なし→1名

<質問③>

本講演のような、FD 活動に関する講演は、今後も必要だと思いますか？（該当する番号に○をお書きください）

（ ①必要である ②どちらでもない ③必要ではない ）

35 0 0 ※回答なし→2名

<質問④>

今回のようなFD 講演会を今後も開催するとすれば、どのような時期でどのような内容を期待されますか？

時期

- ・いつでも随時行って欲しいです。
- ・授業がない長期休み中が良いです。
- ・授業の少ない時期(9月や2・3月)
- ・この時期で良いです。
- ・秋の教授会の日の前に
- ・2月新入生が入る前もしくは入った後、忙しくない時
- ・この時期で良い。
- ・先生方の無理のない時期で
- ・今回と同じで良い。
- ・7月～8月
- ・年度はじめの頃が良い。
- ・9月(授業がない頃)
- ・9月後半くらいがいいのだが、講師の都合で他の時でも良い。
- ・以前のように夏休み(9月)の方が時間的に余裕が持てるので、その時期に開催をお願いしたい。
- ・学生の休業期間(夏休み等)を希望します。
- ・入試に関する試験日や合格発表日前3日間を避けた10月～11月
- ・年末の12月くらいが良いのではないかな？
- ・12月ごろ

- ・この時期で良い。
- ・いつもと一緒に

内容

- ・今回のような発達障害のある学生への対応についてもっと聞きたいです。
- ・今後も発達障害に関する内容が良いと思います。
- ・同じ内容(発達障害について)
- ・学生支援
- ・継続、当事者の声を聞いて深めることも大切であろう。
- ・現場で活用できるものを是非
 - ① 大橋敏子博士・外国人留学生のメンタルヘルスと危機介入
 - ② 大学でのICT活用(授業、キャリア支援、etc・・・ オンライン学修システム)
- ・留学生の受入れ方について
- ・学生のボランティア活動の在り方、その有効性について
- ・過去の事例について、具体的なケーススタディを行いたい。(学生への対応の仕方について)
- ・今回みたいな良い講演会なら良いです。
- ・前回、今回のFD講演会で障がいの支援については、国・大学としての方向性が明らかになったと思うので、大学としてどう取り組むか検討すべき段階だと思うので、ぜひ障害支援については、とりあえず一旦終えてはどうか？
- ・次回は、文科省認定評価で問題となった点を考える場としてはどうでしょうか？
- ・学習意欲のない学生にどう対応すれば良いかについて
- ・就学困難な学生についての講演会
- ・e-ポートフォリオの実例
- ・IRの構築・運用について
- ・発達障害関係
- ・発達障害、身体障害などについても理解を深めたいので、発達障害以外の講演も聞きたいです。
- ・授業の教授法

<質問⑤>

その他、何かご意見・感想がありましたら、お書きください。

- ・質疑応答の時間をもう少し増やした方がよいと思いました。
- ・学生への対応で、考える(悩む)ことがあったので、良い勉強になりました。
- ・組織としても必要な内容だった。
- ・欠席者がいないような配慮が必要だと思う。
- ・FD推進委員の皆様、職員の皆様、ありがとうございました。
- ・もっとゆっくり話して欲しいが・・・
- ・全員の教員に聞いて欲しい(連休明けで休みの先生や授業で出席されない先生が多い)。宮崎県は障がいと書きますが、障害と書いていることにとまどいを感じます。
- ・今回の講演をきっかけに少しずつ勉強したいと思いました。今後活かしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・非常に勉強になりました。大変、ありがとうございました。

7. 新入生魅力度調査・卒業生満足度調査報告

【平成26年度新入生魅力度調査及び卒業生満足度調査の実施要領】

<目的>

本調査は、魅力ある大学づくりのための情報を収集するために実施されている。新入生対象の調査では、本学のどのような点に魅力を感じてくるのか、また、卒業生対象の調査では、本学のどのような点に満足を感じ(あるいは不満を感じ)卒業して行くかをアンケートにより調査する。本アンケートの結果は、各学科における教育活動及び研究活動のみならず広報活動にも利用でき、また学園の運営の方向性をしめすための参考にもなる。

<実施時期>

- ① 新入生魅力度調査： 7月中旬に
- ② 卒業生満足度調査：11月中旬に

※アンケート配布・回収は各学科のFD推進委員を中心にして担当する。

<集計作業>

- ① 集計は外部に委託する。
- ② 授業評価アンケート同様学科別の集計結果を出す。学科会議等で結果を分析し、結果から見える課題を抽出し、課題の改善策を検討する。
- ③ 4年後には魅力度と満足度のギャップを集計し、上記同様に学科単位で問題点抽出と課題解決策を検討する。

<各学科のアンケート様式>

別に示す。

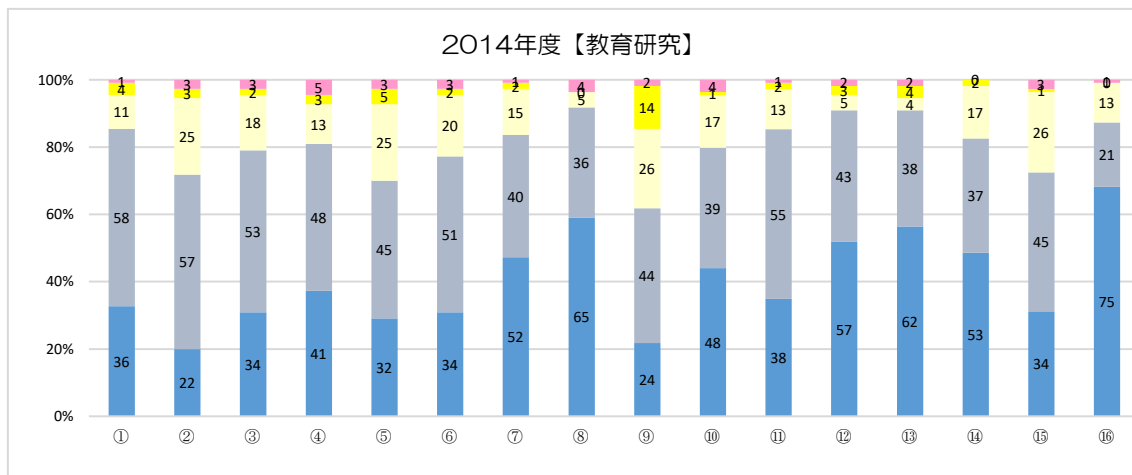
(1) 環境園芸学科の新入生魅力度調査

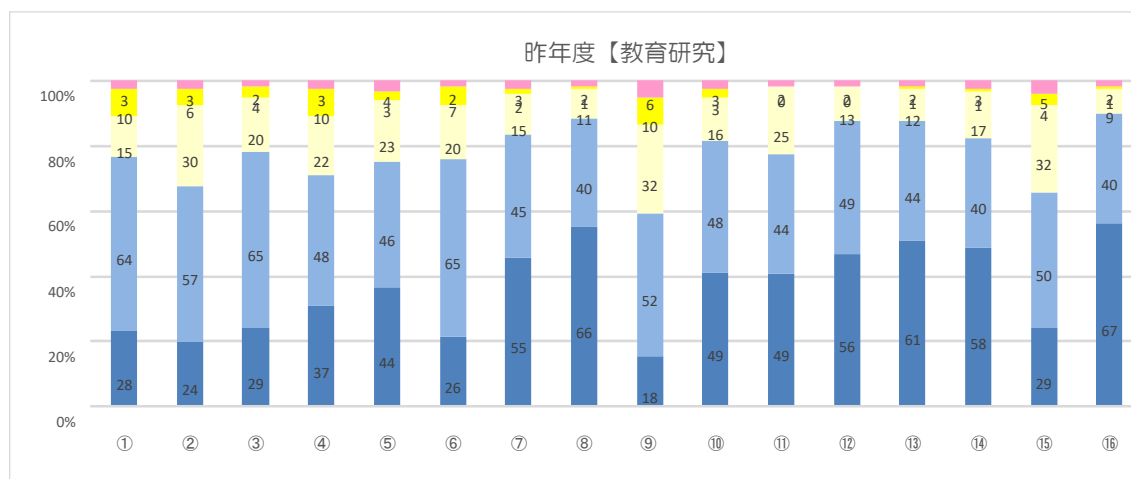
110 人から回答が得られた。

※設問によっては全員が回答しておらず、データから除外したため、設問の回答数の合計が 110 にならない場合がある。

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人」に関する基礎的、応用的研究をすすめる、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力を持った教員による教育を受けることができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥ あなたは環境園芸学科が、「環境」を基礎に置きつつ、「緑、食、人」をキーワードとして教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦ あなたは環境園芸学科が、附属の実験施設やフィールドセンター等を活用した実学教育と少人数教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧ あなたは環境園芸学科が、6つの専攻（園芸生産環境、植物バイオ・育種、花・ガーデニング、造園緑地、自然環境、アグリビジネス）を設けていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑨ あなたは環境園芸学科が、1年次に人間性と社会性豊かな教養を身につけるための「教養教育科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑩ あなたは環境園芸学科が、1年次に農学の分野の専門職業人として必要とされる基礎的な知識と技術を身につけるための「専門基礎科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑪ あなたは環境園芸学科が、専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために「専門教育科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑫ あなたは環境園芸学科が、幅広い知識を身につけるために、自分が目指す専門分野を超えて関心のある科目を履修できるように「専門選択科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑬ あなたは環境園芸学科が、講義に加えて、演習や実験、実習の専門授業を数多く設置していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑭ あなたは環境園芸学科が、3年次後期に全員の研究室配属を行い、身につけた知識や技術を駆使して、新たな問題の探求能力や解決能力を養成するカリキュラムを取っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑮ あなたは環境園芸学科が、4年次で卒業論文を学科の必須として、専門性を高めることとしていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑯ あなたは環境園芸学科が、教員免許、学芸員免許、樹木医補、測量士補などの資格や免許の取得に対応した「専門選択科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。

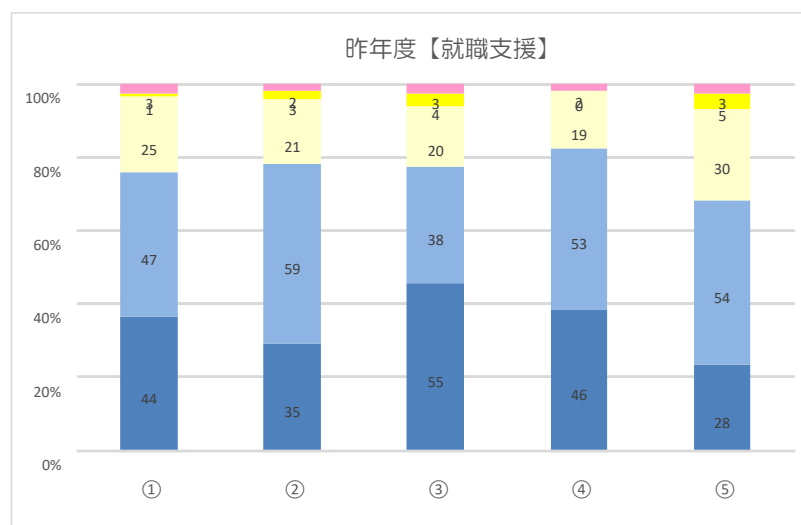
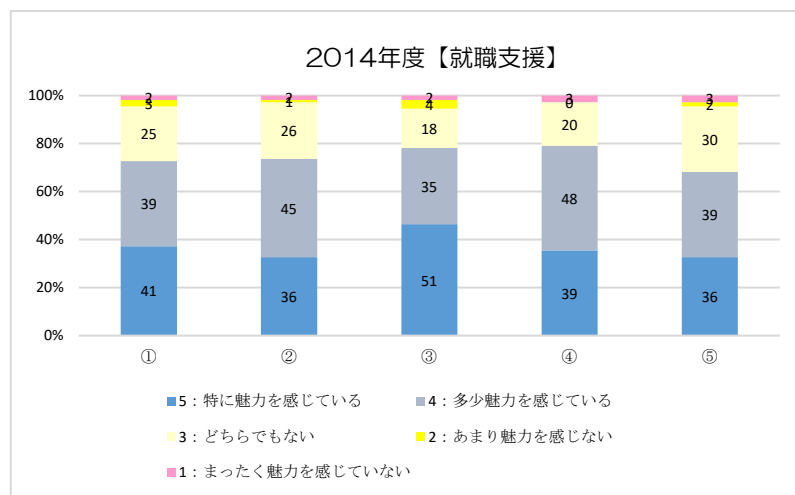




- 昨年度と全く同じ傾向である。
- 全体的にみると全ての設問で新入生のほぼ6割以上が魅力を感じていると答えており、本学並びに環境園芸学科の教育研究理念やカリキュラムに受験生に対する一定の訴求力があり、新入生はそれに期待しているものと思われる。
- 昨年度、一昨年度と同じく、全設問の中で設問⑨(教養教育科目の設置)が最も魅力度が低い。フレッシュマンアワーや環境園芸概論など通し、入学後早い段階で新入生全員に教養教育科目の重要性・位置づけを理解させることも必要であると考えられる。

【就職支援に対する質問】

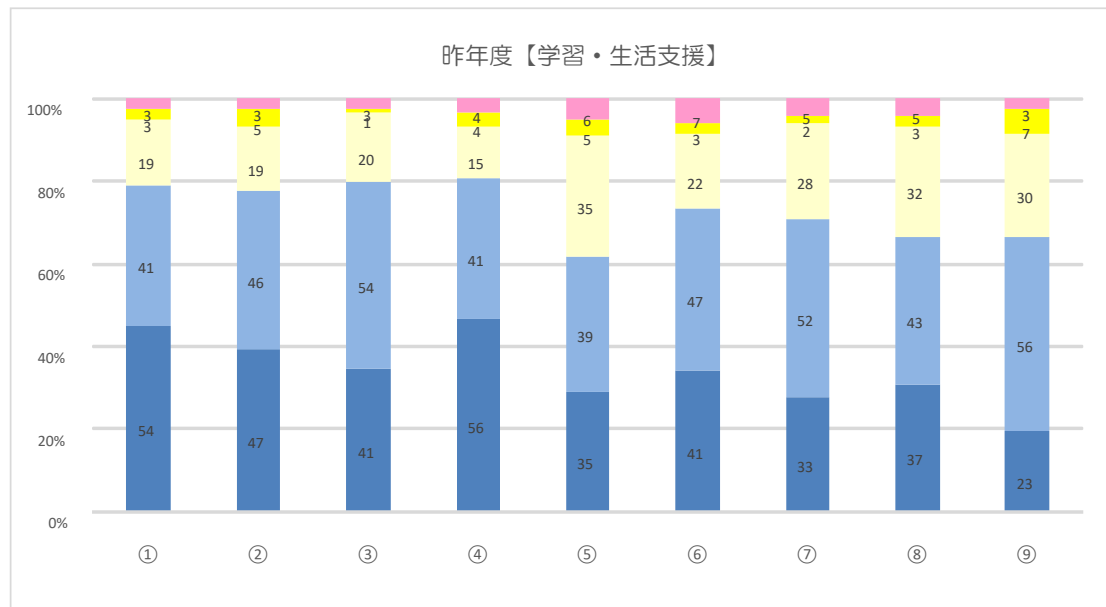
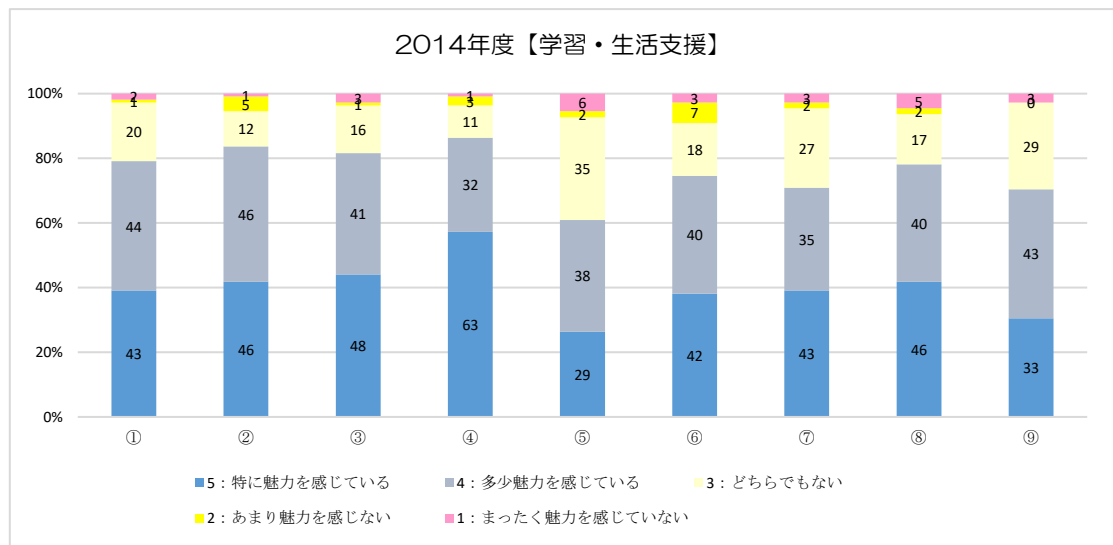
- ① あなたは南九州大学の「就職課」があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。



- ・昨年度と全く同傾向である。
- ・就職支援について新入生の6割以上が魅力を感じていると答えているが、現時点で具体的に就職活動は行っていないと考えられる。同じ年代の学生に対する調査ではないが卒業生満足度調査では、就職支援の不足傾向が結果として現れていることから、具体的にどのような支援が必要であるか調査・分析が必要であると思われる。

【学習・生活支援に対する質問】

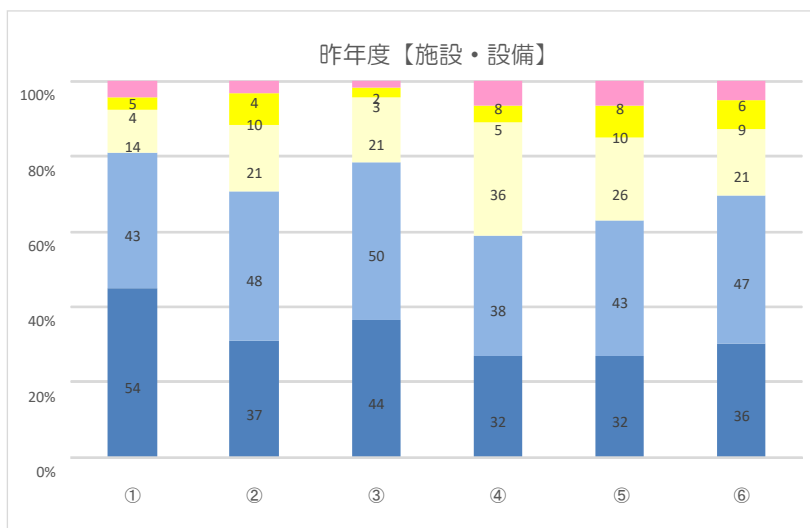
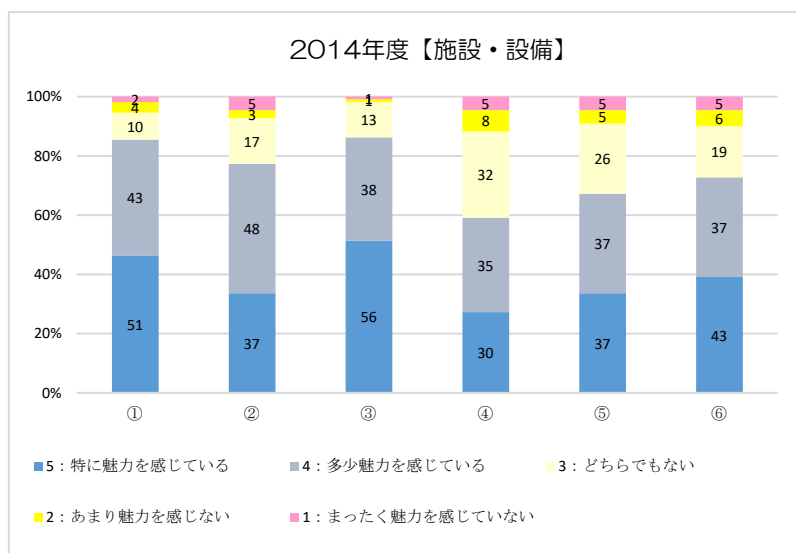
- ① あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり、当該課の専門スタッフが学習支援(各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等)をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関するの悩み相談をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動(部活動、学友会、学祭実行委員会等)が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事(大学祭等)が行われている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。



- ・全設問で6割以上が魅力を感じており、学習・生活支援に対する期待感が伺えられる。
- ・昨年度同様、設問⑤「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」が最もポイントが低かった。都城キャンパスに寮がないことがその原因の一つかもしれない。

【施設・設備に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）」が整備されている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内LANの充実、情報処理室の充実等）」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車場・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。



- ・昨年度と全く同傾向である。
- ・キャンパスの施設・設備についても概ね好印象を頂いていると思われる。

【全体を通して】

- ・全体として昨年度と結果はよく似ていた。大きな変化がない限り、この傾向は変わらないのかもしれない。
- ・調査した各設問に対して、あまりあるいは全く魅力を感じないとの回答は2割未満であり、本学並びに本学科の教育研究、就職支援、学習・生活支援および施設・設備は新入生の多くに魅力あるものになっていることが示された。この高い魅力度を高い満足度に維持・向上に繋げる取り組みが重要であると思われる。また、新入生(高校生)のニーズは変化するものと考えられることから、今後、時代に即した対応も必要であると考えられる。

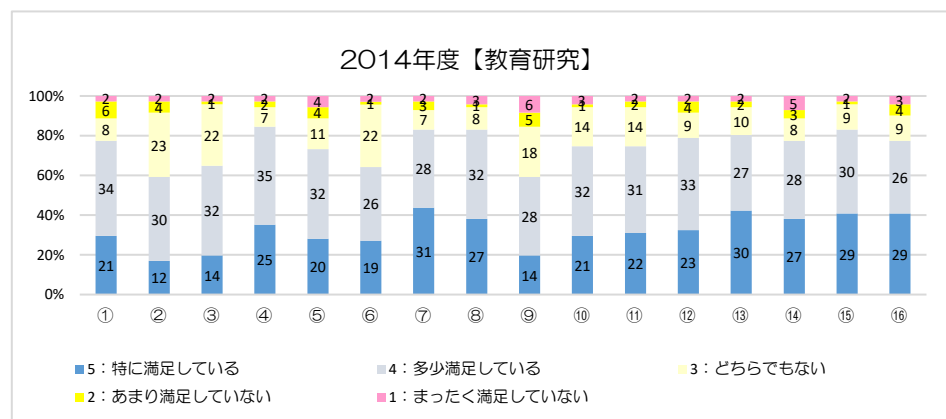
(2) 環境園芸学科の卒業生満足度調査

71人からの回答が得られ、設問の種別ごとにまとめた。

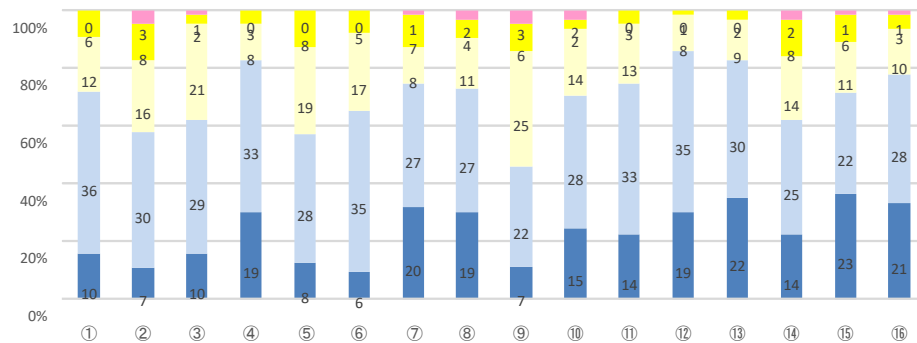
※設問によっては全員が回答しておらず、データから除外したため、設問の回答数の合計が71にならない場合がある。

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつA5B6つなど、高い能力を持った教員による教育を受けることができる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥ あなたは環境園芸学科が、「環境」を基礎に置きつつ、「緑、食、人」をキーワードとして教育を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑦ あなたは環境園芸学科が、附属の実験施設やフィールドセンター等を活用した実学教育と少人数教育を行っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑧ あなたは環境園芸学科が、6つの専攻(園芸生産環境、植物バイオ・育種、花・ガーデニング、造園緑地、自然環境、アグリビジネス)を設けていることにどの程度満足しましたか。
- ⑨ あなたは環境園芸学科が、1年次に人間性と社会性豊かな教養を身につけるための「教養教育科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑩ あなたは環境園芸学科が、1年次に農学の分野の専門職業人として必要とされる基礎的な知識と技術を身につけるための「専門基礎科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑪ あなたは環境園芸学科が、専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために「専門教育科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑫ あなたは環境園芸学科が、幅広い知識を身につけるために、自分が目指す専門分野を超えて関心のある科目を履修できるように「専門選択科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑬ あなたは環境園芸学科が、講義に加えて、演習や実験、実習の専門授業を数多く設置していることにどの程度満足しましたか。
- ⑭ あなたは環境園芸学科が、3年次後期に全員の研究室配属を行い、身につけた知識や技術を駆使して、新たな問題の探求能力や解決能力を養成するカリキュラムを取っていることにどの程度満足しましたか。
- ⑮ あなたは環境園芸学科が、4年次で卒業論文を学科の必須として、専門性を高めることとしていることにどの程度満足しましたか。
- ⑯ あなたは環境園芸学科が、教員免許、学芸員免許、樹木医補、測量士補などの資格や免許の取得に対応した「専門選択科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。



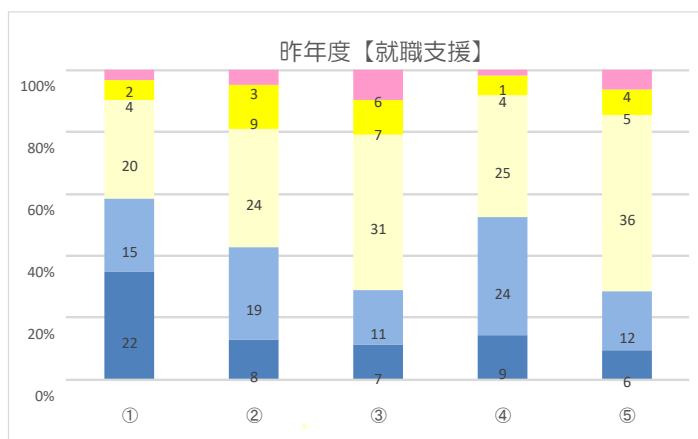
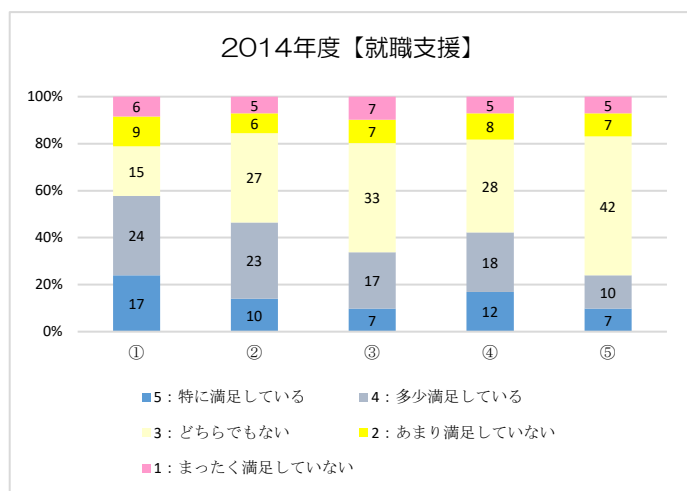
昨年度【教育研究】



- ・ 頻度分布グラフを見ると、昨年度と比べてほとんど同じ結果であることがわかる。
- ・ 16の設問のうち満足(4以上)と答えた学生が60%程度の設問が4つあるが、いずれの設問においても満足していないと回答した学生は20%以下である。
- ・ 昨年同様、満足と回答した学生の割合が最も低いのは、『教養教育科目の設置』についての設問⑨である。これに対し、設問⑫『自分が目指す専門分野を超えて関心のある科目を履修できるように「専門選択科目」を設置』、設問⑬『講義に加えて、演習や実験、実習の専門授業を数多く設置』、については80%前後の学生が満足していると回答している。これらの結果から、本学科の学生は教養教育科目よりも専門科目に高い関心を持っていることが示唆される。特に設問⑭の『研究室』や設問⑮の『卒論』については、昨年度よりも高い満足度が得られているように見え、この傾向が強くなっていく可能性もある。今後、学生への教養科目の重要性の理解や教養科目の在り方、教養と専門のバランス(専門の特化も含め)などについて検討が課題として考えられる。

【就職支援に対する質問】

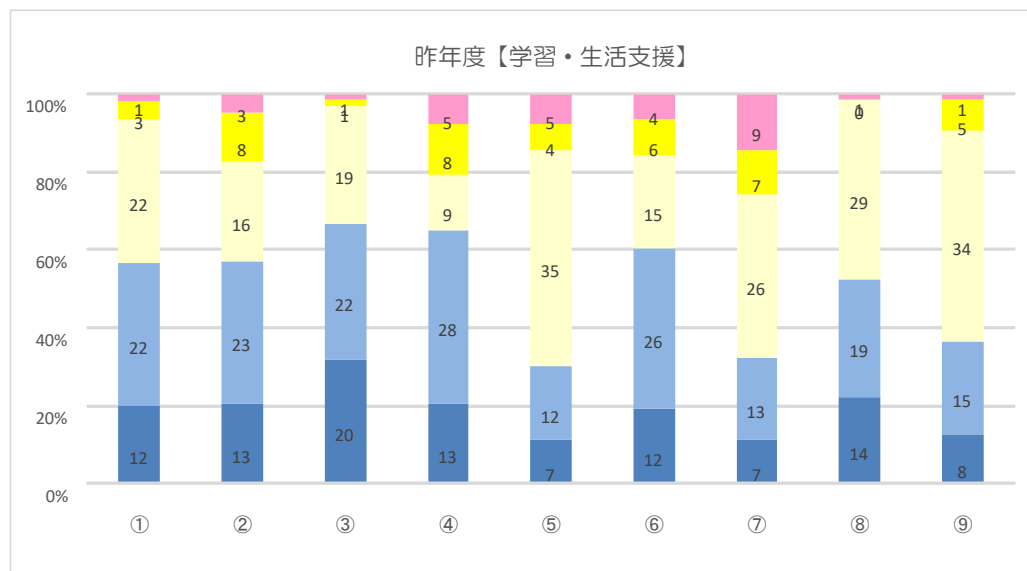
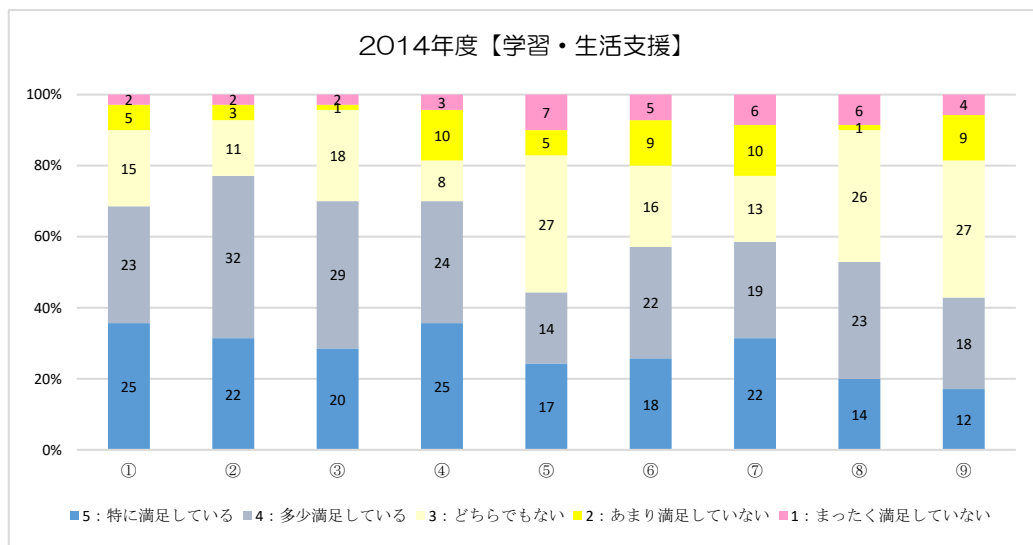
- ① あなたは南九州大学の「就職課」があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度満足しましたか。



- ・昨年と同傾向の回答であった。
- ・就職課の就職活動支援(設問①)については半数以上が満足しているが、設問②～⑤については十分な満足が得られていない。
- ・設問②『就職のための講座』および設問⑤『インターンシップ制度』については就職課および学科として充実を図っており、今後その内容・取組みについての学生への周知が必要であると考えられる。
- ・設問③『地元へのUターン就職』については、本学科は全国から学生が集まっていること、現在未だに就職氷河期で地方都市での求人が少ないこと、本学科学生の就職活動開始が遅いことなどが要因として考えられる。いずれにしても早期の地元にどのような就職先(企業・役場・団体など)があり、それらの求人や採用試験の情報収集と対応が重要であることを就職課と連携を取り学生に指導していく必要があると考えられる。

【学習・生活支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「学生支援課」があり、当該課の専門スタッフが学習支援(各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等)をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「保健室・学生相談室」があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関する悩み相談をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「生協売店・生協食堂」があり、学生生活の支援充実をはかってくれている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動(部活動、学友会、学祭実行委員会等)が充実していて楽しい思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。
- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事(大学祭等)が行われている」点にどの程度満足しましたか。
- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度満足しましたか。
- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

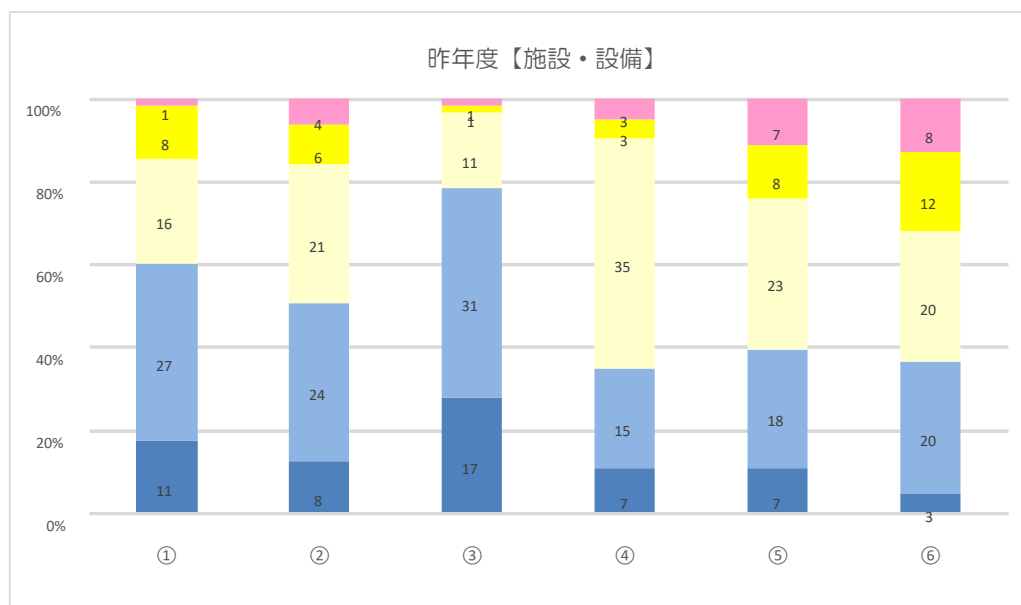
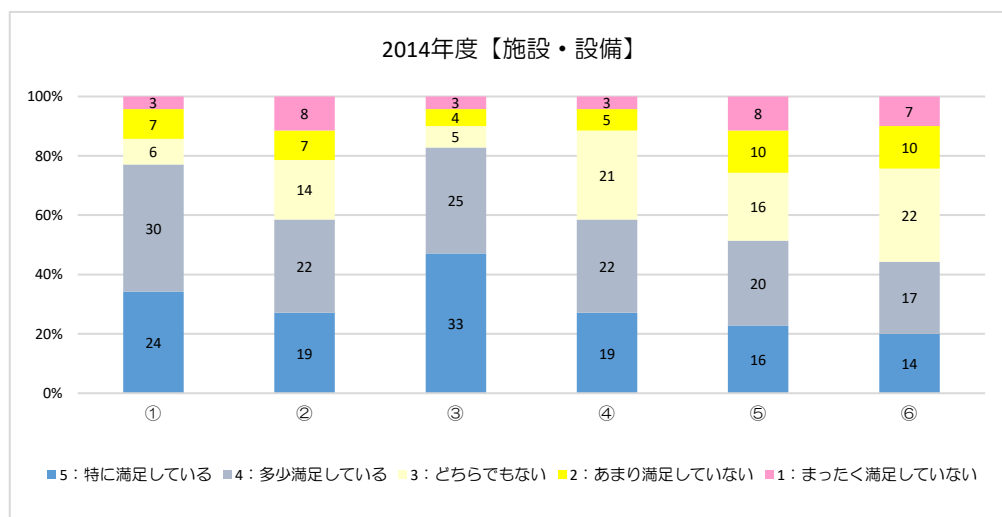


- ・設問②、⑤、⑦で満足度を得ている学生が減少傾向にある。
- ・設問②『学習施設』については、学生の学力低下で、そもそも関心が少なくなっている可能性がある。

- ・設問⑤『下宿生を対象にした住居の斡旋』、設問⑦『有意義な学校行事』については全学的な問題として対応する必要がある。
- ・設問⑨『担任制度』については、本学科では3年前期までは学年ごとに4人の教員が、3年後期の研究室配属後はその研究室の教員が担任として指導に当たっているが、研究室配属後の教員を担任として考えて回答していない可能性があり、設問を修正することにより、満足度が上がる可能性がある。

【施設・設備に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度満足しましたか。
- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内LANの充実、情報処理室の充実等）」点にどの程度満足しましたか。
- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。
- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車場・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度満足しましたか。
- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度満足しましたか。
- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中に過ごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度満足しましたか。



- ・ 設問①の『研究・実習用の設備・環境』で顕著な満足度の増加が、設問④の『交通の便』で現象が見られた。
- ・ 設問⑤『運動施設、サークル活動の支援施設』、設問⑥『憩いの場』についても満足度が低く、共に全学的な問題として対応を検討する必要がある。

(3) 管理栄養学科の新入生魅力度調査報告

【教育研究に対する質問】

- ・ 質問①から⑤までが「南九州大学」の教育研究の理念等に対する魅力度調査であり、質問⑥から⑮までが「管理栄養学科」の教育研究に対する魅力度調査であった。
- ・ 質問③から⑤の設問内容に対して、平均値が 3.9～4.0 となっていることから、南九州大学で学べる専門性あるいは最先端の研究に対して魅力を感じ期待を持って入学してきていることが分かった。
- ・ 管理栄養学科における教育研究に対する設問に対して、質問⑥以外はすべて平均値が 4.0 以上となっていることから、管理栄養学科に対する質問の方が魅力度の高い傾向であることが分かった。
- ・ 特に、質問⑧、⑩および⑭の「免許取得」や学科特有の科目に対して魅力を強く感じていることが分かった。
- ・ 質問②の大学の校風に関しての質問については、「どちらでもない」が他の質問に比較して多く、まだ入学して間もない為、低い数値となったことが予想される。

【就職支援に対する質問】

- ・ 就職支援に対する魅力度については、全ての設問に対して平均値が 4.0 以上となっていることから、就職支援に対する南九州大学の体制が整っていることがうかがえる。
- ・ 質問③の質問で「Uターン就職」に関する質問があるが、管理栄養学科は宮崎県内出身者の多い学科であることから、「宮崎県内の地元就職に対する魅力度」について質問を設けてもいいかもしれない。

【学習・生活支援に対する質問】

- ・ 質問⑤、⑦、⑨以外で平均値が 4.0 以上となっていることから、南九州大学における学習・生活支援に対する体制やサポートに魅力を感じて入学してきていると考えられる。
- ・ 質問①の学生支援に関しての質問には魅力度が高く、同時に④の生協売店および生協食堂による生活支援に関しては魅力度が高い傾向にあり、学内での生活することに対して魅力があることが分かった。
- ・ 質問③の保健室・学生相談室があり、専門スタッフが常置しているところに魅力を感じていることが分かった。
- ・ 地元宮崎県出身の多い(特に宮崎市周辺から)管理栄養学科の新入生にとっては、質問⑤の下宿斡旋に関しては、魅力が低かった。

【施設・設備に対する質問】

- ・ 質問内容にもよるが、施設・設備に対する質問に関しては、全体的に魅力を感じて入学してきている傾向があった。
- ・ 管理栄養学科が設置されている宮崎キャンパスは開設 10 年と比較的新しいキャンパスであること

から、質問①と③の質問で魅力度が高いことが分かった。

質問④では通学に関して、地元宮崎県出身の多い管理栄養学科の新入生にとっては、駅と本学を結ぶスクールバスや車で通うための駐車場が完備しているところに魅力を感じていることが分かった。

(4) 管理栄養学科の卒業生満足度調査報告

【教育研究に対する質問】

- ・ 質問⑤を除いてすべての質問で平均値が 3.5 以上であった。その中で、質問⑩と質問⑪で平均値を 4.0 以上となっていることから、臨地・校外実習、の現場経験豊富な教授陣の教育に対して満足度が高かったことが分かった。
- ・ 本年度の「国試対策」に対する満足度の質問⑭では 60%以上が満足していることからおおむね良い結果であると考ええる。しかしながら今後この数値をさらに上げていくために更なる努力をしていく必要がある。この質問に対する平均値は学年によって差が出るのではないかとと思われる。
- ・ 「人間性を育てる」等の質問である②・③・⑥、「研究」等の質問である⑤の満足度よりも「技術を身につける」等の質問である④や⑩で平均値が高い理由として学生たちは人間教育・研究よりも技術習得に力を入れたいと考えており、満足度が上がっているのではないかと考えられる。

【就職支援に対する質問】

- ・ すべての質問項目において「多少満足している」と「どちらでもない」が高く、就職支援に対して満足度が低いことが分かった。管理栄養学科の場合は多学科と就職活動の進め方が異なることから、このような結果になったと思われる。
- ・ 質問③はかなり満足度が低かったが、宮崎県内出身者が多いことが原因で大きな問題ではないと思われる。管理栄養学科では地元出身の学生が多いことから、今後は質問内容についても検討が必要と思われる。
- ・ 特に質問⑤で「どちらでもない」が半数以上を占めているのは、本学科ではインターンシップ制度を殆ど利用していないことから、このような結果となったと思われ、この質問に関しても今後は質問内容について検討が必要と思われる。

【学習・生活支援に対する質問】

- ・ 多くの質問で「特に満足している」と「多少満足している」を合わせて 50%を下回っており、学習・生活支援に対して満足度が低いことが分かった。
- ・ その中で質問④の生協売店・生協食堂の学生生活の支援に対して、平均値が 4.16 であったことから、学生にとって満足度の高いものであることが分かった。
- ・ 特に平均値が低かったのは質問⑦で、有意義な大学生活を送るためにさらに学校行事を考えていく必要があると考えられる。

【施設・設備に対する質問】

- ・ 質問⑤で最も満足度が低かったが、クラブ活動等を行う学生が一部学生しかいないことから満足度が低くなったものと考えられる。
- ・ 開設 10 年を超えた宮崎キャンパスにとっては、まだ施設が新しく清潔感のあることから質問③の満足度は平均値が4.34と高かった。しかしながら、施設・設備は劣化等が避けられないものであり、今後この数値を維持していくためには施設・設備が老朽化してきた際の対策を、しっかり立てていく必要がある。
- ・

(5) 食品開発科学科の新入生魅力度調査・満足度調査報告

平成 24 年度からの新規事業として「新入生魅力度調査・卒業生満足度調査」を実施した。

以下に管理栄養学科以外の学科の設問を示す(魅力度調査の設問を示す。満足度調査の場合は「魅力を感じていますか」が「満足しましたか」になる。なお、食品開発科学科の満足度調査では学科名が「食品健康学科」となる。)

[教育研究に対する質問]

- ①あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度魅力を感じていますか。
- ②あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめる、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力を持った教員による教育を受けることができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥あなたは食品開発科学科が、食品製造者と消費者の両方の視点、および食に関する科学的知識と倫理を身につけた食品のスペシャリストを養成するための教育・研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦あなたは食品開発科学科が、食品の開発・製造(美味しくつくること)に携わる専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧あなたは食品開発科学科が、食品の適正利用(正しく食べること)の専門家を育成する目的で教育・研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑨あなたは食品開発科学科が、食品の衛生(安全を守る)・機能性(体調調節)野専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

- ⑩あなたは食品開発科学科が、講義に加えて、実験・実習・学外インターンシップなどの授業を多く設置し、実践的な能力を身につけるための教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑪あなたは食品開発科学科において、フードサイエンスの基礎科目から食品の衛生・機能性に関する基幹科目、食品の開発・製造および食品の適正利用に関する実学科目にいたるまで体系的に組まれたカリキュラムにしたがって履修できることに、どの程度魅力を感じていますか。
- ⑫あなたは食品開発科学科において、1～3年時に学んだ食品開発および食品利用のあり方を集約して、4年時に卒業論文、専攻演習に取り組むことができることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑬あなたは食品開発科学科において、食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格を取得できることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑭あなたは食品開発科学科が、高等学校教諭1種(農業・理科)、中学校教諭1種(理)の資格を取得できることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑮あなたは食品開発科学科が、フードスペシャリスト、健康食品管理士を始め、ほかの食品関連資格を取得できることにどの程度魅力を感じていますか。

【教育研究に対する設問】		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
5	特に魅力を感じている	4	1	10	6	12	9	11	9	13	10	5	4	12	10	15
4	多少魅力を感じている	13	12	8	9	5	10	9	10	5	8	12	11	7	5	5
3	どちらでもない	2	6	2	3	2	1	0	1	2	1	3	4	0	3	0
2	あまり魅力を感じない	1	1	0	2	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0
1	まったく魅力を感じていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
	未回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

設問⑦「食品の開発・製造(美味しくつくること)に携わる専門家を育成するための教育・研究」については全員が魅力を感じているという結果が得られ、学科の方向性が適切であったと言える。

設問⑬「食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格」、設問⑮「フードスペシャリスト、健康食品管理士を始め、ほかの食品関連資格」についても同様な結果が得られている。しかし、教職に関する設問⑭にまったく魅力を感じていない学生が2名いることや、上記以外の設問に対して、「どちらでもない」と「あまり魅力を感じない」が少数ながら存在することにも留意しておきたい。

[就職支援に対する質問]

- ①あなたは南九州大学の「就職課」があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ②あなたは南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための

講座が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

③あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

④あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

⑤あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

【就職支援に対する質問】		①	②	③	④	⑤
5	特に魅力を感じている	10	6	8	11	6
4	多少魅力を感じている	8	11	9	9	11
3	どちらでもない	2	2	3	0	2
2	あまり魅力を感じない	0	1	0	0	1
1	まったく魅力を感じていない	0	0	0	0	0
	未回答	0	0	0	0	0

「魅力を感じている」と回答している学生が多いので、実際に期待に応えられるようにする必要がある。また、「どちらでもない」以下の回答をした学生も少数存在するので、この点に対しても改善が必要である。

〔学習・生活支援に対する質問〕

① あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり、当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

②あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

③あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

④あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度魅力を感じていますか。

⑤あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

⑥あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。

⑦あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度魅力を感じていますか。

⑧あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

⑨あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

【学習・生活支援に対する質問】		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
5	特に魅力を感じている	7	7	9	8	4	6	6	10	3
4	多少魅力を感じている	10	11	9	11	7	11	11	7	9
3	どちらでもない	1	2	2	1	8	2	2	3	7
2	あまり魅力を感じない	1	0	0	0	1	1	1	0	0
1	まったく魅力を感じていない	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	未回答	1	0	0	0	0	0	0	0	1

大半の学生が「魅力を感じている」と回答しているので、期待に応えられるようにする必要がある。

また、「どちらでもない」以下の回答をした学生も若干存在するので、この点に対しても改善が必要である。

[施設・設備に対する質問]

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室(フィールドセンターを含む)が整備されている」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている(学内LANの充実、情報処理室の充実等)」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ③あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車場・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設(クラブハウス)が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場(食堂・中庭・学生ラウンジ等)が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

【施設・設備に対する質問】		①	②	③	④	⑤	⑥
5	特に魅力を感じている	9	8	11	9	6	8
4	多少魅力を感じている	9	10	8	9	11	9
3	どちらでもない	2	1	1	1	1	0
2	あまり魅力を感じない	0	0	0	0	2	3
1	まったく魅力を感じていない	0	1	0	1	0	0
	未回答	0	0	0	0	0	0

どの項目についても、学生のほとんどは魅力を感じていると考えられる。しかしながら、すべての項目

に関して「どちらでもない」、「あまり魅力を感じない」、「まったく魅力を感じていない」という回答も見られたので、改善する必要がある。

(6) 子ども教育学科の新入生魅力度調査

(新入生 84 名が回答)

【教育研究に対する設問】

「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、「三資格免許取得」が最も高く、次いで「連携学校園方式」、「子ども支援地域活動」と「夢を叶える塾」、「人の育ちと地域の育ちを支援する専門家」の順であった。本学科に固有な取り組みに対して魅力度が高くなっている。

【学習・生活支援に対する質問】

「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、最も高かったのが「生協売店・食堂」で、次いで、「学校行事」、「“保健室・学生相談室”で…悩みの相談」、「奨学金・特待制度」、「課外活動の充実」の順であった。学生生活に密着している項目が総合的にみてポイントが高い。

【施設・設備に対する質問】

「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、第1位が「清潔で機能的、快適な校舎」、次いで「スクールバスや駐車場」、「憩いの場(食堂・中庭・学生ラウンジ等)」と続く。建物自体が新しく、駐車スペース等十分な広さが確保されていることは学生にとって魅力的な環境だといえる。

【就職支援に対する質問】

「特に魅力を感じている」のポイントの高い項目は、「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」であるが、残り4項目も同程度でそれほど差がない。大学に入学して間もない時期ということもあり、就職支援を実感する機会が少ないためであろうと考えられる。

(7) 子ども教育学科の卒業生満足度調査

(卒業生 40 名が回答)

【教育研究に対する設問】

平均値が 4.0 ポイント以上の項目が 15 項目中3項目あり、最も高かったのが「夢を叶える塾」、次いで「保育士、幼稚園教諭一種、小学校教諭一種」の三つの資格・免許の取得、「人の育ちと地域の育ちを支援する専門家」育てる、の順である。3.9 以上に、「4年間の学びを教員がきめ細かに支援する」、「小学校・幼稚園とつながって、現場で学ぶことができる」という項目があった。

【学習・生活支援に対する質問】

平均値が 4.0 ポイント以上の項目はなく。どの項目も3ポイント台である。そうした中、平均値ポイントが最も高かったのは「学生支援課」であった。専門スタッフのサポート体制は学生が大学生活を送る上で心強いものとして実感されていると言える。「奨学金・特待生制度」については「特に魅力を感じている」が9項目中2番目に得点が高かったが、実際に利用した学生には十分満足といったものと言える。「生協売店・食堂」、「課外活動」も 3.5 以上の得点を得ている。

【施設・設備に対する質問】

平均値が最も高かったのは、「清潔で機能的、快適な校舎」で4.43であった。次いで「スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場」である。「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設」が3.48と高く、施設面で非常に満足しているといえる。

【就職支援に対する質問】

平均値が4.0ポイント以上の項目はなく、どの項目も3ポイント台であった。そうした中、「就職課による支援」、「公務員・教員就職のための講座」が比較的ポイントが高かった。「Uターン就職サポート」や「インターンシップ制度」については「どちらでもない」のポイントが高くなっており、学生にとって身近なものとしてはとらえにくいしくみなのかもしれない。改善の余地がありそうである。

平成26年度新入生魅力度調査アンケート

南九州大学 FD 推進委員会

新入生のみなさん。南九州大学へのご入学おめでとうございます。南九州大学では、よりよい魅力ある大学づくりのため、新入生のみなさんに「魅力度調査」のお願いをしております。以下の設問に回答いただき、よりよい魅力ある大学づくりのご協力をお願いいたします。

設問の回答はすべて5択式になっています。該当する選択肢の番号に○印をつけて回答して下さい。

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは環境園芸学科が、「環境」を基礎に置きつつ、「緑、食、人」をキーワードとして教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑦ あなたは環境園芸学科が、附属の実験施設やフィールドセンター等を活用した実学教育と少人数教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑧ あなたは環境園芸学科が、6 つの専攻(園芸生産環境、植物バイオ・育種、花・ガーデニング、造園緑地、自然環境、アグリビジネス)を設けていることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑨ あなたは環境園芸学科が、1 年次に人間性と社会性豊かな教養を身につけるための「教養教育科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑩ あなたは環境園芸学科が、1 年次に農学の分野の専門職業人として必要とされる基礎的な知識と技術を身につけるための「専門基礎科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑪ あなたは環境園芸学科が、専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために「専門教育科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑫ あなたは環境園芸学科が、幅広い知識を身につけるために、自分が目指す専門分野を超えて関心のある科目を履修できるように「専門選択科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑬ あなたは環境園芸学科が、講義に加えて、演習や実験、実習の専門授業を数多く設置していることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑭ あなたは環境園芸学科が、3 年次後期に全員の研究室配属を行い、身につけた知識や技術を駆使して、新たな問題の探求能力や解決能力を養成するカリキュラムを取っていることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑮ あなたは環境園芸学科が、4 年次で卒業論文を学科の必須として、専門性を高めることとしていることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑯ あなたは環境園芸学科が、教員免許、学芸員免許、樹木医補、測量士補などの資格や免許の取得に対応した「専門選択科目」を設置していることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【就職支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなた南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「地元への U ターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【学習・生活支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり，学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【施設・設備に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内 LAN の充実，情報処理室の充実等）」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で，また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して，スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており，通学に便利である」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

平成26年度新入生魅力度調査アンケート

南九州大学 FD 推進委員会

新入生のみなさん。南九州大学へのご入学おめでとうございます。南九州大学では、よりよい魅力ある大学づくりのため、新入生のみなさんに「魅力度調査」のお願いをしております。以下の設問に回答いただき、よりよい魅力ある大学づくりのご協力をお願いいたします。

設問の回答はすべて5択式になっています。該当する選択肢の番号に○印をつけて回答して下さい。

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは管理栄養学科の「人生観、世界観を考える社会性と人間性を備えた教養豊かで健康な専門職業人の育成を目指している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑦ あなたは管理栄養学科の「将来、保健・医療・福祉・介護、および栄養教育の分野で専門的知識や技術を持ち、地域住民の生活の質の向上に貢献できる応用実践力があり、かつ視野の広い管理栄養士を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑧ あなたは管理栄養学科の「栄養士および管理栄養士国家試験受験資格を取得できる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑨ あなたは管理栄養学科の「栄養教諭 1 種免許を取得できる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑩ あなたは管理栄養学科の「管理栄養士・栄養士の活躍する現場で職業体験ができる“臨地・校外実習”をカリキュラムに組み込んでいる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑪ あなたは管理栄養学科の「医療機関や行政などの現場をよく知る教授陣によって、豊富な知識と実践技術が学べる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑫ あなたは管理栄養学科の「地元宮崎に貢献できる管理栄養士の人材育成をしている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑬ あなたは管理栄養学科の「チーム医療に参画できる臨床栄養のスペシャリストとして、高度な専門知識・技能を習得できる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑭ あなたは管理栄養学科の「管理栄養士国家試験合格に向けた支援が充実していて、合格率 100%を目指している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑮ あなたは管理栄養学科の「栄養学の基礎から応用までの充実した研究を行っている研究室を多数有している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【就職支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなた南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【学習・生活支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【施設・設備に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内 LAN の充実、情報処理室の充実等）」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

平成26度新入生魅力度調査アンケート

南九州大学 FD 推進委員会

新入生のみなさん。南九州大学へのご入学おめでとうございます。南九州大学では、よりよい魅力ある大学づくりのため、新入生のみなさんに「魅力度調査」のお願いをしております。以下の設問に回答いただき、よりよい魅力ある大学づくりのご協力をお願いいたします。

設問の回答はすべて5択式になっています。該当する選択肢の番号に○印をつけて回答して下さい。

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度魅力を感じていますか。

5:特に魅力を感じている	4:多少魅力を感じている	3:どちらでもない
2:あまり魅力を感じない	1:まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。

5:特に魅力を感じている	4:多少魅力を感じている	3:どちらでもない
2:あまり魅力を感じない	1:まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5:特に魅力を感じている	4:多少魅力を感じている	3:どちらでもない
2:あまり魅力を感じない	1:まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5:特に魅力を感じている	4:多少魅力を感じている	3:どちらでもない
2:あまり魅力を感じない	1:まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5:特に魅力を感じている	4:多少魅力を感じている	3:どちらでもない
2:あまり魅力を感じない	1:まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは食品開発科学科が、食品製造者と消費者の両方の視点、および食に関する科学的知識と倫理を身につけた食品のスペシャリストを養成するための教育・研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑦ あなたは食品開発科学科が、食品の開発・製造(美味しくつくること)に携わる専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑧ あなたは食品開発科学科が、食品の適正利用(正しく食べること)の専門家を育成する目的で教育・研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑨ あなたは食品開発科学科が、食品の衛生(安全を守る)・機能性(体調調節)の専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑩ あなたは食品開発科学科が、講義に加えて、実験・実習・学外インターンシップなどの授業を多く設置し、実践的能力を身につけるための教育を行っていることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑪ あなたは食品開発科学科において、フードサイエンスの基礎科目から食品の衛生・機能性に関する基幹科目、食品の開発・製造および食品の適正利用に関する実学科目に至るまで体系的に組まれたカリキュラムに従って履修できることに、どの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑫ あなたは食品開発科学科において、1～3 年次に学んだ食品開発および食品利用のあり方を集約して、4 年次に卒業論文、専攻演習に取り組むことができることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑬ あなたは食品開発科学科において、食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格を取得できることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑭ あなたは食品開発科学科において、高等学校教諭 1 種(農業・理科)、中学校教諭 1 種(理科)の資格を取得することにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑮ あなたは食品開発科学科において、フードスペシャリスト、健康食品管理士を始め、他の食品関連資格を取得することにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【就職支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなた南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「地元への U ターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【学習・生活支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【施設・設備に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内 LAN の充実、情報処理室の充実等）」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

平成26年度新入生魅力度調査アンケート

南九州大学 FD 推進委員会

新入生のみなさん。南九州大学へのご入学おめでとうございます。南九州大学では、よりよい魅力ある大学づくりのため、新入生のみなさんに「魅力度調査」のお願いをしております。以下の設問に回答いただき、よりよい魅力ある大学づくりのご協力をお願いいたします。

設問の回答はすべて5択式になっています。該当する選択肢の番号に○印をつけて回答して下さい。

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは、「人の育ちと地域の育ちを支援する専門家」を育てるという子ども教育学科の方針にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑦ あなたは、子ども教育学科の4年生大学ならではの実践的で充実したカリキュラムのもと、保育士資格、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許、特別支援学校教諭一種免許の四つの資格・免許を取得できることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑧ あなたは、子ども教育学科の小学校・幼稚園とつながって、恒常的に現場で学ぶことができる連携学校園方式を採用している点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑨ あなたは、子ども教育学科が掲げる「子どもの心身」「地域と子ども」「自然環境」という学びの3つの特色にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑩ あなたは、子ども教育学科の4年間の学びを教員がきめ細かにサポートする、ホーム制や1年次後期から始まる少人数のゼミについてどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑪ ⑥あなたは、子ども教育学科のボランティア活動など、実践的に地域活動へ参加し、子どもとの関わりや地域との関わりを学ぶ「子ども支援地域活動」という独自の科目にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑫ あなたは、子ども教育学科の学生一人ひとりの学習意欲の向上や科目履修計画作成に役立つようにGPA制度という成績評価システムを採用し、年間表彰も行っている点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑬ あなたは、子ども教育学科の脈絡なく単位をとることなく、しっかり学習ができるよう年間取得単位を制限するCAP制を導入していることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑭ あなたは、子ども教育学科が「子どもの学び研究所」「子育て支援センター」「環境教育センター」という、学外に開かれた3つの活動拠点を有している点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑮ あなたは、子ども教育学科の「夢を叶える塾」での就職試験対策など、手厚い進路サポートがあることにどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【就職支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなた南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【学習・生活支援に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり当該課の専門スタッフが学習支援(各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等)をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかってくれている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動(部活動、学友会、学祭実行委員会等)が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事(大学祭等)が行われている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり，学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

【施設・設備に対する質問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内 LAN の充実，情報処理室の充実等）」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で，また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して，スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており，通学に便利である」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度魅力を感じていますか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

平成 26 年度卒業生満足度調査アンケート

南九州大学 FD 推進委員会

南九州大学では、よりよい魅力ある大学づくりのため、卒業予定のみなさんに「満足度調査」のお願いをしています。
以下の設問に回答いただき、よりよい魅力ある大学づくりのご協力をお願いいたします。

設問の回答はすべて 5 択式になっています。該当する選択肢の番号に○印をつけて回答して下さい。

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは環境園芸学科が、「環境」を基礎に置きつつ、「緑、食、人」をキーワードとして教育を行っていることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑦ あなたは環境園芸学科が、附属の実験施設やフィールドセンター等を活用した実学教育と少人数教育を行っていることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑧ あなたは環境園芸学科が、6 つの専攻(園芸生産環境、植物バイオ・育種、花・ガーデニング、造園緑地、自然環境、アグリビジネス)を設けていることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑨ あなたは環境園芸学科が、1 年次に人間性と社会性豊かな教養を身につけるための「教養教育科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑩ あなたは環境園芸学科が、1 年次に農学の分野の専門職業人として必要とされる基礎的な知識と技術を身につけるための「専門基礎科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑪ あなたは環境園芸学科が、専門的な方法論と知識を体系的に学ぶために「専門教育科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑫ あなたは環境園芸学科が、幅広い知識を身につけるために、自分が目指す専門分野を超えて関心のある科目を履修できるように「専門選択科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑬ あなたは環境園芸学科が、講義に加えて、演習や実験、実習の専門授業を数多く設置していることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑭ あなたは環境園芸学科が、3 年次後期に全員の研究室配属を行い、身につけた知識や技術を駆使して、新たな問題の探求能力や解決能力を養成するカリキュラムを取っていることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑮ あなたは環境園芸学科が、4 年次で卒業論文を学科の必須として、専門性を高めることとしていることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑯ あなたは環境園芸学科が、教員免許、学芸員免許、樹木医補、測量士補などの資格や免許の取得に対応した「専門選択科目」を設置していることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【就職支援に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「就職課」があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなた南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「地元への U ターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【学習・生活支援に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【施設・設備に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内 LAN の充実、情報処理室の充実等）」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

平成 26 年度卒業生満足度調査アンケート

南九州大学 FD 推進委員会

南九州大学では、よりよい魅力ある大学づくりのため、卒業予定のみなさんに「満足度調査」のお願いをしています。
以下の設問に回答いただき、よりよい魅力ある大学づくりのご協力をお願いいたします。

設問の回答はすべて 5 択式になっています。該当する選択肢の番号に○印をつけて回答して下さい。

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは管理栄養学科の「人生観、世界観を考える社会性と人間性を備えた教養豊かで健康な専門職業人の育成を目指している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑦ あなたは管理栄養学科の「将来、保健・医療・福祉・介護、および栄養教育の分野で専門的知識や技術を持ち、地域住民の生活の質の向上に貢献できる応用実践力があり、かつ視野の広い管理栄養士を育成する」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑧ あなたは管理栄養学科の「栄養士および管理栄養士国家試験受験資格を取得できる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑨ あなたは管理栄養学科の「栄養教諭 1 種免許を取得できる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑩ あなたは管理栄養学科の「管理栄養士・栄養士の活躍する現場で職業体験ができる“臨地・校外実習”をカリキュラムに組み込んでいる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑪ あなたは管理栄養学科の「医療機関や行政などの現場をよく知る教授陣によって、豊富な知識と実践技術が学べる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑫ あなたは管理栄養学科の「地元宮崎に貢献できる管理栄養士の人材育成をしている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑬ あなたは管理栄養学科の「チーム医療に参画できる臨床栄養のスペシャリストとして、高度な専門知識・技能を習得できる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑭ あなたは管理栄養学科の「管理栄養士国家試験合格に向けた支援が充実していて、合格率 100%を目指している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑮ あなたは管理栄養学科の「栄養学の基礎から応用までの充実した研究を行っている研究室を多数有している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【就職支援に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなた南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「地元への U ターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【学習・生活支援に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり，学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【施設・設備に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内 LAN の充実，情報処理室の充実等）」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で，また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して，スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており，通学に便利である」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

平成 26 年度卒業生満足度調査アンケート

南九州大学 FD 推進委員会

南九州大学では、よりよい魅力ある大学づくりのため、卒業予定のみなさんに「満足度調査」のお願いをしています。
以下の設問に回答いただき、よりよい魅力ある大学づくりのご協力をお願いいたします。

設問の回答はすべて 5 択式になっています。該当する選択肢の番号に○印をつけて回答して下さい。

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは食品健康学科が、食品製造者と消費者の両方の視点、および食に関する科学的知識と倫理を身につけた食品のスペシャリストを養成するための教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑦ あなたは食品健康学科が、食品の開発・製造(美味しくつくること)に携わる専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑧ あなたは食品健康学科が、食品の適正利用(正しく食べること)の専門家を育成する目的で教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑨ あなたは食品健康学科が、食品の衛生(安全を守る)・機能性(体調調節)の専門家を育成するための教育・研究を行っていることにどの程度満足しましたか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑩ あなたは食品健康学科が、講義に加えて、実験・実習・学外インターンシップなどの授業を多く設置し、実践的能力を身につけるための教育を行っていることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑪ あなたは食品健康学科において、フードサイエンスの基礎科目から食品の衛生・機能性に関する基幹科目、食品の開発・製造および食品の適正利用に関する実学科目に至るまで体系的に組まれたカリキュラムに従って履修できることに、どの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑫ あなたは食品健康学科において、1～3 年次に学んだ食品開発および食品利用のあり方を集約して、4 年次に卒業論文、専攻演習に取り組むことができることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑬ あなたは食品健康学科において、食品衛生管理者・食品衛生監視員の資格を取得できることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑭ あなたは食品健康学科において、高等学校教諭１種（農業・理科）、中学校教諭１種（理科）の資格を取得することにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑮ あなたは食品健康学科において、フードスペシャリスト、健康食品管理士を始め、他の食品関連資格を取得することにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【就職支援に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「就職課」があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなた南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「地元へのＵターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【学習・生活支援に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり，学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【施設・設備に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内 LAN の充実，情報処理室の充実等）」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で，また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して，スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており，通学に便利である」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

平成 26 年度卒業生満足度調査アンケート

南九州大学 FD 推進委員会

南九州大学では、よりよい魅力ある大学づくりのため、卒業予定のみなさんに「満足度調査」のお願いをしています。
以下の設問に回答いただき、よりよい魅力ある大学づくりのご協力をお願いいたします。

設問の回答はすべて 5 択式になっています。該当する選択肢の番号に○印をつけて回答して下さい。

【教育研究に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「豊かな自然と温和な気候に恵まれた南九州の環境」で勉学に励めることをどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「創造性に富み、人間性と社会性豊かな人間を育成する」点にどの程度魅力を満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「食・緑・人に関する基礎的、応用的研究をすすめ、専門的分野において社会に貢献寄与できる人材を育成している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「優れた教育研究業績をもつ、あるいは優れた現場経験をもつなど、高い能力をもった教員による教育を受けることができる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「優れた研究環境のもと最先端の研究ができる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは子ども教育学科の「人の育ちと地域の育ちを支援する専門家」を育てるとい子ども教育学科の方針にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑦ あなたは、子ども教育学科の4年生大学ならではの実践的で充実したカリキュラムのもと、保育士資格、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許の三つの資格・免許を取得することにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑧ あなたは、子ども教育学科の小学校・幼稚園とつながって、恒常的に現場で学ぶことができる連携学校園方式を採用している点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑨ あなたは、子ども教育学科が掲げる「子どもの心身」「地域と子ども」「自然環境」という学びの3つの特色にどの程度の程度満足しましたか。

5: 特に魅力を感じている	4: 多少魅力を感じている	3: どちらでもない
2: あまり魅力を感じない	1: まったく魅力を感じていない	

- ⑩ あなたは、子ども教育学科の4年間の学びを教員がきめ細かにサポートする、ホーム制や1年次後期から始まる少人数のゼミについてどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑪ あなたは、子ども教育学科のボランティア活動など、実践的に地域活動へ参加し、子どもとの関わりや地域との関わりを学ぶ「子ども支援地域活動」という独自の科目にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑫ あなたは、子ども教育学科の学生一人ひとりの学習意欲の向上や科目履修計画作成に役立つようにGPA制度という成績評価システムを採用し、年間表彰も行っている点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑬ あなたは、子ども教育学科の脈絡なく単位をとることなく、しっかり学習ができるよう年間取得単位を制限するCAP制を導入していることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑭ あなたは、子ども教育学科が「子どもの学び研究所」「子育て支援センター」「環境教育センター」という、学外に開かれた3つの活動拠点を有している点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑮ あなたは、子ども教育学科の「夢を叶える塾」での就職試験対策など、手厚い進路サポートがあることにどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【就職支援に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「“就職課”があり、当該課の専門スタッフが就職活動支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなた南九州大学の「将来の進路に関してのセミナー・ガイダンスや公務員・教員就職のための講座が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「地元へのUターン就職に対して全力でサポートしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「各学科に関連する業界の求人情報を多く扱っている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「インターンシップ制度が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【学習・生活支援に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「“学生支援課”があり当該課の専門スタッフが学習支援（各種証明書発行・休講時連絡・アルバイト情報等）をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「充実した蔵書・雑誌・新聞・視聴覚機器・閲覧スペース等のある図書館があり、学生の学習支援に役立っている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「“保健室・学生相談室”があり、当該室の専門スタッフが怪我・体調不良の治療や体調管理等に関する相談、大学生活に関しての悩み相談をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「“生協売店・生協食堂”があり、学生生活の支援充実をはかっている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「下宿生を対象にした充実した寮やマンション等の斡旋がある」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「課外活動（部活動、学友会、学祭実行委員会等）が充実していて楽しく思い出に残る学生生活を送れる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑦ あなたは南九州大学の「毎年有意義な学校行事（大学祭等）が行われている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑧ あなたは南九州大学の「充実した奨学金・特待生制度がある」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑨ あなたは南九州大学の「各学年の教員による担任制度があり、学習支援・学生生活支援をしてくれる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

【施設・設備に対する設問】

- ① あなたは南九州大学の「最先端の機器を導入した実験室や実際の現場を想定した実習室（フィールドセンターを含む）が整備されている」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ② あなたは南九州大学の「インターネット環境が充実し整っている（学内 LAN の充実、情報処理室の充実等）」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ③ あなたは南九州大学の「清潔で機能的で、また快適な校舎で学生生活が送れる」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ④ あなたは南九州大学の「通学に関して、スクールバスの運行や広い駐車・駐輪場を有しており、通学に便利である」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑤ あなたは南九州大学の「体育館・グラウンドなどの運動施設やサークル活動の支援施設（クラブハウス）が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

- ⑥ あなたは南九州大学の「休憩時間中にすごせる憩いの場（食堂・中庭・学生ラウンジ等）が充実している」点にどの程度満足しましたか。

5: 特に満足している	4: 多少満足している	3: どちらでもない
2: あまり満足していない	1: まったく満足していない	

＜子ども教育学科オリジナル項目＞【教育研究に対する設問】⑥～⑩

- ①あなたは、「人の育ちと地域の育ちを支援する専門家」を育てるという子ども教育学科の方針にどの程度魅力を感じていますか。
- ②あなたは、子ども教育学科の4年生大学ならではの実践的で充実したカリキュラムのもと、保育士資格、幼稚園教諭一種免許、小学校教諭一種免許、特別支援学校教諭1種免許の四つの資格・免許を取得できることにどの程度魅力を感じていますか。→ 平成25年4月入学4期生卒業以降に採用。
- ③あなたは、子ども教育学科の小学校・幼稚園とつながって、恒常的に現場で学ぶことができる連携学校園方式を採用している点にどの程度魅力を感じていますか。
- ④あなたは、子ども教育学科が掲げる「子どもの心身」「地域と子ども」「自然環境」という学びの3つの特色にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑤あなたは、子ども教育学科の4年間の学びを教員がきめ細かにサポートする、ホーム制や1年次後期から始まる少人数のゼミについてどの程度魅力を感じていますか。
- ⑥あなたは、子ども教育学科のボランティア活動など、実践的に地域活動へ参加し、子どもとの関わりや地域との関わりを学ぶ「子ども支援地域活動」という独自の科目にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑦あなたは、子ども教育学科の学生一人ひとりの学習意欲の向上や科目履修計画作成に役立つようにGPA制度という成績評価システムを採用し、年間表彰も行っている点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑧あなたは、子ども教育学科の脈絡なく単位をとることなく、しっかり学習ができるよう年間取得単位を制限するCAP制を導入していることにどの程度魅力を感じていますか。
- ⑨あなたは、子ども教育学科が「子どもの学び研究所」「子育て支援センター」「環境教育センター」という、学外に開かれた3つの活動拠点を有している点にどの程度魅力を感じていますか。
- ⑩あなたは、子ども教育学科の「夢を叶える塾」での就職試験対策など、手厚い進路サポートがあることにどの程度魅力を感じていますか。

平成26年度 新入生魅力度調査アンケート全体集計表

【教育研究に対する設問】

1 / 4

[illegible]

平成26年度 新入生魅力度調査アンケート全体集計表

【就職支援に対する設問】

 $2 \quad \diagup \quad 4$ [illegible]

平成26年度 新入生魅力度調査アンケート全体集計表

【学習・生活支援に対する設問】

3 / 4

[illegible]

平成26年度 新入生魅力度調査アンケート全体集計表

【施設・設備に対する設問】

4 / 4

[illegible]

平成26年度 卒業生満足度調査アンケート全体集計表

【教育研究に対する設問】

1 / 4

[illegible]

平成26年度 卒業生満足度調査アンケート全体集計表

【就職支援に対する設問】

 $2 \quad \diagup \quad 4$ [illegible]

平成26年度 卒業生満足度調査アンケート全体集計表

【学習・生活支援に対する設問】

3 / 4

[illegible]

平成26年度 卒業生満足度調査アンケート全体集計表

【施設・設備に対する設問】

4 / 4

[illegible]

8. 学科・センター独自の FD 活動報告

(1) 環境園芸学科

1. 保護者懇談会の開催

保護者(全学年)から学科および都城事務部に対する意見を頂く場として年1回保護者懇談会を開催している。今年度は、保護者からの意見をしやすくするため、各学年をグループとし、保護者との意見交換を行った。保護者からは単位取得、教職課程への進学、卒論テーマ、正月休み明けの開講日に関する疑問や意見があり、学部長、学科長、関係する教員から丁寧な回答・説明がなされた。パワーポイントを使った学生生活の説明に3年生の学生を起用し、これについても概ね好評であった。

全体での懇談会後、個人面談を希望する保護者に対しては学生の学年担当・研究室指導教員等が個別に面談し質問・意見に対応した。

2. 学生指導

環境園芸学科では、学生の学習や進路、日常生活等の相談に応じるために、各学年担当の教員を配置している。学年持ち上がり方式をとっており、入学から、通常3年生の後期に研究室に所属し指導教員の元に学習活動を開始するまでの2年半の間、同じ教員が学生の諸問題に対応している。本学科の在学生の出身地は全国にわたり、一人暮らしをしている学生も少なくないため、日頃よりきめ細やかな対応を心掛けている。

1) 1年生への指導

担任4人と、学生部員、学生支援課、学生相談室等の教職員を交えて、1年生全体の把握するために月1回程度の定例ミーティングを行っている。必修授業の連続欠席、体調不良、悩みを抱える学生を早期に把握するとともに、指導方法とその対応策を協議し実行した。また、適時、定例学科会議で報告して学生情報を共有し、学科教員への協力を依頼した。

保護者に、班ごとの担当教員、編入生対応教員、学科長、学生支援課、保健室、女子対応教員などの連絡先(メールアドレス、電話番号)を文書で連絡した。オリエンテーション時に、約5人ずつの集合写真を撮影し、顔と名前が一致するような資料を作成した。休みがちの学生について、身体的、精神的、家庭的にどのような特徴があるかを把握し、授業への参加を促す連絡を行ったり、親に連絡をしたり、機会があればできるだけ本人に話しかけるようにした。

2) 2年生への指導

担任教員4人と、学生相談に関わる教職員を交えて月1回の定例ミーティングを行った。学業不振や悩みを抱える学生を早期に見つけるとともに、指導方法を協議して適宜対応策を講じた。また、必要に応じて学科会議で報告することにより情報の共有化を図った。当該年次の学生は、予定通り、休学等の一部学生を除いて年度初めに所属する専攻が決まった。

3)3 年生への指導

環境園芸学科では、3 年生の後半からは原則として全ての学生が研究室に配属されることとなっている。配属学生数の上限を設定し、少人数による教育体制の堅持と研究室の担当教員の負担の偏りを無くする配慮を行っている。配属先の研究室では各教員が専攻演習や研究室の活動を通し専門分野の教育・研究指導のほか、履修・進路指導も行っている。配属作業においては、学生の希望を調査し、希望研究室が極力反映されるように配慮したが、その結果、研究室の配属者数が 2～10 名と不均衡となった。休学などの事情により研究室へ未配属の学生に対しては、3 年生担当教員が中心になり指導を行うとともに、次年度の研究室配属に向け 2 年生担当教員と情報の共有を図っている。休学中の学生については学生本人あるいは保護者と必要に応じて連絡を取り合っている。

4)4 年生への指導

上述したような学科の方針に基づき、学生は 3 年生後期から研究室配属され、4 年生の指導は引き続き配属先研究室の教員が中心となり行っている。必修科目である専攻演習や卒業論文を通し、教育・研究、さらには進路についても少人数あるいは個別指導を行っている。また、必要に応じ、保護者との連絡、学科での情報の共有を図っている。

3. 卒業研究概要集の作成

卒業研究概要集の作成は環境園芸学科として 3 回目となる。学科として 4 年生の卒業論文で取り組んだ研究内容の要旨を取りまとめた卒業研究概要集の作成し、卒業生、研究室に配布した。4 年生にとっては卒業論文の内容の整理、まとめ、またさらなる理解に繋がったものと考えられる。また、研究室配属 3 年生にとっては 4 年生の卒業論文や概要とその作成の取り組み姿勢に接することができたことは今後の自分の取り組みや研究内容の理解に大いに役立つと期待される。

4. オープンキャンパスの開催

環境園芸学科では、毎年、春と夏にオープンキャンパスを開催している。学科の全教員が参加することを基本とし、パネルやポスターの展示、実験や実習のデモンストレーション等を活用して、学科の紹介、特に研究室の紹介を行なっている。

夏のオープンキャンパスでは 6 専攻 18 研究室のブースを設置した。春のオープンキャンパスでは、5 専攻がそれぞれにまとめたブースを設置した。各教員が研究室学生の協力も得ながら創意工夫を重ねたブースによる研究内容の紹介を行った。また、それぞれ 2 名の教員による模擬授業も行われた。

学友会の学生も学科・キャンパスの生徒・保護者への説明に加わり、参加者からは大学・学科についてわかりやすかったとの好評が得られた。

5. 学生の資格取得支援

1)園芸系

(1)毒物劇物取扱責任者

当該資格の説明会と受験講習会を隔年開催しているが、本年度は、説明会を行い、宮崎県の試験日程・会場等の情報を周知(就職課及び学生支援課と協働)するとともに教本や過去問題等の資料を提供した。

(2) 土壤医検定

土壤医は今年度から日本土壤協会主催で創設された資格で、教育・研究・就職支援の一環としてその内容や受験について学生に情報提供を行った。

2) 造園系

以下のような特別教育、講習および講義を行なった。

- (1) 小型車両系建設機械特別教育を実施し、全受講者が合格した。
- (2) チェーンソー(伐木)特別教育の実施
- (3)刈払機安全教育の実施
- (4) 玉掛け技能講習の実施
- (5) 造園技能士実技対策講習会の開催
- (6) 造園技能士学科試験対策講習会の開催
- (7) 造園技能士要素試験対策講座の開催
- (8) 建築 CAD 検定の開催

また、造園系では旧造園学科の活動を引き継ぎ、学外における各種造園活動も授業と連携させて積極的に行った。その内容は下記の通りである。

- (1) 養護施設における社会福祉活動と造園活動のコラボレーション
- (2) 保育施設における造園活動の展開
- (3) 被災地における住民の環境保全活動協力
- (4) 希望者向けの高鍋キャンパスにおける造園技術向上メニュー
- (5) 都城市民活動との連携

3) 自然環境系

(1) 自然再生士補

昨年度、本学科が認定された財団法人日本緑化センター自然再生士補の資格は、学生の卒業後に資格認定されていたが、当該センターが提案した在学中に資格認定が可能となる制度変更について、学生のメリット(就職活動)になることも踏まえ変更賛同したところ、そのように制度が変更され、その旨を学生に周知した。

(2) 生物分類技能検定

生物分類技能検定は土壤医と同様に教育・研究・就職支援の一環としてその内容や受験について学生に情報提供を行った。

6. オフィスアワー

学生の学業や学生生活について、質問や相談に応じるための時間としてオフィスアワーを各教員

が最低週一回カリキュラムとは別に設けている。原則として、オフィスアワー時間帯には教員が研究室に在室することとし、学生の指導にあたっている。

(2) 管理栄養学科

1. 全学的 FD 活動への積極的な参加

全学的 FD 活動である、各種事業に学科構成員がそれぞれ関係する事業へ参加した。それぞれの事業に参加することで、教育力向上などを目指すことができた。

2. 学科独自の委員会の設置

管理栄養学科では、全学的な委員会とは別に学科独自の委員会を設置し、活動を行ってきている。独自の委員会は、管理栄養士国家試験に関して対策の立案等を主な業務にする「国試対策委員会」、学生の就職支援等を主な業務にする「就職担当委員会」、高度な技能をもつ管理栄養士の養成ができるようカリキュラムの検討等を主な業務にする「カリキュラム検討委員会」の 3 委員会がある。これらの委員会がそれぞれの業務を円滑に進めることにより、学生の国家試験の高合格率、学生の就職の高内定率、高度な技能をもつ管理栄養士の排出を実現している。

3. リメディアル教育の推進

管理栄養学科の推薦入学等で早期に合格した入学予定者を対象に学科独自のリメディアル教育を推進してきている。入学予定者のうち、文系、理系出身者問わず、高校「化学Ⅰ」および「生物Ⅰ」レベルの基礎的な課題 10 問ほどを出し、決められた期日までに提出させている。栄養学を学ぶにあたり、化学および生物は大変重要な基礎的科目であり、このような課題を出すことで、入学前の学力向上に努めてきている。

4. 基礎的科目(化学・生物)の支援

管理栄養学科では上記③の事業とは別に入学後の基礎的科目(化学・生物)の支援も学科独自で行ってきている。1 年次配当科目である「基礎化学実験」にて、高校の化学Ⅰおよび生物Ⅰに関する確認テストを実施し、当該科目が苦手な学生の抽出作業を行っている。当該科目が苦手な学生に対しては、個別に対応するなどして、学科の授業についていけるよう支援してきている。

5. 学科構成員全員で参画する管理栄養士国家試験対策

管理栄養学科の大きな教育の目標として、「管理栄養士国家試験の全員受験・全員合格」というものを掲げている。その大きな目標の実現に向け、学科構成員全員が学生たちの国家試験対策の支援を行ってきている。上記②の国試対策委員会が立案した国試対策方針を基に、教員は国試対策授業を行い、助手は勉強会の実施などを行ってきている。これまでの組織的な取り組みの成果もあり、平成 26 年 5 月発表の国家試験の結果(8 期生)は 98.1%と全国でトップレベルの合格率を出した。即戦力のある高度な技能をもった管理栄養士の養成とともに、管理栄養士国家試験に勝てる人材をこれからも養成していく。

6. 学生の名前と顔を覚える事業

管理栄養学科では、新入生の入学式時に顔写真をとり、それをもとに顔写真と氏名の書かれた資料を作成し学科構成教員へ配布するようにしている。そうすることで、学生一人ひとりの名前と顔を覚えることができ、学生指導・支援の推進に役だっている。

(3) 食品開発科学科・食品健康学科

【食品開発科学科・食品健康学科】

1. 入学前教育(リメディアル教育)の実施

来年度入学予定の新入生が、入学後に勉学をスムーズに開始できるようにしてもらうことを目標として、入学手続き者を対象に、生物・化学・食品学の分野に関する課題に解答の後、提出してもらうリメディアル教育を学科全教員が取り組んで実施した。提出された解答については、学科教員がコメントを添えて各自に返却した。

2. カリキュラムの見直し

学科教育の根幹をなすカリキュラムの見直しは年間を通じて適宜行っている。特に、専門科目の配当年次や開講科目の検討については十分な時間をかけて行っている。食品開発科学科に名称が変更されたことを受け、昨年度から食品開発関連の実習授業を増設するとともに、これまで選択科目であった複数の食品開発関連講義を必修に変更することで実学教育の強化を実施した。

3. 学年別ガイダンスの強化

各学年での大学生活や卒業後の職業生活への展望を明確に持たせるために、前期・後期の開始時に学年別ガイダンスを実施した。これにより、各自で履修状況や資格取得などに関する意識付けを行うことを可能にし、より有意義な大学生活を送ることができるようにした。

4. 怠学者および成績不良者に対する緻密な指導

授業出欠管理の徹底と教員間における情報の共有により、問題を有する学生に対して、指導教員を中心にきめ細かな指導を実施した。

5. レポート作成支援の為に「レポート工房」を運営している

実験授業等で提出が必要なレポート作成に対して、「レポート工房」に設置したコンピューターを用いて、1年次の食品基礎実験や食品生化学実験などの授業において、作図や表計算プログラムの効率的な使用方法を指導している。PCとプリンタの導入台数は毎年増やしていることで、学生の利便性も更に増し、使用頻度は着実に増加している。これまでに化学構造式を描く際に有用なソフトウェア”ChemDraw”及び描画ソフトの”Illustrator”を導入し、昨年度から実験レポートのレベル向上に一役買っている。この「レポート工房」の使用に当たっては学生の自主性を尊重しているが、使用時間帯を定めていること、使用簿に記録する等の一定の規則を決めて運用している。

6. 3年前期からの研究室配属

早期に研究室へ配属させることにより、専攻生への手厚い指導・支援を可能にしている。また、研究室の大学院生や4年生のアドバイスを得ながら、2年間じっくりかけて高度な専門的知識・技術を習得できることも利点である。

7. 資格取得・就職支援の充実

食品開発科学科はフードスペシャリストと健康食品管理士の養成校認定を受けている。「応用食品学演習」においては、各種資格取得に繋がる教育を実施している。また、例年11月から12月にかけて実施される認定試験に向けて、後期授業の開始とともに受験希望者に対してカリキュラム時間外での補習授業を実施している。就職支援に関しては、1年前期に「キャリア入門」を開講するとともに、3年後期に「キャリアフォーメーション」を3年生全員の出席を前提とした正課外授業として開講し、就職課と連携して学生のキャリア形成と就職支援を実施している。

8. 高校、自治体および企業との連携

昨年度に引き続き、宮崎農業高校との連携を積極的に行い、相互の教育に係る連携・交流を通して、学生の視野を広げ、教育の活性化を図っている。また、昨年度から新たに日南振徳高校と協定を締結して焼酎関連の連携を開始した。自治体との連携では前年度から続く西都市と本格的に連携し、学科の実習教育を通してオリジナル食品の開発を進めている。さらに、企業との連携に関しては、食品開発実習の授業時に、製パン職人、和菓子職人、洋菓子職人の方々を特別講師として招聘し、学生が食品加工の職人技術に触れる機会を与えた。また、霧島酒造株式会社より3年生対象の「食品開発実習 II」の際、特別講義が実施された。続いて、全国精麦工業協同組合連合会と石橋工業株式会社より3年生対象の「食品開発実習 III」の際、特別講義が実施された。

9. 各種地域イベントへの積極的な参加

地域における食品開発の学科としての存在感を高めるために、みやざきテクノフェアなどの地域イベントに参加した。展示ブースには中学生や高校生をはじめとする多数の見学者が詰めかけた。また、宮崎大学産学・地域連携センター第21回技術・研究発表交流会(設立20周年記念)に4年生6名がポスター発表を行い、学外の多様な人々との交流を行った。

10. 学科主催卒業祝賀会の実施

卒業生の門出を学科教員で祝福することを趣旨とする学科主催の卒業祝賀会を卒業式の終了後に実施している。卒業生による思い出や感謝の気持ちを表明する機会となり、学科教員からのひとことや保護者代表による挨拶および在学生代表からの贈る言葉など、卒業式の厳粛な雰囲気とは異なるアットホームな雰囲気で卒業生を送り出すイベントとして、学科では定着している。

11. 学年を超えての合同交流軽食会の実施

今年度より、学科内で学生同士の学年を超えた交流を促進し各種交流イベントを実施することとなり、その第1回目として交流軽食会を実施した。学科内学生同士の相互交流という点で効果が得られた。

12. きりしま祭で学生が模擬授業を実施

今回初めて、きりしま祭で教職課程の学生が中心となって実験を含めた模擬授業を行った。小学生を含めた家族連れが参加し、子供たちの関心も深めることができた。

(4) 子ども教育学科

(1) 学科内FD研修会の実施

学科内FD研修会を、2014年12月8日(月)13時～15時の日時で、子どもの学び研究所にて実施し、学科教員が参加した。

本年度の学科内FD研修では、初めに2014年度第45回博報賞教育活性化部門を受賞した、遠藤晃教授からの受賞報告を質疑応答も含めて60分で行った。続いて、学科内教員の研究紹介と共通理解を目的に、2名の教員から話題提供してもらい、質疑応答含めて一人30分程度で実施した。3名の教員の受賞報告及び話題提供のテーマと要旨は、以下のとおりである。

遠藤晃 教授:「地域の自然を題材とした児童主体の課題解決学習」

～生きる力を育む ESD の視点を持った環境教育～

様々な課題を抱えるこれからの社会を担う子どもたちの「生きる力」を育むために、基礎的・基本的な知識・技能の習得だけでなく、それを活用した思考力・判断力・表現力等の育成が求められている。課題解決学習は児童の「感じ、考え、行動し、表現する力」を育むことが期待されるが、教員がその指導法を習得していないため、本当の意味での課題解決学習になっていないことが多い。沖縄県座間味村の慶留間小学校において、12年前から3、4年生の「総合的な学習の時間」にESDの視点からケラマジカを教材とした課題解決学習に取り組んで来た。それは、身近な自然の中に児童自身が「なぜ？」を見つけ、考え、解決し、まとめ、発表するまでの一連のプロセスを重視した「児童主体の課題解決学習」を総合的な学習の時間に教員と共に実践し、さまざまな学校に適用できる指導法の標準化を目指すものである。現在、宮崎県の小学校でも現場の教員と同様の学習に取り組み始めた。その授業に教員志望の学生を参加させており、教員養成の段階から課題解決学習の指導法を体得しておくことが重要であると考えます。

また、課題解決学習(アクティブ・ラーニング)は現在、文部科学省が中央教育審議会へ諮問を出しており、次期学習指導要領では、初めて「指導法」に踏み込んだ改訂として実施されることが考えられる(三木、2015)。総合的な学習の時間を課題解決学習として指導することで、アクティブ・ラーニングへも対応できる準備をしておくことが教員そして教員志望者には必要である。さらに、自然環境だけでなくあらゆる分野を包含できるESDの視点に立ったアクティブ・ラーニングに緑・食・人を育む本学全体で戦略的に取り組む事で、特色ある高等教育を実現する事ができる。

米良栄州 教授:「ねばならない学習指導法～本気度を出させるために～」

講義に臨む学生の多くは、受身的・依存的である。そこで本気になって意欲的に学習にむかうため

の指導法を考えた。すなわち、自分自身で調査しなければならない、自分自身で考えなければならない、自分の意見を持たなければならない、そして他へ伝えなければならない、そのためにプレゼンを準備しなければならない、という「ねばならない学習法」である。

①自分の考えを持つために

最終的にシンポジウムを行うために、個人思考→グループ思考→全体思考という流れを取り、最初の思考から徐々に深まったり広がったりするように仕向けた。こうした過程を通して自分自身の確とした考えを持たせる工夫をした。

②グループ活動を通して

生徒指導上の8つの課題について、4人グループによる学習を組織した。それぞれが責任をもって調査し、グループによる討議を経て全体へ報告するという手順を踏むことによって、各自が自分の責任を自覚して学習に臨むことになった。「教育課程論」においても実施してみたが、お互いの責任感や協調性が問われるとの感想が寄せられており、前向きな学習につながったと考えている。

趙雪梅 講師：「台湾における教員免許取得国家統一試験問題の考察」

算数・数学教育の一つの手段である問題作りは生徒の問題解決能力の改善ができる。それで、改善の実施者とする教員のコンピテンシーを養成する必要がある。台湾の実地調査を通して、大学における小学校教員養成のカリキュラムを調べた。教員養成系の学部生は教科に関する知識や教育理論を学習するだけでなく、累計1年の教育実習を受けました。更に、専門性を確保するために、教員免許取得国家統一試験問題の合格者のみに教員免許を授与する。台湾における教員養成の仕組みは筆者の授業改善の参考にする。

(2)FD に関わる外部研修

<教員養成系学部としての教員養成にかかわる情報収集>

2015年2月27日～3月1日、福井大学で「実践し省察するコミュニティ」と題するラウンドテーブルが開催され、赤松國吉教授、米良栄州教授の2名が参加した。300名を越えるとみられる参加者で熱気にあふれた研究会となった。2015年の今年度は、ボストン大学教授アンディ・ハーグリーブス氏の基調講演及び国内の教育学者らによる充実したシンポジウムが開催された。知識社会における教師の在り方として、自らの向上への努力と他を巻き込んでの知のネットワークづくりが大切であることが確認された。教員養成を考える上で、貴重な示唆を得る機会となった。

(3)「子どもの学び研究所」「子育て支援センター」「環境教育センター」の活動について

学部附属の「子どもの学び研究所」「子育て支援センター」「環境教育センター」では、現場教師との共同研究や、地域の親子への子育て支援活動、更に学生も参加しての研究活動などそれぞれにおいて柱となる活動が展開されている。2014年度の活動内容の詳細は『南九州大学人間発達研究』第5巻に報告されているが、どの活動も大学教員としての教育力量を向上させることに、直接的、間接的に貢献するものである。

(4)学生への支援について

①担任制による学生への目配りと支援

1・2・3・4年生混合グループを編成してホームを作り、各教員がホーム担任となって、学生への相談・助言・ケア等を行っている。

②履修計画に関するきめ細かい指導

保育士資格・幼稚園教諭免許・小学校教諭免許の3資格免許、2013 年度入学生からは特別支援学校教諭免許を加えた資格免許をどういう組み合わせでどう取得するかについての履修計画づくりへの指導・支援を、特に1, 2年生段階で丁寧に行っている。

③キャリア教育としての課外授業「夢を叶える塾」

課外授業として、小学校・幼稚園・保育園の先生として必要な資質・能力を高めることを目的に、1年生対象の「夢を叶える塾Ⅰ」、2・3年生対象の「夢を叶える塾Ⅱ」を通年で毎週開催している。「夢かなⅠ」では県内外で活躍されている方による「講話」等、「夢かなⅡ」では小学校志望者には採用試験対策講座、保育者志望者には手遊びや手作り人形、パネルシアター・ペープサートによる劇づくり等を行っている。学年末にはパネルシアターやペープサート劇の発表会を「夢かな劇場」として開催した。また6月には二本松はじめさんを招いて「つながりあそび・うた」のワークショップを全学年参加のもと実施した。

④3・4年生の教育・保育実習の指導・支援

小学校・幼稚園の教育実習、保育所・児童施設の保育実習に3年生・4年生を送り出した。小学校教育実習では、周到的な事前指導が実施され、実習校からは実習生への高い評価を得ている。学生たちは実習を通して大きな達成感を得ることができ、大学での授業に向かう姿勢等に良好な変化がみられている。

⑤学科教員全体での学生に関する情報の共有と支援

学科会議において、「気になる」学生に関しての情報交換・共有に努め、教員全体で支援を行っている。なお、「学生支援連絡会」において、学生部教員を含む複数の教員、保健室、学生相談室、学生支援課で気がかりな学生についての情報交換会を行っている。ここでの学科教員全体で共有した方がよい情報については、その後、学科会議で共有し、学生支援に役立てている。

(5) 教養・教職センター

学科会議を開いた度に FD 委員会の活動と課題の話をする。学年末に FD について話し合うために特別会議を開いてセンター教職員 5 名が集まった。FD アンケート結果を踏み台にした話から始まった。特に「質問や発言をした」に感ずる設問についていろいろなアプローチを話し合った。学生の間に回って確認する方法から学生番号を使って強制的に発言させる方法までいろいろな関わり方を考えた。または「有機的つながり」の課題に対しニール ポストマン（「技術 vs 人間—ハイテク社会の危険」）のアドバイス「全ての先生は歴史の先生になれば」にも触れた。それぞれの分野の先生がどんな疑問で学問をできあがったか触れたら、基礎の中心にあるはずの教養が見えてくるだろう。最初の大学を作ったと言われるプラトンは大学の目的は全ての分野の繋がりが見えるようになるとしていたらしい。

9. 平成27年度のFD活動に向けた新たな取り組み

平成 27 年度は、これまで構築してきた FD 活動を更に向上させ充実した FD 活動へと発展させていく。そのため、平成27年度は、本学のこれまでのFD活動を継続するのか、あるいは新たな活動を模索するのかを検討するため、全国の他大学のFD活動やフォーラムに参加し、FDに関する情報を収集し、本学のFD活動への参考とする。予算に関しては、下記のとおり計画した。

記

(1)旅費(宿泊費含む)	60,000 円(東京・大阪等の大都市を想定)
(2) 日当	6000 円
(3) 参加費	20,000 円

合計 86,000 円

10. FD活動の反省と今後の活動について

(1) 環境園芸学科

新入生魅力度調査では学生の生活環境、サークル活動を行う上での環境について十分な魅力を得ていないとの結果が得られた。これらは全学的な問題であり、関係部署と連携をしながら対応を考えなければならない。また、新入生の中には就職支援活動や学科の担任制などについて知らないものもかなりいることから、これらについてはオリエンテーションや掲示等での周知をより徹底する必要があると考えられる。方策を練らないと、おそらく魅力度が向上することはないであろう。

今回の調査は同一学生による結果ではないが、卒業生満足度調査と新入生魅力度調査を比較すると、本学の理念、実学教育と少人数教育について卒業生満足度が低下している。また、学生の専門科目に対する高い関心が認められるが、一方で教養教育科目に対する魅力度・満足度が低いことが示されている。学生への教養科目の重要性の理解や教養科目の在り方、教養と専門のバランス（専門の特化も含め）などについて検討が課題として考えられる。これらの結果は大学としての根幹に関わることであり、大学あるいは学科として早急な結果の分析とその対応が必要である。特に教養教職センターとの連携を深め、科目の選定や配置について熟考しなければならないだろう。

授業評価アンケートの結果からは、顕著な値の変化は見られなかったが、多くの設問について年々評価が高まって来ているように見える。

参観授業については、開催数は3授業、参加者各10名であった。これまで参観授業の参加者からは有意義な刺激を受けたとの印象が伝えられているのにもかかわらず、前回同様に貴重なFDの機会が活かされていない。参加の促すため参観授業の開催数の増加、あるいは以前行われていた参観義務化なども踏まえた方策が不可欠である。

学科独自に取り組んだFD活動については、前年度から継続する活動や企画を繰り返したものが多い。これらの活動が形骸化しないよう、FD活動の意義について各教員個人が、また学科として再認識する必要があり、さらには独自の新しい活動や企画を積極的に考案、実施し、FD活動を推進させる取り組みが重要であると考えられる。

(2) 管理栄養学科

例年課題に挙がっているが、管理栄養学科の独自のFD活動は主に「教育」に関連する活動が充実してきているがそれ以外の活動があまり充実していない。南九州大学FD推進委員会規定にも書かれている通り、FD活動は、教育活動に限らず、研究活動、社会貢献、管理運営に関することも必要である。管理栄養学科においても、教育活動に関するFD活動だけでなく、研究活動などのFD活動も取り入れていくことが必要である。管理栄養学科では、近いうちに厚生労働省（関東厚生局）による監査が予想されている。管理栄養士養成課程で専門基礎科目および専門科目を教授する教員の研究歴が少なければ（毎年一定の研究業績があるかが問われる（過去にたくさんの業績あるのではなく、継続的に研究を行っているかが問われる））、管理栄養士養成施設の専任教員として認められない可能性がある。厚生労働省（関東厚生局）による監査を乗り切るために、各教

員の研究推進を組織的に行っていかななくてはならない。その取り組みとして、研究推進の仕組み・方法について次年度以降学科でしっかり考えてまいりたい。

(3) 食品開発科学科・食品健康学科

(1) 今年度の反省

今年度の前期・後期の授業評価アンケートの分析結果として、授業実施方法に関しては概ね良好であったが、学生の取り組みに関しては、前年同様に平均値が低い項目があった。参観授業に関しては、学科内で参観を促す機会が設けられたにも関わらず、依然として参加者が少ない結果となった。教員のための参観授業の意義を深く議論した上で内容を再検討する必要がある。学科独自のFD活動に関しては、今年度から新たに導入された活動も含め、昨年度に引き続き学生の教育・研究内容の向上に繋がる各種活動を実施することができた。

(2) 次年度以降のFD活動

授業に関しては、学生がより自主的・積極的に取り組むことに繋がる授業、双方向型の授業を実施するための具体的な方策を立て、実行していくことが必要であると考え、今後も継続していく。専門教育関連では、食品開発に関する専門知識を実践的により深く学ぶことができるように、引き続き教育体制の整備を実施していく。具体的には、学生の専門知識・技術の習得に繋がる食品開発実習教育及び醸造実習教育関連の設備の充実をさらに進めていくことにより、実学教育を一段と強化していく。また、地域社会との連携活動を今まで以上に強化して、学生の教育・研究の充実に繋がる産官学の連携を今まで以上に深めていく。県内実業系高校との連携では、27年度も引き続き宮崎農業高校及び日南振徳高校と連携活動を実施するが、これまで以上に学生がより積極的に参加できる活動を増やしていく。

(4) 子ども教育学科

昨年度初めて、本学部としての卒業2期生を送り出し、学部開設から5年間の集大成ともいえる就職実績が統計的に示された。卒業生44名のうち、公立小学校教員及び地方公務員最終試験に合格した者5名を含む43名が就職する結果(就職率95.7%)となった。この就職実績の他、教育実習等を通じた学生の学びの地域への浸透や、オープンキャンパスや高校訪問などにより、学部の教育や研究への理解が定着してきたこともあってか、本年度は学部定員を超える91名の学生が入学し、教育及び研究活動、さらに学生支援活動に対しての多忙さと充実感を実感した一年間であったが、各教員の創意工夫と相互の協力のもとで円滑に取り組むことができた。

今後の課題としては、教員の退職に伴って、専門分野に応じた新たな教員を迎え入れるなど、学部全体を見据えた教員の配置も含めて、教員相互の研究や教育内容について相互理解が深まるようにFD活動の時間の確保に努めていきたい。また、学生の教職志望に応じた学校種等の免許状選択を踏まえて、これまでの教育内容の成果と課題を改めて総括し、カリキュラムの改善等を検討していくなど、授業と教員との横断的な専門性のつながりを追求していきたいと考える。

(5) 教養・教職センター

教養・教職センターの授業は「役立つ」意識と「有機的つながり」のような深く考える課題があって話し合う数を増やすべきである。大きい課題であるけど、センターではそれぞれの専門分野のお互いの関係と人類の中の位置が見えるように努める方法を探れると充実したFD活動に繋がる。「絵で見る英語」シリーズは教養センターまたは大学教育の本来目的に役立っているか検討したい。また「有機的つながり」のテーマも考えるべきである。

Footnotes

[1] 「文芸的プログラミング」と「再現可能な研究」についてフリーソフトのコミュニティーが親切に教えるオンライン・サイトが多くある。

([\[English->\]](#))

(<http://orgmode.org/worg/org-contrib/babel/how-to-use-Org-Babel-for-R.html>),

[日本語->] (<http://orgmode.org/ja/features.html>) [日本語->]

(<http://hpcgi1.nifty.com/spen/index.cgi?OrgMode%252fManual>))

[2] このページのスライド・ショーの6枚目のスライドには日本語説明がある

([\[link->\]](#) (<http://d.hatena.ne.jp/teramonagi/20141217/1418766536>)).目的

は1つのファイルで全てのデータ表とグラフのコードを載せることである。"

to produce a paper with everything in a single file and all the tables

and graphs produced automatically."([\[link->\]](#))